

RADIO CONTROLLED ELECTRIC POWERED RACING BUGGY
OFF-ROAD RACER
COSMO

- FOUR-WHEEL INDEPENDENT SUSPENSION FOR GOOD HANDLING.
- VERY EFFECTIVE OIL-FILLED SHOCKS.
- EASY ASSEMBLY AND GUARANTEED CORRECT ALIGNMENT.
- HIGH PERFORMANCE WITH POWERFUL MABUCHI RS-540S MOTOR (INCLUDED).
- TRUE GEAR-TYPE DIFFERENTIAL FOR SMOOTH POWER DELIVERY IN CORNERS.
- SEALED GEARBOX/DIFFERENTIAL TO KEEP OUT DUST.
- TORQUE LIMITER TO MINIMIZE WHEELSPIN, IMPROVE TRACTION, INCREASE RUNNING TIME. PREVENTS MOTOR DAMAGE.
- STEPLESS SPEED CONTROLLER FOR SMOOTH CONTROL.
- BATTERY EASILY CHANGED. LOW BATTERY POSITION FOR LOW CG.
- LOW-PROFILE SEMI-PNEUMATIC TIRES.

1/10スケール 電動ラジオコントロール レーシング バギー

オフロードレーサー **コスモ**

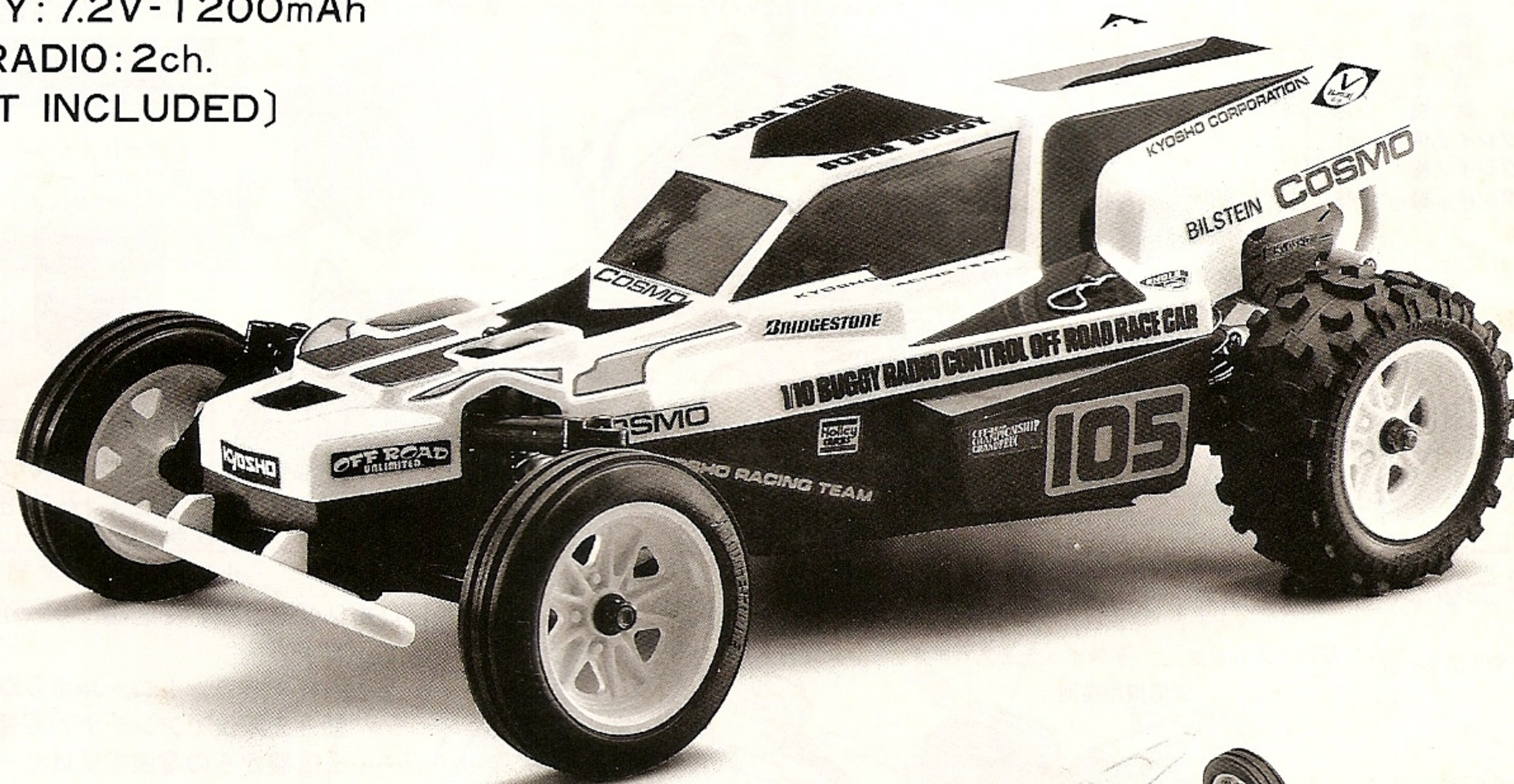


1:10 SCALE

BATTERY: 7.2V - 1200mAh

RADIO: 2ch.

[NOT INCLUDED]



組立て説明書

KYOSHO
 THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

KIT No.3084

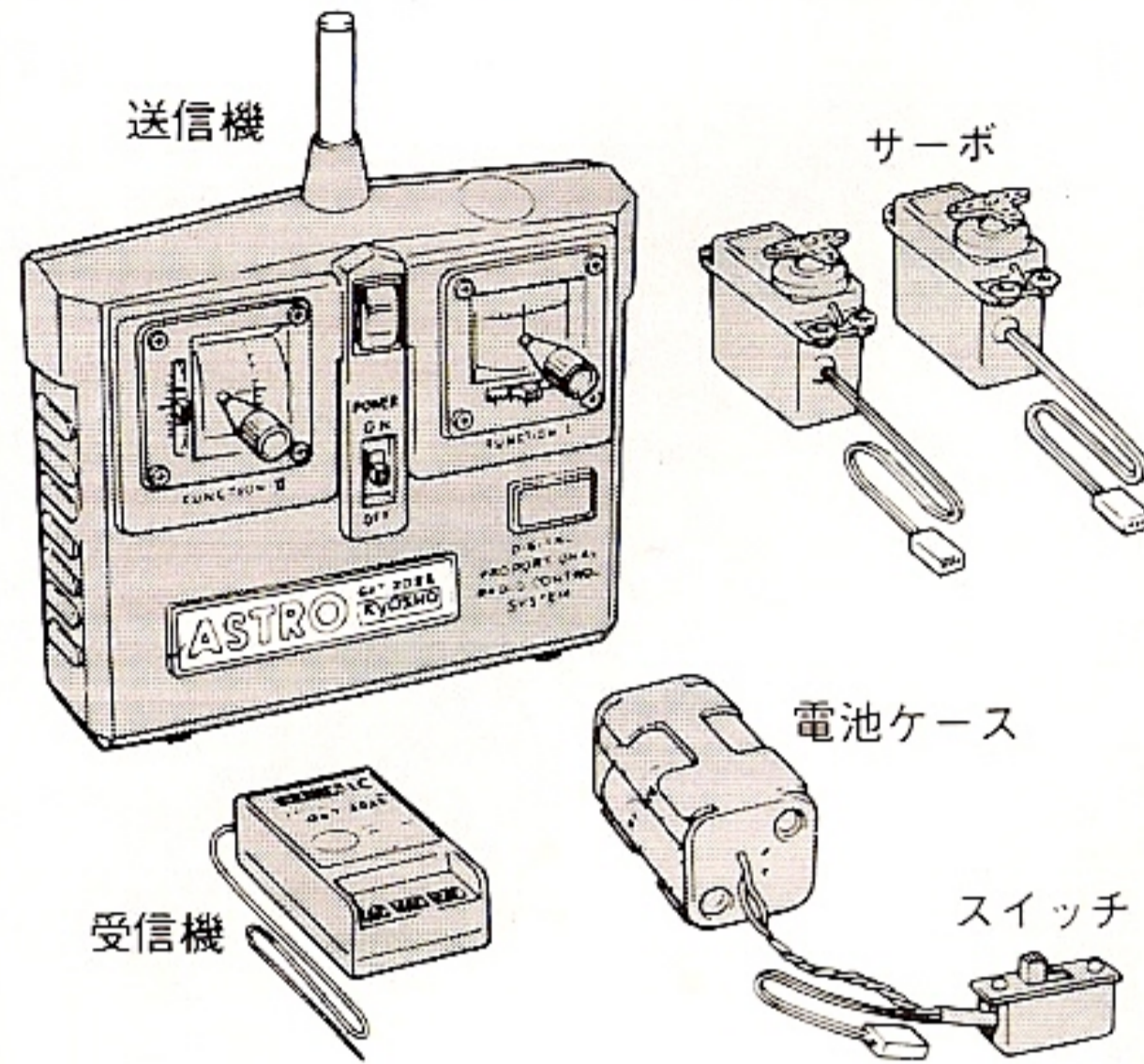
- ダブルウィッシュボーン・サスペンション(F)
 - 大口径オイルダンパー4基装備
 - ロープロタイヤ装備
 - レーシングクラッチ標準装備
 - RS-540Sモーター装備
- 製品改良の為、予告なく仕様を変更する場合があります。

●BECプロポ対応

OFF-ROAD RACER COSMO

ラジオコントロールプロポとは

このラジオコントロールモデルには2チャンネル・2サーボ・デジタルプロポ方式のラジオコントロール(R/C)メカを使用します。



2チャンネルプロポは1セット購入しておけばいろいろなR/Cモデルを操縦できます。

<ラジオコントロール用電波について>

ラジオコントロール用に使用できる電波は、下表のように「空用」・「地上・水上用」に区別されています。必ず車・ボートには「地上・水上用」、飛行機には「空用」の電波をご使用下さい。

ラジオコン電波使用区分

新周波数の区分と表示方法

周波数 (MHz)	旗の色	呼び方	
40.61	青/茶	61	地上・水上用
40.63	青/橙	63	
40.65	青/緑	65	
40.67	青/紫	67	
40.69	青/白	69	
40.71	紫/茶	71	
40.73	紫/橙	73	空用
40.75	紫/緑	75	
40.77	紫/紫	77	
40.79	紫/白	79	
40.81	グレー/茶	81	
40.83	グレー/橙	83	
40.85	グレー/緑	85	

従来電波区分

40.665MHz	ピンク	地上・水上用
40.695MHz	白	
①バンド	茶	地上・水上用
②	赤	
③	オレンジ	
④	黄	
⑤	グリーン	
⑥	青	

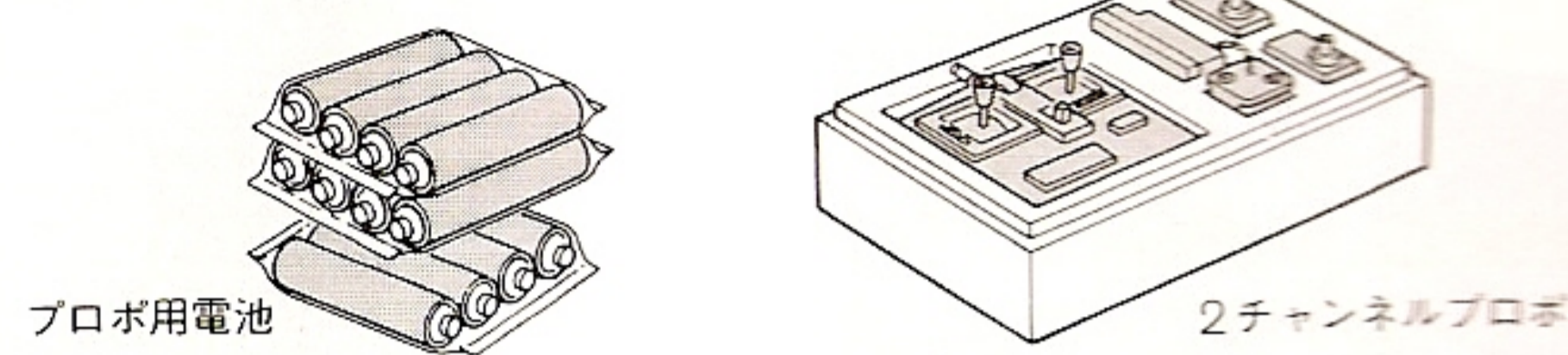
(旗の色)
61バンド
(40.61)の例



キット以外にお求めいただくもの

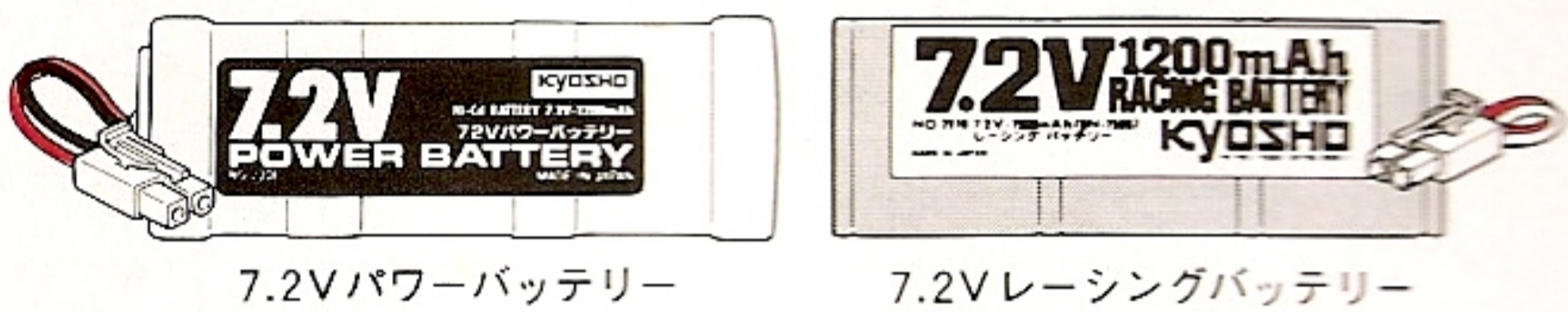
<2チャンネルプロポ>

プロポの送信機にはスティックタイプとハンドルタイプがあります。自分に合ったものをお求め下さい。



<走行用ニカドバッテリー>

このR/Cカーには京商7.2Vパワーバッテリー又は7.2Vレーシングバッテリーを使います。

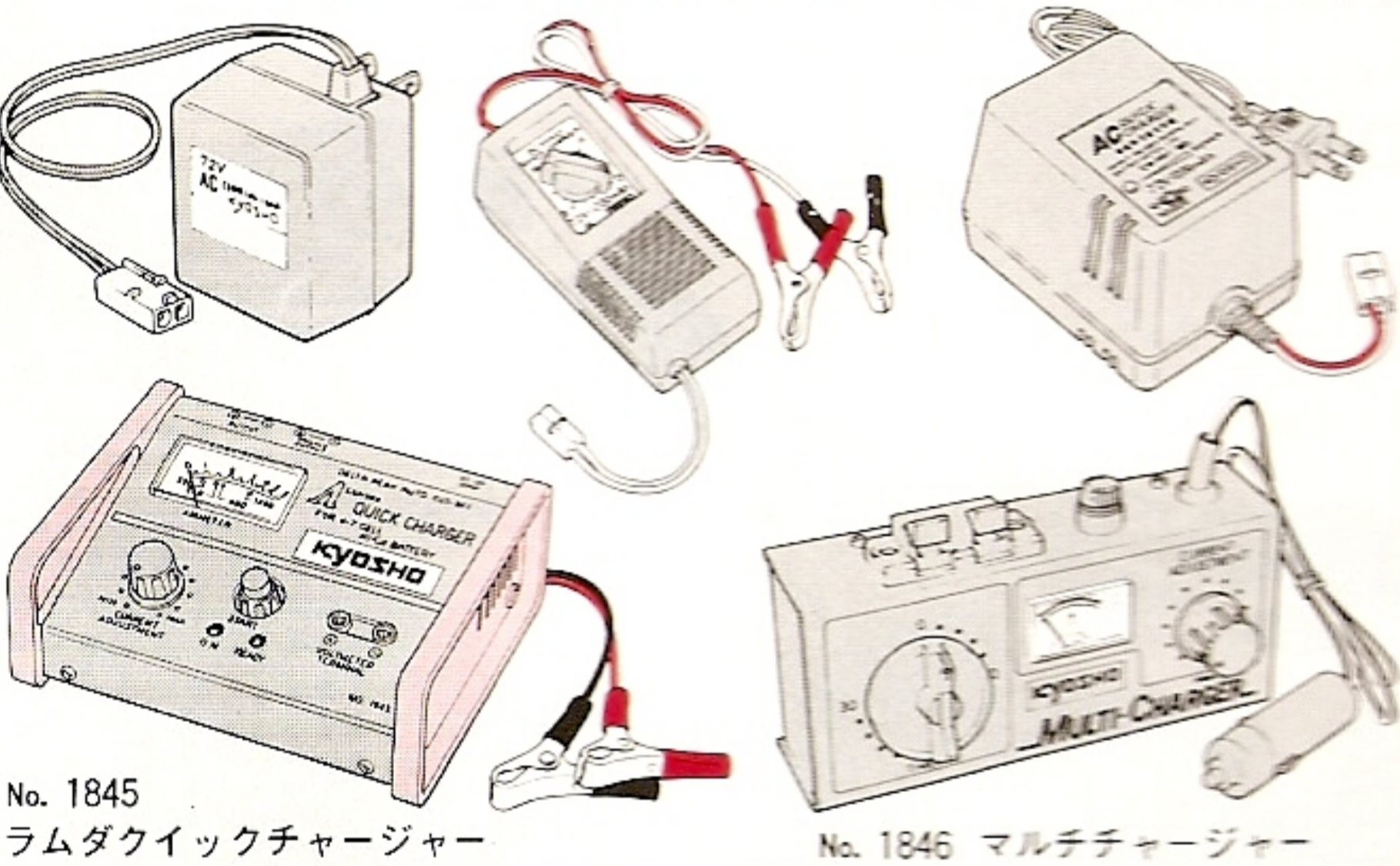


<ニカドバッテリーの充電器>

京商ニカドバッテリーは高性能で、正しく充電すれば長期間使用ができます。充電方法は家庭用100Vコンセントから行なう充電器と自動車のシガーライター又は12Vバッテリーから行なう急速充電器があります。使用目的に合った充電器を下の表より選んでお求め下さい。

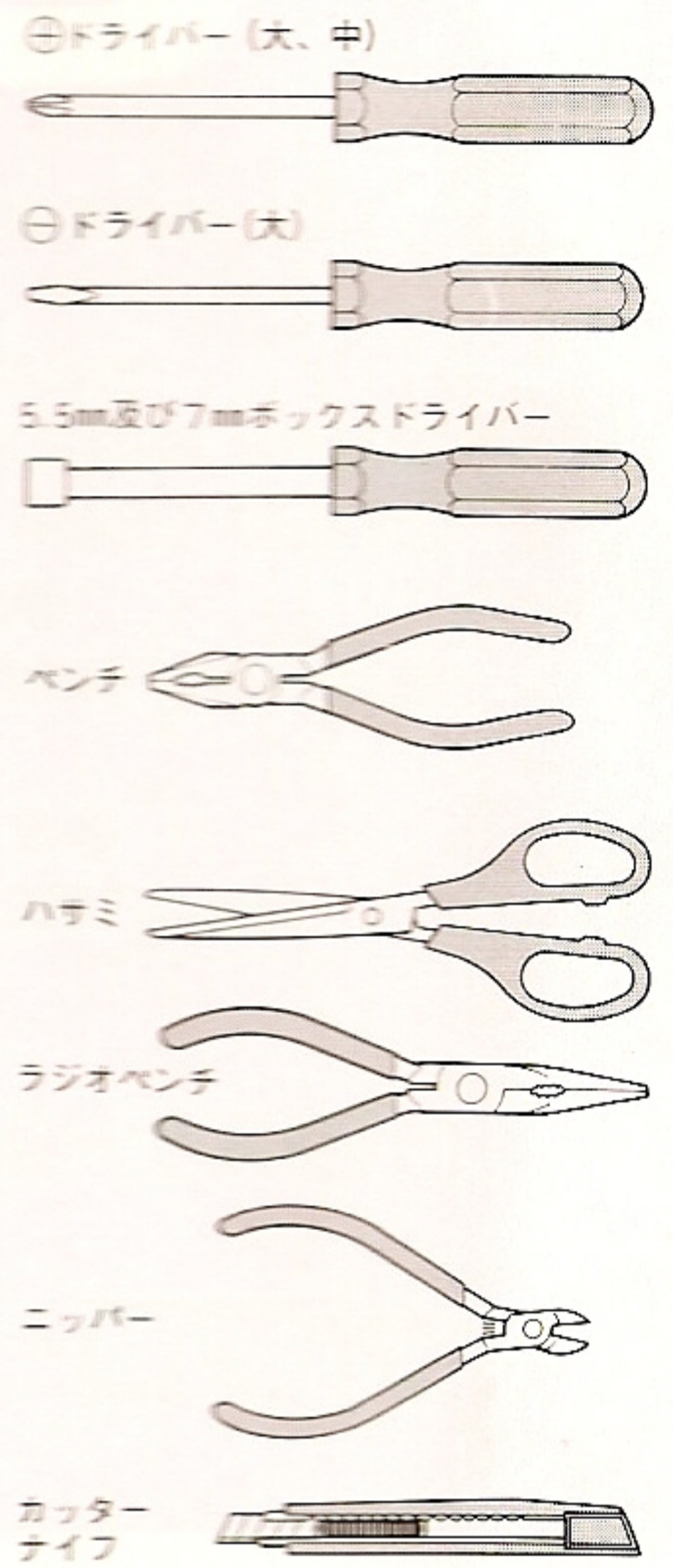
品番	充電器名	充電時間	充電%	特長	価格
No.2221	スーパーニカド充電器 (AC100V)	14~16時間	100%	初心者向	¥1,700
No.2326	7.2Vパワーチャージャー (DC12V)	15分	約70%	初心者向 タイマー付	¥2,800
No.1846	マルチチャージャー (DC12V)	20分	100%	タイマー、電流計付	¥6,800
No.1845	ラムダクイックチャージャー (DC12V)	約20分	100%	デルタピーク検知式 トリクル充電機能付	¥9,800
No.2232	スーパーニカドAC急速充電器 (AC100V)	約40分	約80%	家庭用電源から充電 電子タイマー付	¥4,900

No. 2221 スーパーニカド充電器 No. 2326 7.2Vパワーチャージャー No. 2232 スーパーニカド急速充電器



組み立てに必要な工具と接着剤など

<用意する工具等>



<用意する接着剤>

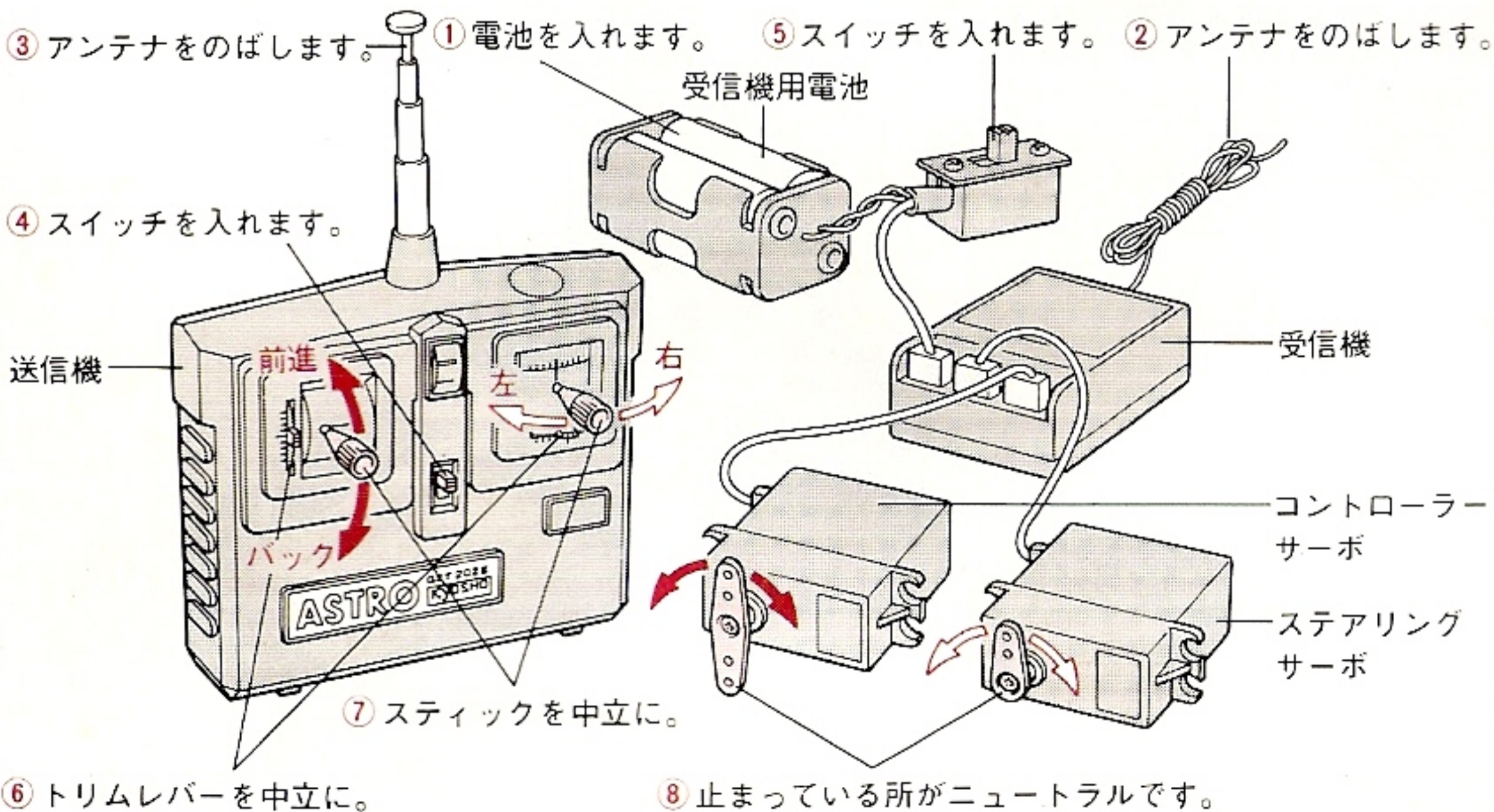


<塗装に必要なもの>



※塗装については取扱書の塗装の項にくわしく出ています。

プロポのチェック 番号順にラジオコントロールメカを動作してみます。



※プロポのスイッチを入れるときは送信機を入れてから受信機のスイッチを入れます。切るときは逆に受信機、送信機の順に切るようくせをつけましょう。

2チャンネルプロポは、送信機、受信機、サーボ、電池ボックスなどから成り立っています。

- 送信機.....操縦するコントロールボックスでスティックの動きを電波でアンテナから発信します。
- 受信機.....送信機からの電波を受けサーボに送ります。
- サーボ.....受信機が受けた電波をモーター、ギヤを使い車のコントロール部を動かす装置です。
- アンテナ.....送信機のアンテナは電波を送り出し、受信機のアンテナは電波が入る重要なものなのでいいにのぼし使います。
- トリムレバー.....送信機のトリムレバーはサーボの中立(ニュートラル)をずらし、車の右、左のステアリング及びコントローラーの前進、バックの位置を微調整するレバーです。
- レベルメーター.....送信機の電池の減り及び電波の発振状態を確認するメーターです。
- サーボホーン.....サーボと車のコントロール部をつなぐもので何種類もあり、使用目的にあった形状を使用します。

《組立てのまえに》

* 組立てるまえに説明書を終りまで良く読んで、あらかじめの構造を頭に入れてから組立てるとスムーズに作業が進行します。

* お買い求めの際、又は組立ての前に部品キットの内容をよくお確かめになって下さい。なお、組立てを始められた商品の返品、交換などには応じかねます。又、万一組立て中に不足、不良部品があった時は愛用者カードに販売店の印をもらい、京商サービス部までパーツ名を明記の上、ご連絡下さい。

● **グリス** このマークの部分には必ずキット内グリスを塗ってから組み立てて下さい。

《部品のさがし方》

* くみたてに必要な部品が、どの袋に入っているかは図中の部品名のあとの〔 〕に表示してあります。

例：デフジョイント〔No.1袋〕

ですから袋ごとに保管し、必要な部品を一つずつ取りだすようにして下さい。

* 部品名がなく B-1 とか D-3 と表示されている部品は、ランナー付きのプラスチック部品です。16、17ページの部品図を参考に、必要な時一つずつニッパーでいねいに切りはなして下さい。

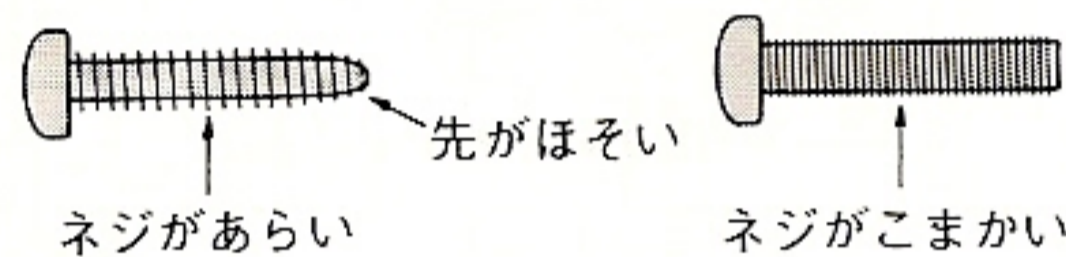
《ビスとドライバーについて》

* ビスやナット類は種類が多く、まちがえやすいので図をよくみて、じっくりと確実にくみたてて下さい。

* タッピングビスと普通のビスをまちがえないようにして下さい。

● タッピングビス

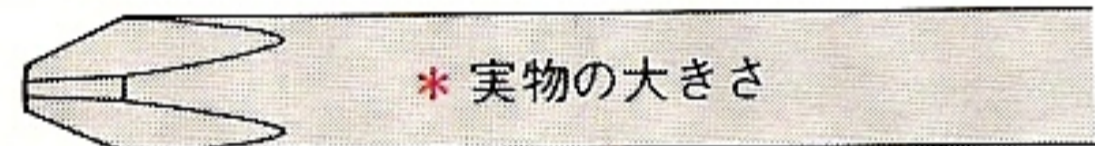
● 普通のビス



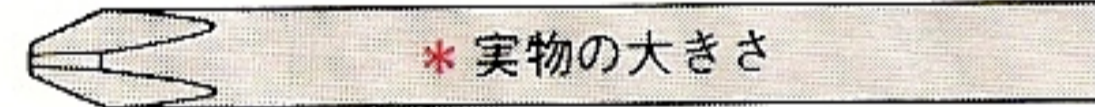
* タッピングビスはプラスチックパーツにネジを切りながらしめつけていきます。力いっぱいしめつけすぎるとネジ山をつぶし、しめつけがきかなくなります。しめつけているパーツとパーツのすき間がなくなり、まわしているビスが少しかたくなったら、しめつけをやめて下さい。

* ビスの大きさにあったドライバーを使って下さい。このキットには⊕ドライバー(大)と(中)が必要です。下図にドライバーの先をあてがい(大)か(中)かをたしかめながら使用して下さい。

⊕ドライバー(大) M3タッピングビスと普通のM3ビスに使用。



⊕ドライバー(中) その他のビス類に使用。



2 ギヤボックスのくみ合わせ

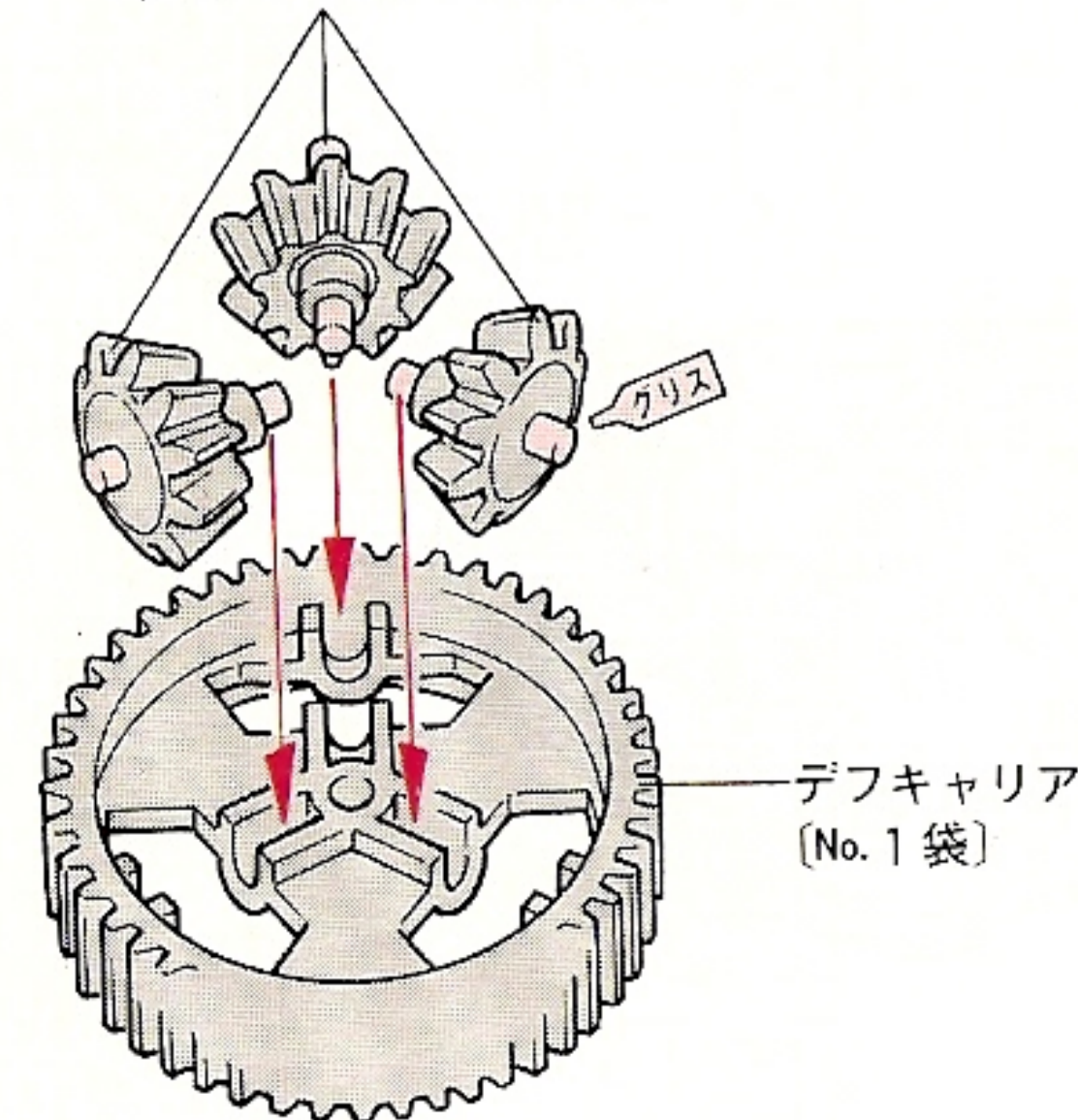
《使用するビスなど》

M3×12タッピングビス…5〔ビス袋A〕

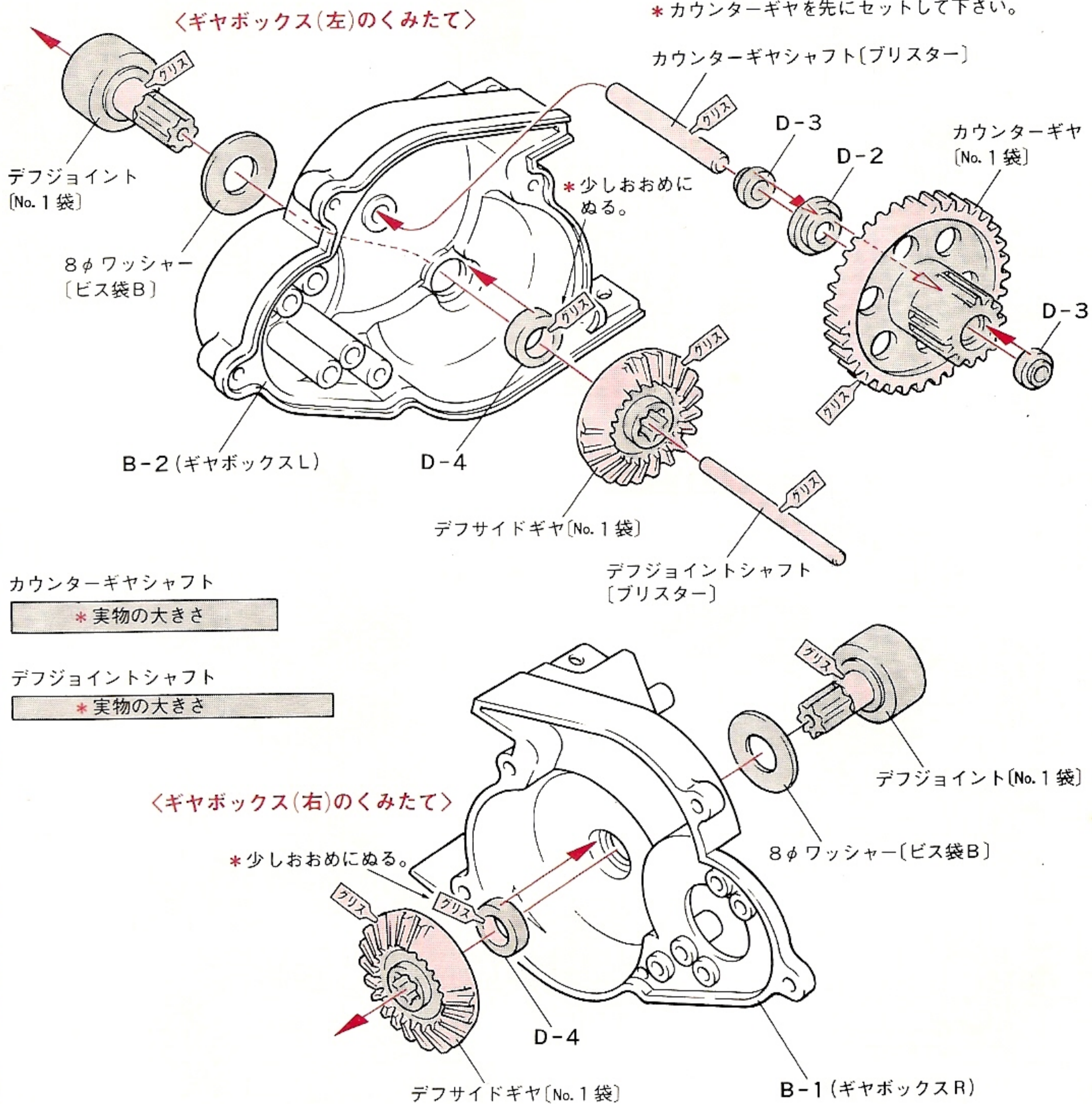
* 《使用するビスなど》のビス、ワッシャー、ナットなどのイラストは実物の大きさをかいてありますので使うビスをイラストにあてがって長さや大きさを確かめながら組み立てて下さい。

《デフキャリアのくみたて》

デフベベルギヤ〔No.1袋〕

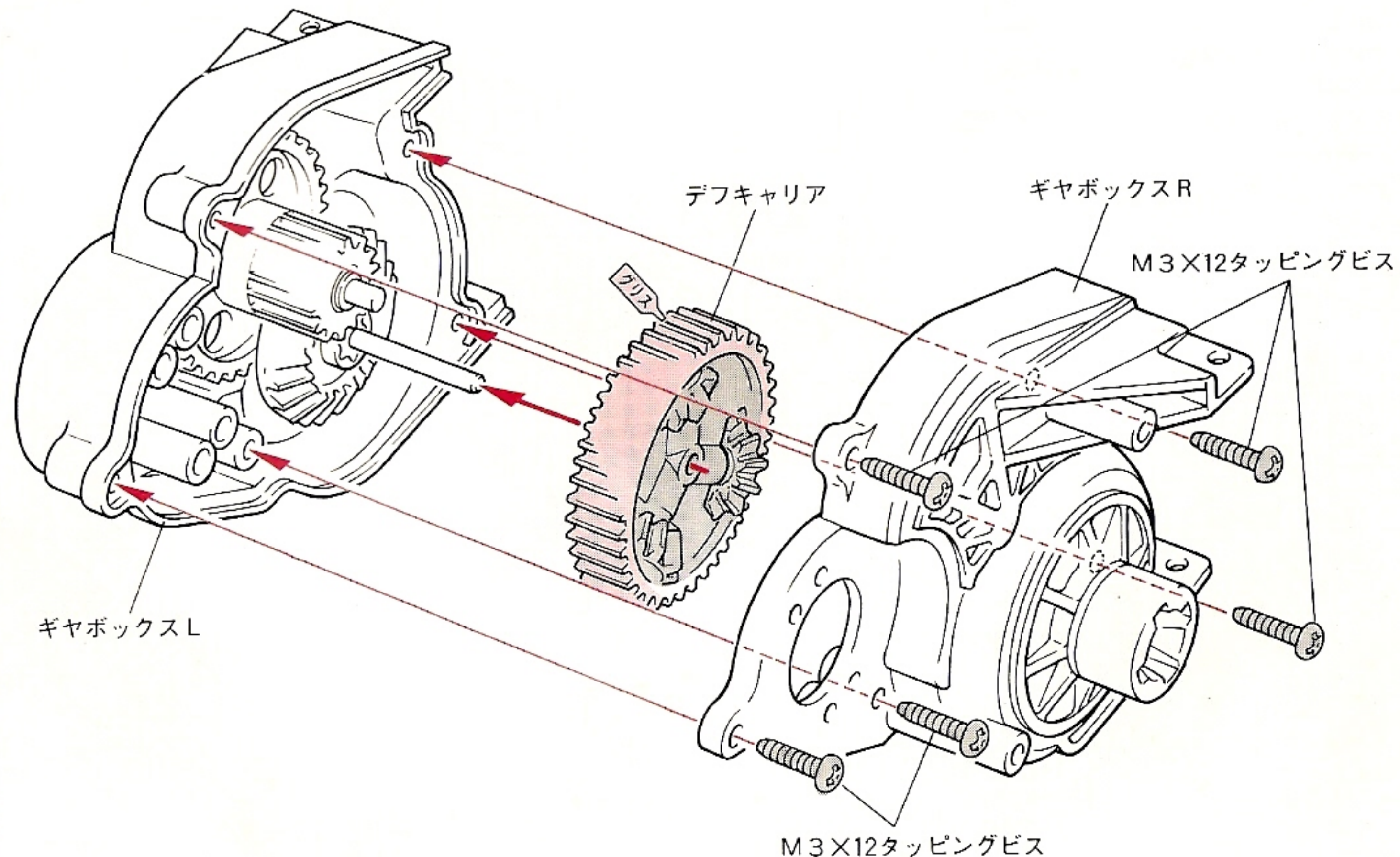


1 ギヤボックスのくみたて



2 ギヤボックスのくみ合わせ

* 左図のくみたてを先におこなって下さい。

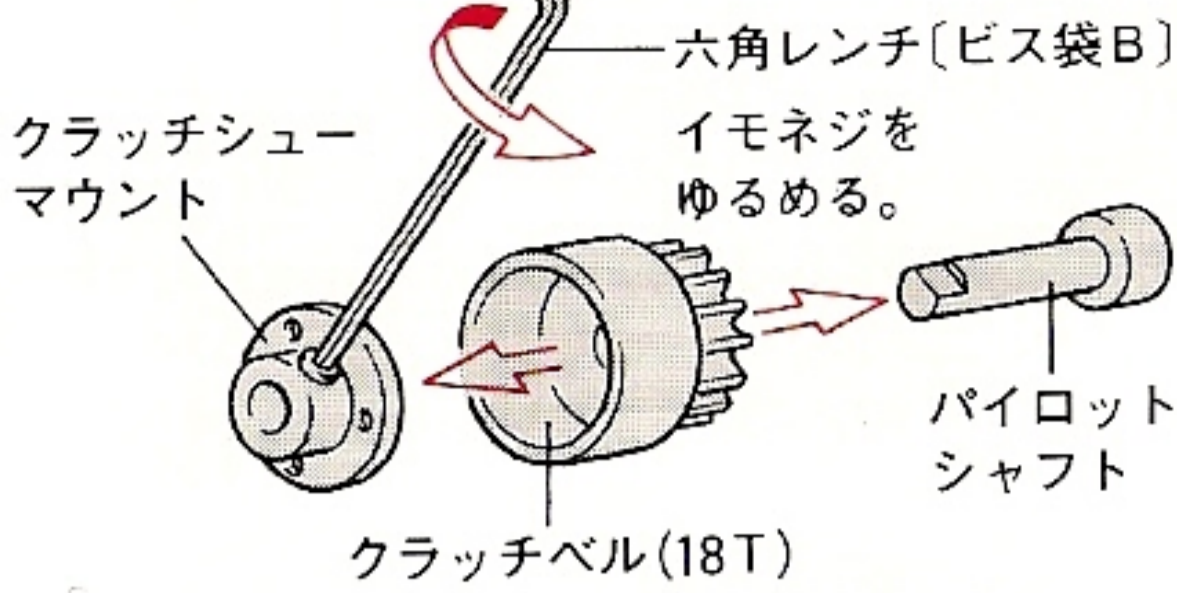


3 レーシングクラッチのくみだて

〈使用するビスなど〉

M2×6ビス(ビス袋B)…3

*かりぐみのレーシングクラッチ(プリスター)を分解します。



〈レーシングクラッチの動作確認〉

イモネジにさしこんだ六角レンチをまわした時、ひきずるようにまわれればOK。

*レーシングクラッチの分解図は13ページ

4 モーターのとりつけ

〈使用するビスなど〉

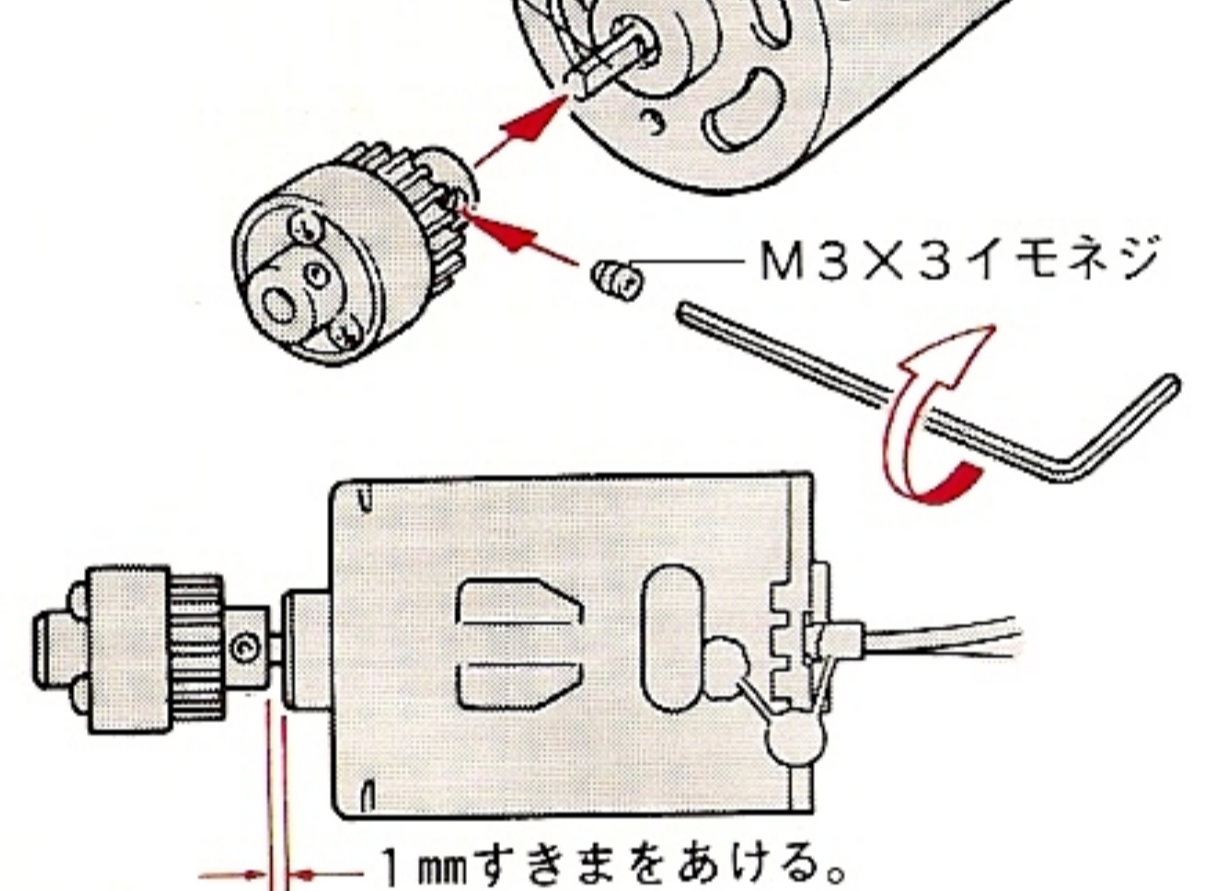
M3×12タッピングビス…2 (ビス袋A)

M3×30ビス(ビス袋B)…2

M3×3イモネジ…1 (ビス袋B)

〈レーシングクラッチのとりつけ〉

*モーターシャフトの平らなところにイモネジをしめつける。



5 リアガードのとりつけ

〈使用するビスなど〉

M3×12タッピングビス…8 (ビス袋A)

6 ギヤボックスのとりつけ

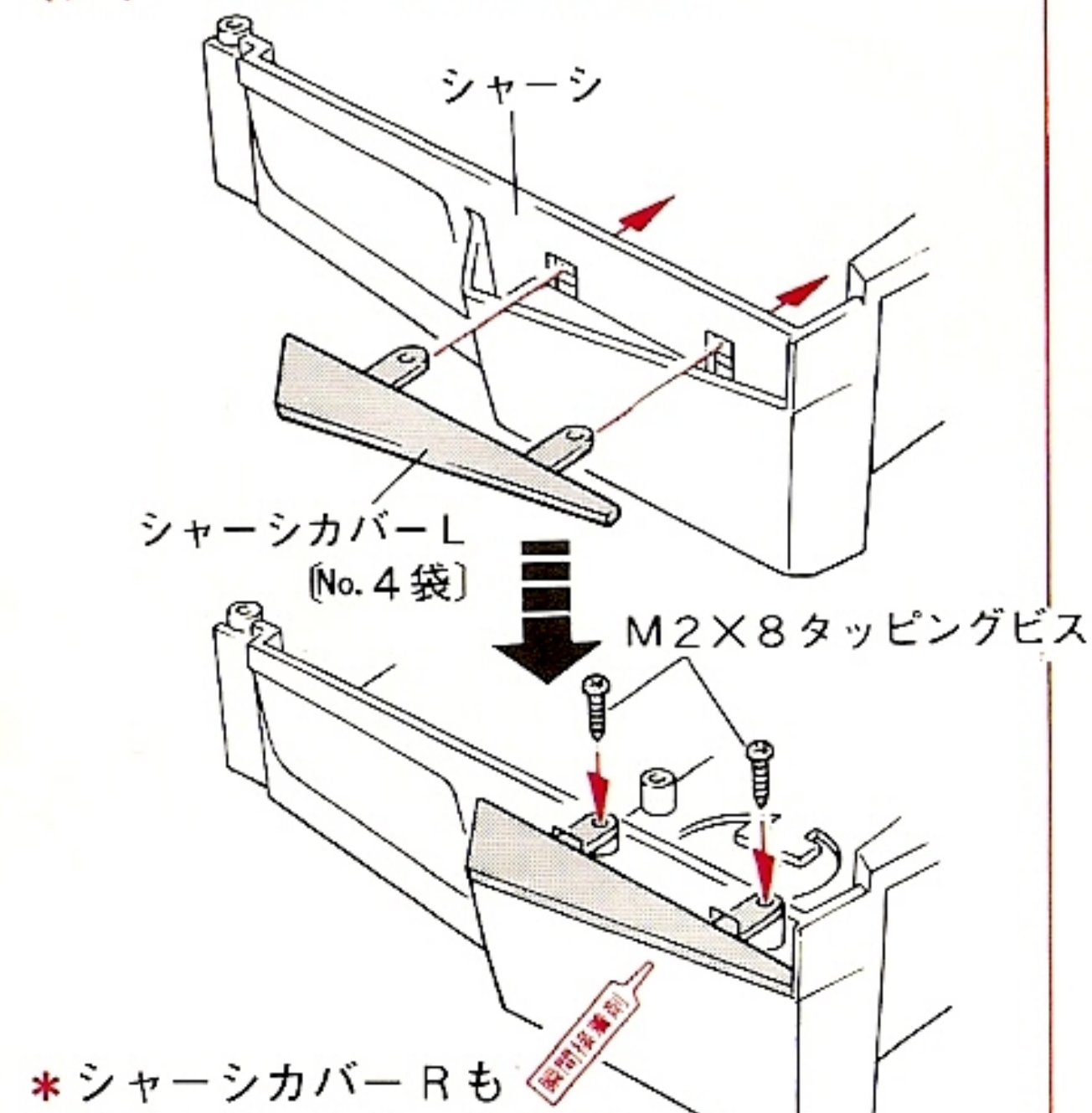
〈使用するビスなど〉

M2×8タッピングビス…4 (ビス袋B)

M3×12タッピングビス…8 (ビス袋A)

3φワッシャー…4 (ビス袋B)

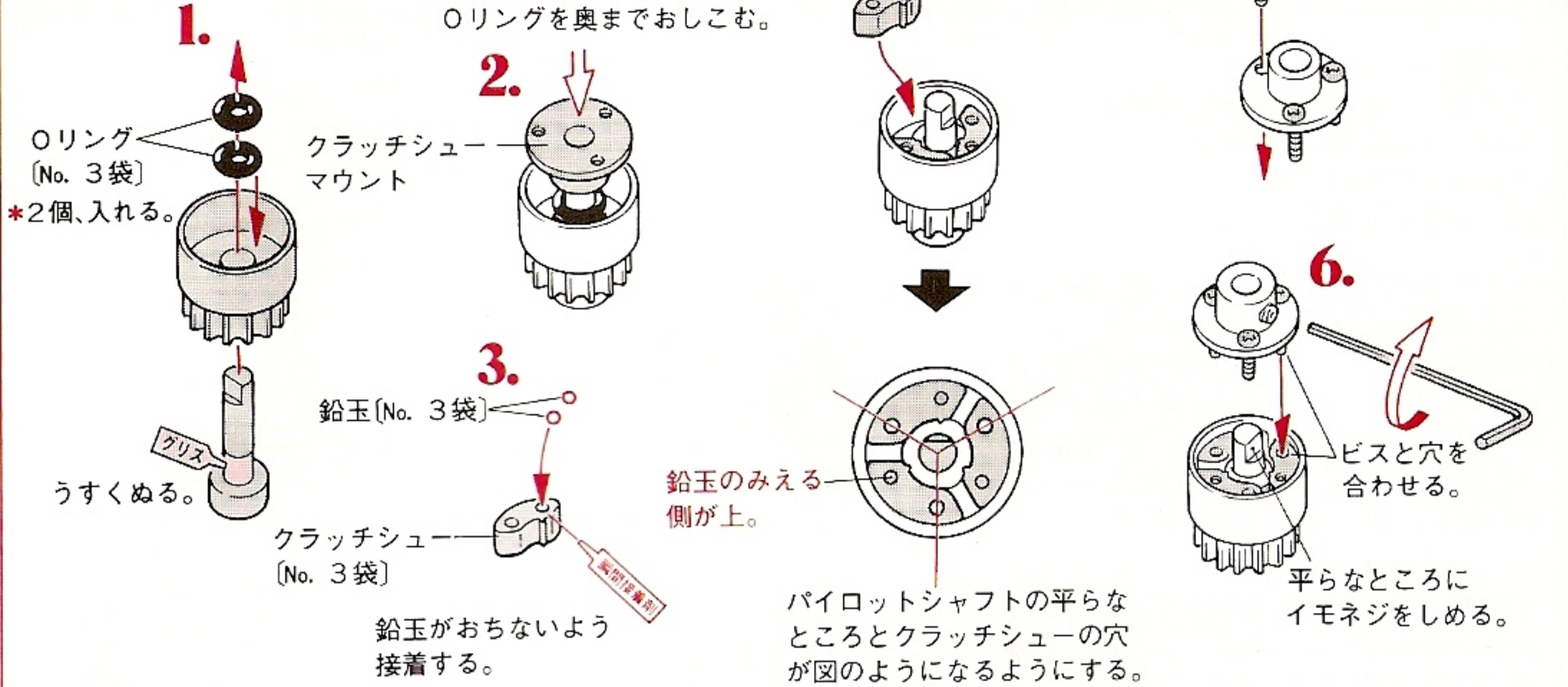
〈シャーシカバーLのとりつけ〉



*シャーシカバーRも

3 レーシングクラッチのくみだて

クラッチシューマウントでOリングを奥までおしこむ。



4 モーターのとりつけ

ギヤボックス

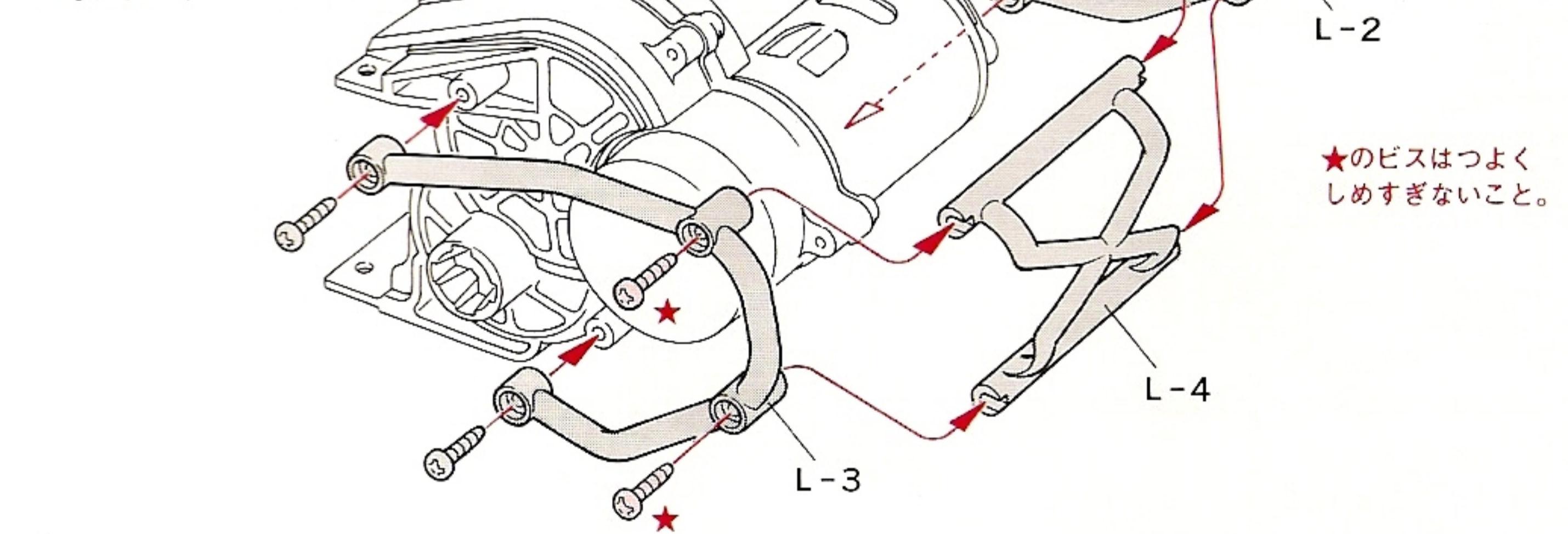
M3×30ビス

RS-540Sモーター (プリスター)

M3×12タッピングビス

5 リアガードのとりつけ

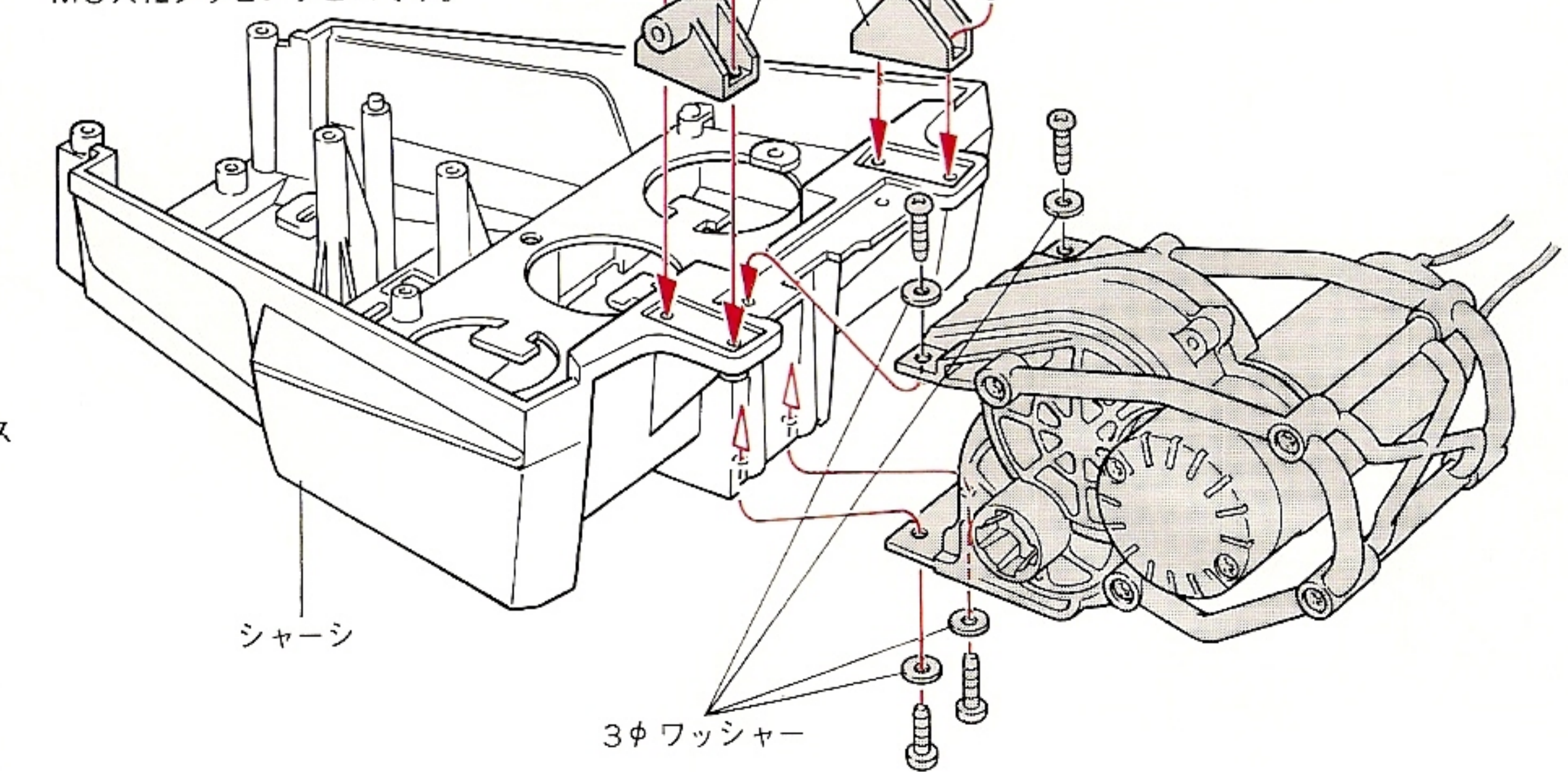
*使用するビスはすべてM3×12タッピングビスです。



★のビスはつよくしめすぎないこと。

6 ギヤボックスのとりつけ

*使用するビスはすべてM3×12タッピングビスです。

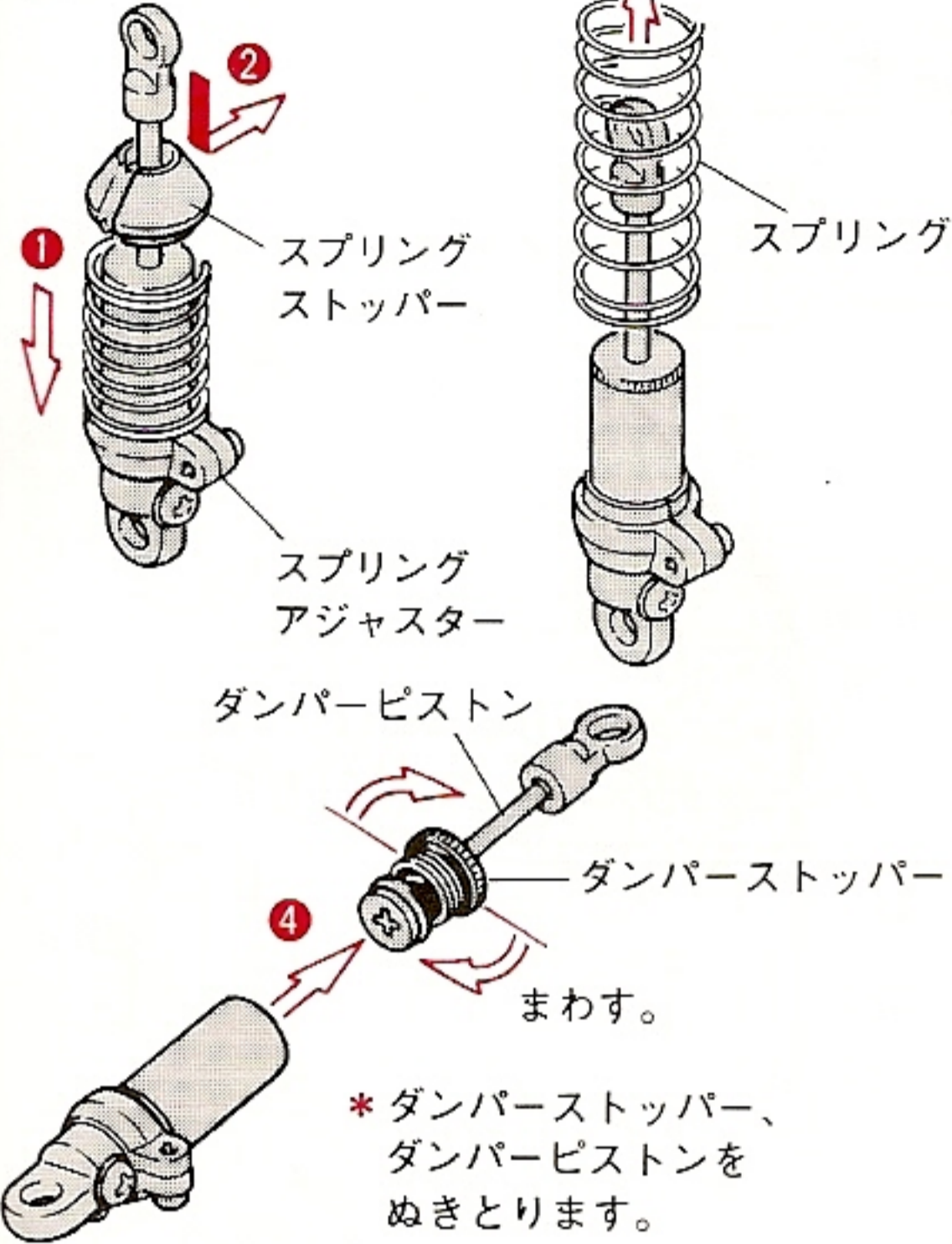


7 ダンパーオイルの注入

*くみだて済みのダンパー[プリスター]を分解してダンパーオイルを注入して下さい。

*フロントダンパーとリアダンパーではスプリングの長さだけが違います。くみだての時、注意して下さい。短い方がフロント用です。

〈分解〉



8 リアサスアームのとりつけ

〈使用するビスなど〉

M2.6×20ビス〔ビス袋B〕…4

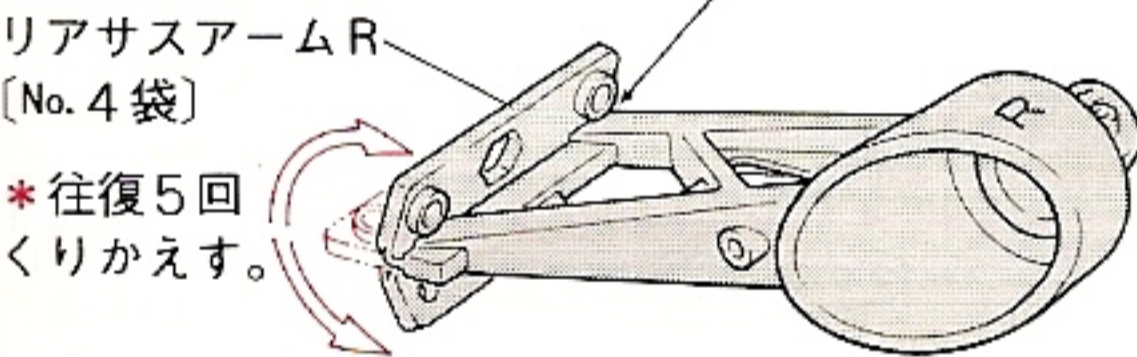
M3×14タッピングビス…4〔ビス袋B〕

3φワッシャー……………2〔ビス袋B〕

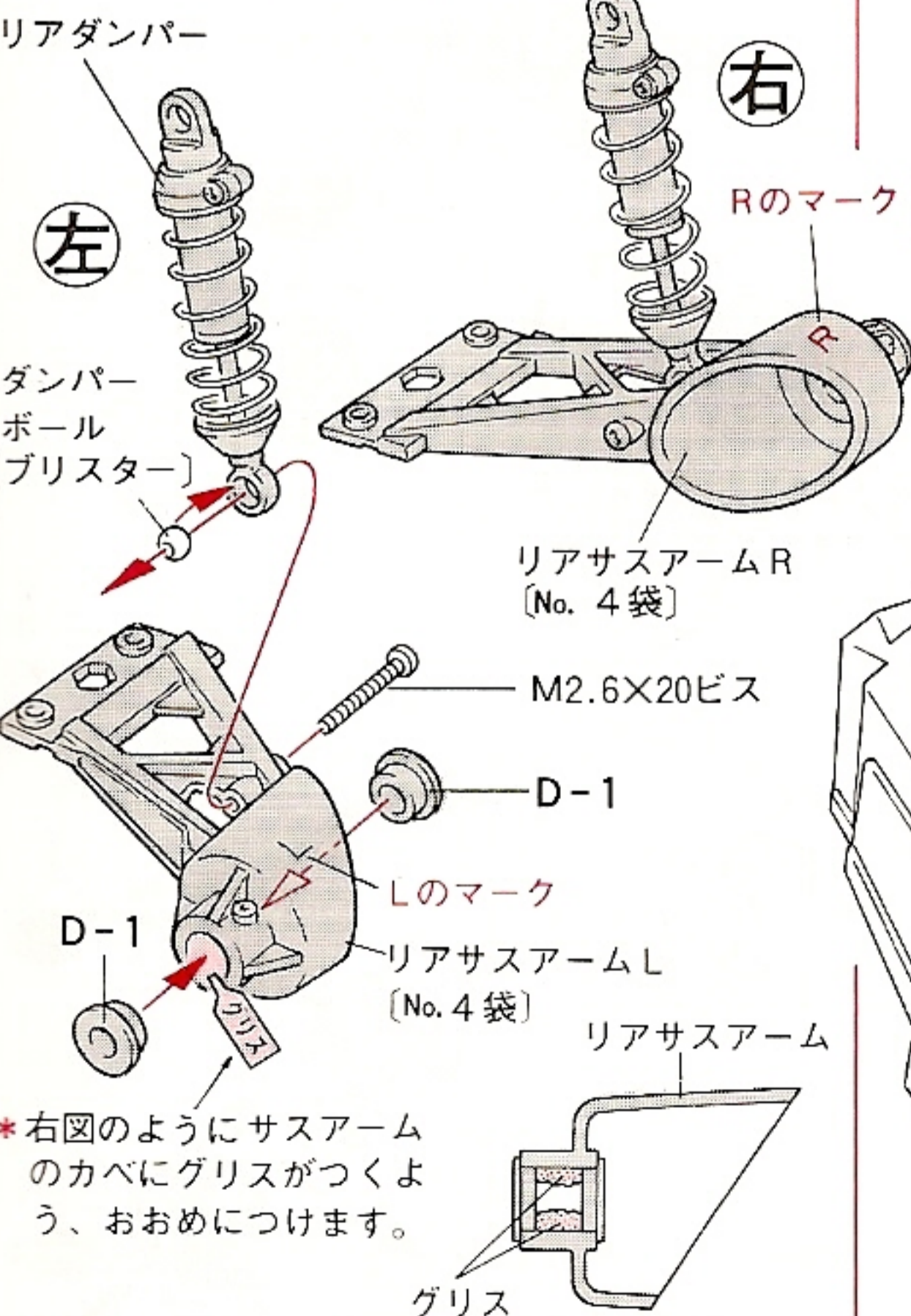
〈ヒンジの曲げぐせ〉

*下図のようにおり曲げるとヒンジ部分が白くなります。白くなるとやわらかく又、強度もましますので是非行なって下さい。

*ぶつかるまで上・下におり曲げて下さい。同じようにリアサスアームLも行ないます。



〈ダンパーとメタルのとりつけ〉



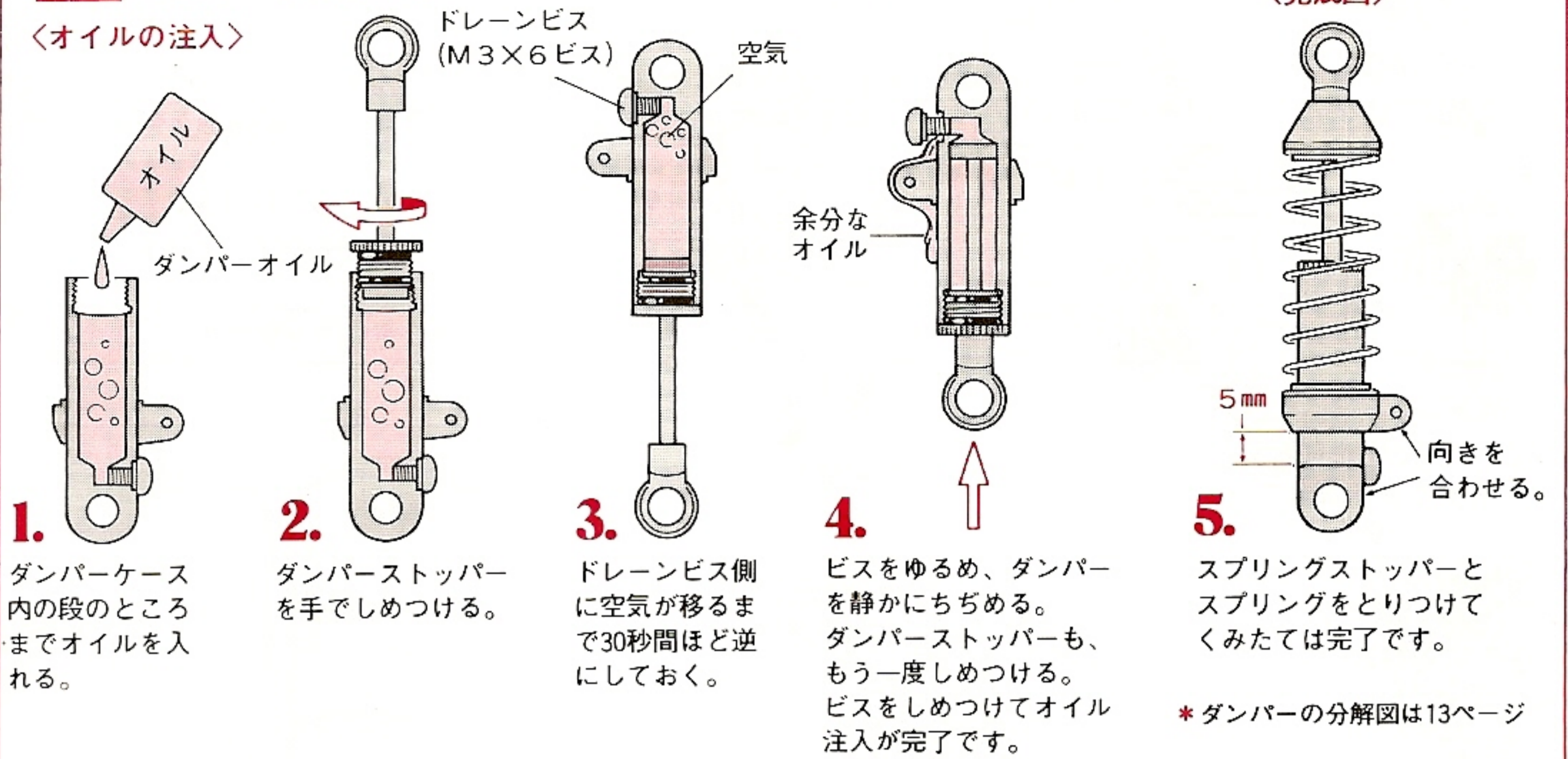
9 バッテリーカバーのとりつけ

〈使用するビスなど〉

M3×12タッピングビス…5〔ビス袋A〕

7 ダンパーオイルの注入

〈オイルの注入〉

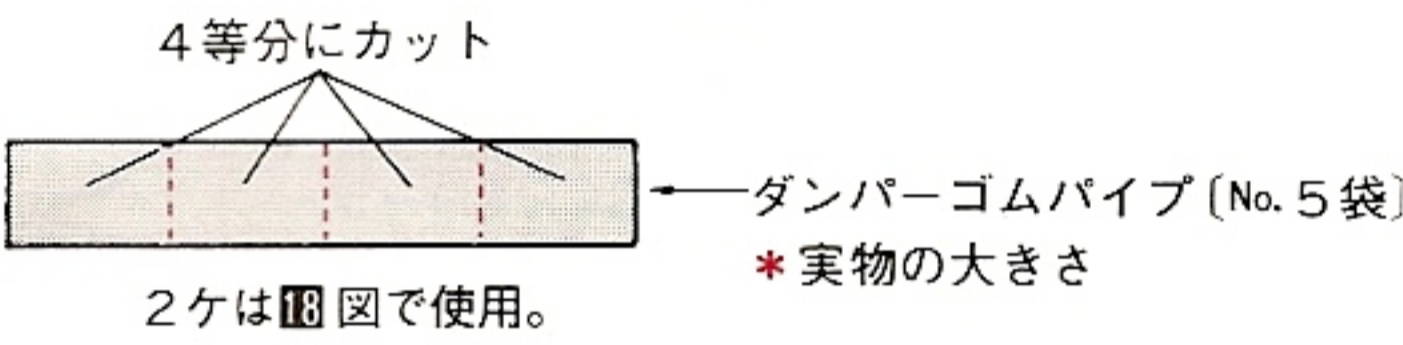


8 リアサスアームのとりつけ

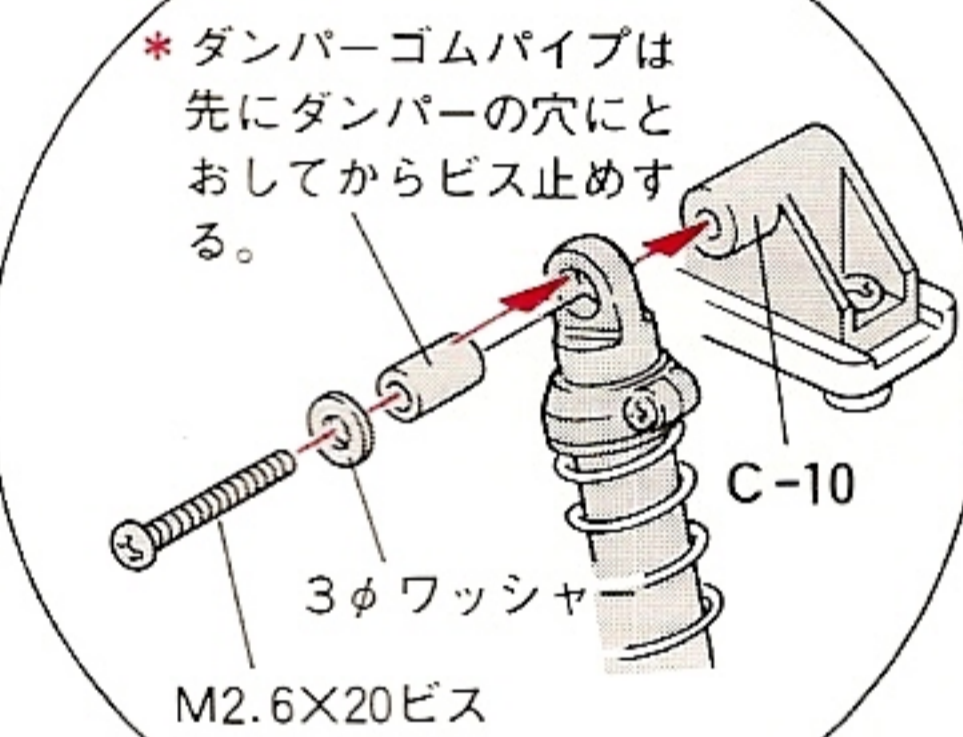
*左図のくみだてを先におこなって下さい。

〈ゴムパイプのカット〉

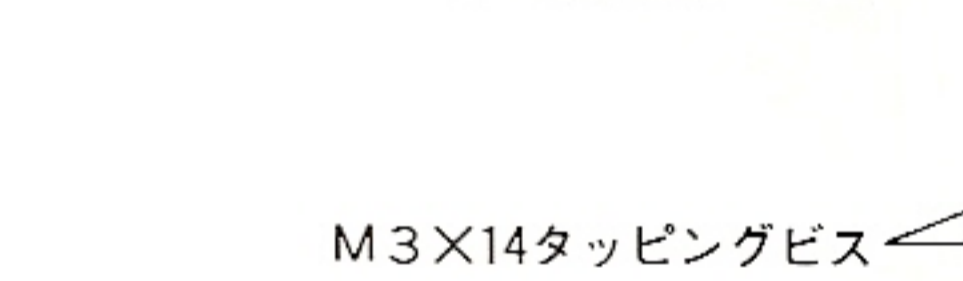
*下図にゴムパイプをあわせカットする。



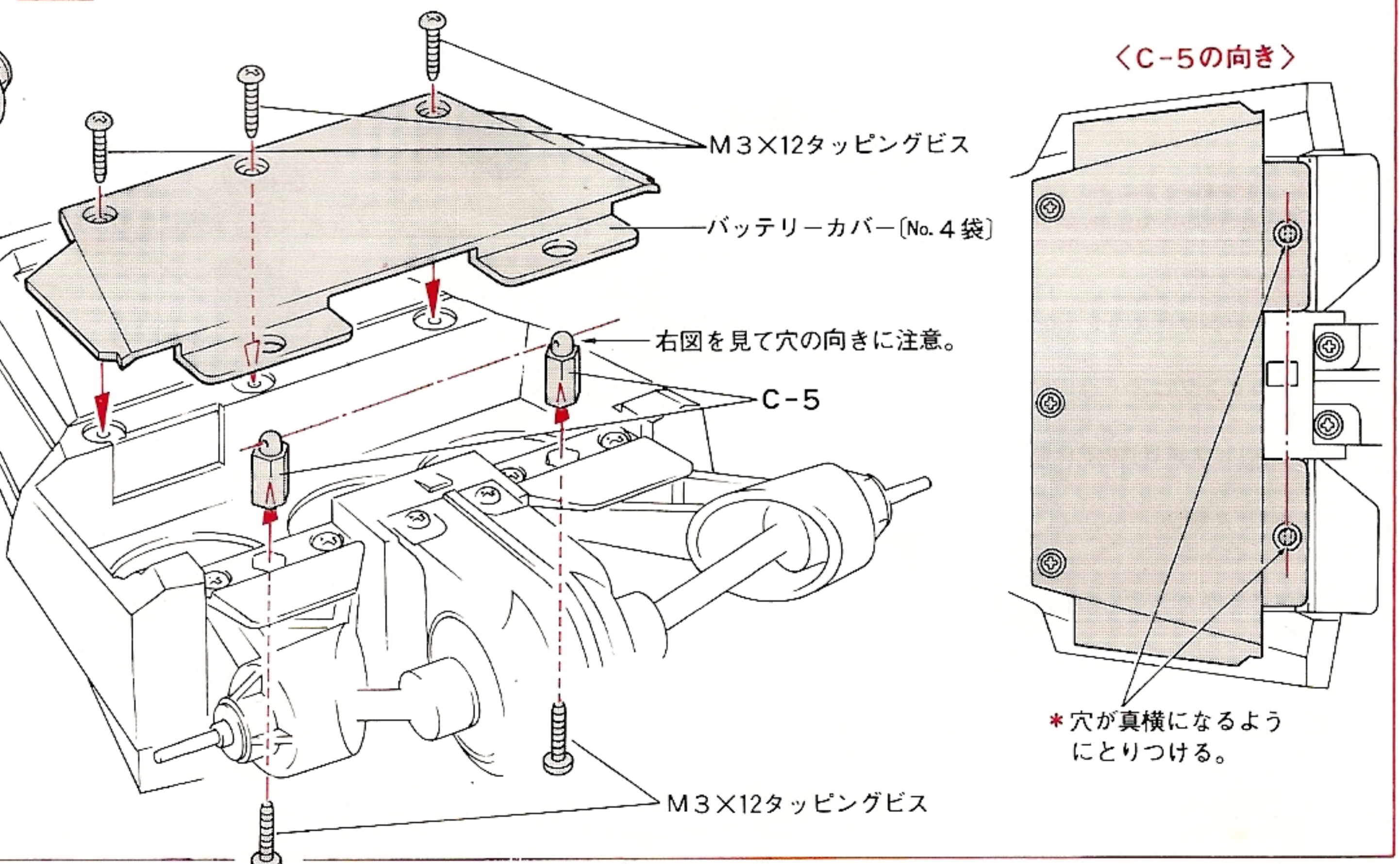
〈リアダンパー上側のとめかた〉



〈リアダンパー上側のとめかた〉



9 バッテリーカバーのとりつけ



10 プロポの動作チェック

*ここでプロポの動作チェックをおこなって下さい。

*プロポにはBEC (ベック) 方式プロポと BEC方式ではないプロポがあります。

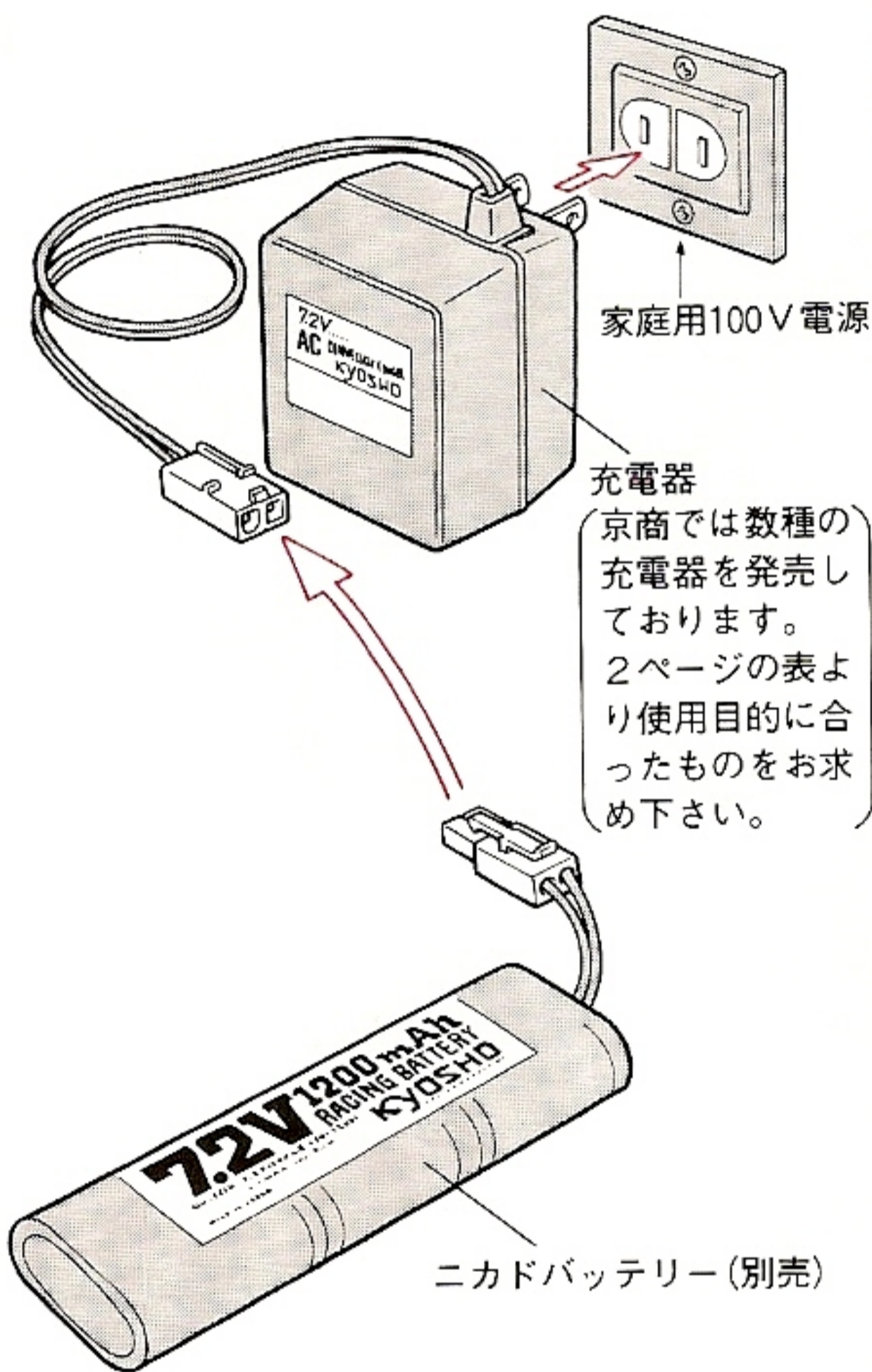


*上のマークがついているプロポはBEC方式プロポですから右図の〈BECのせつぞく〉を見ながらコネクタをせつぞくし、動作チェックをおこなって下さい。

*BEC方式ではないプロポは2ページの「プロポのチェック」を参考にプロポを動作させて下さい。

〈7.2Vニカドバッテリーの充電〉

*BEC方式プロポをチェックする時、7.2Vバッテリーを使いますが、十分に充電してから使して下さい。



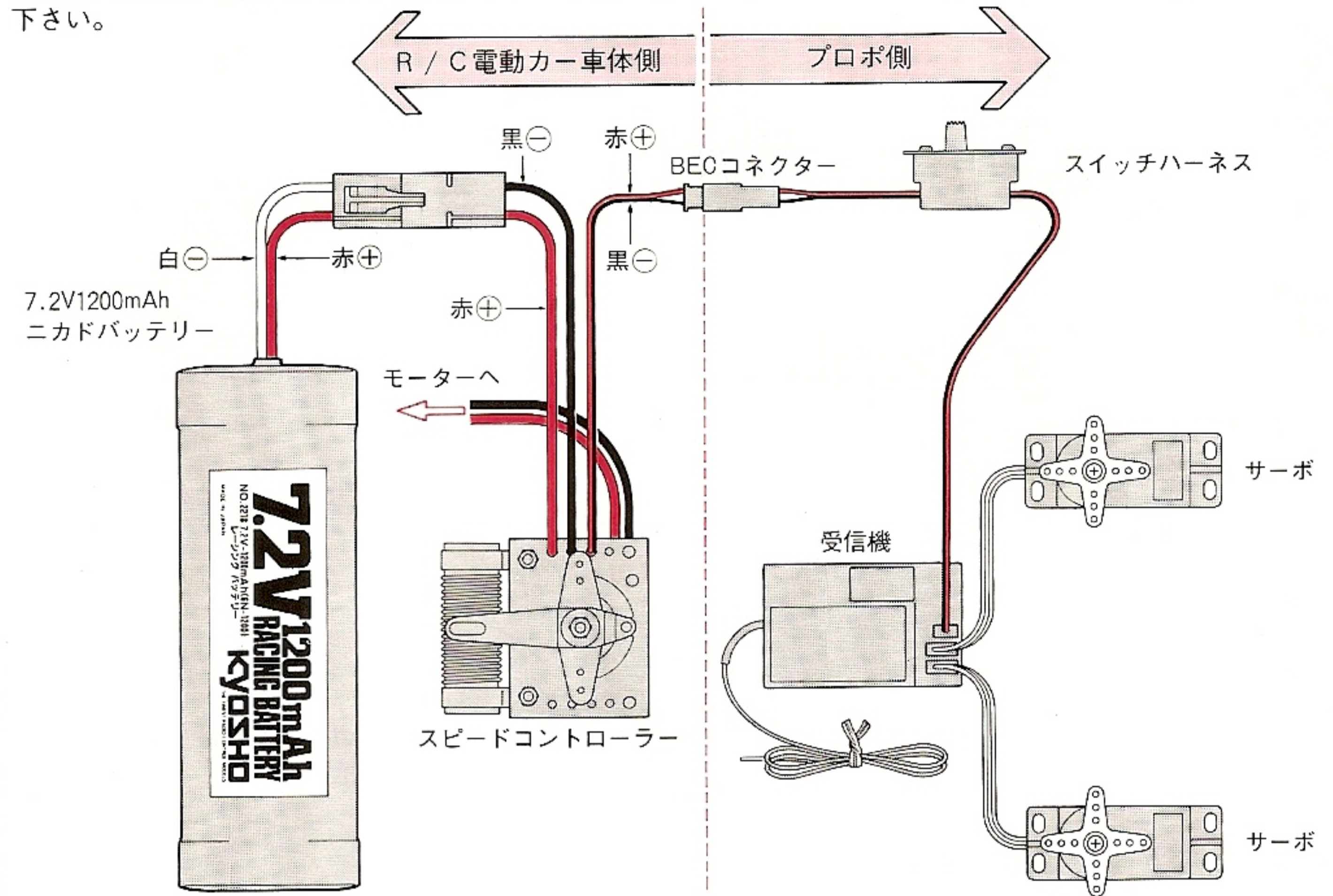
10 プロポの動作チェック

〈BEC方式とは?〉

7.2V1200mAhニカドバッテリー(7.2Vレーシングバッテリーなど)から、駆動用モーターとプロポ(受信機、サーボ)の両方に電気が流れるようにして、プロポ用の乾電池を必要としない方式をBEC方式といいます。

〈BECのせつぞく〉

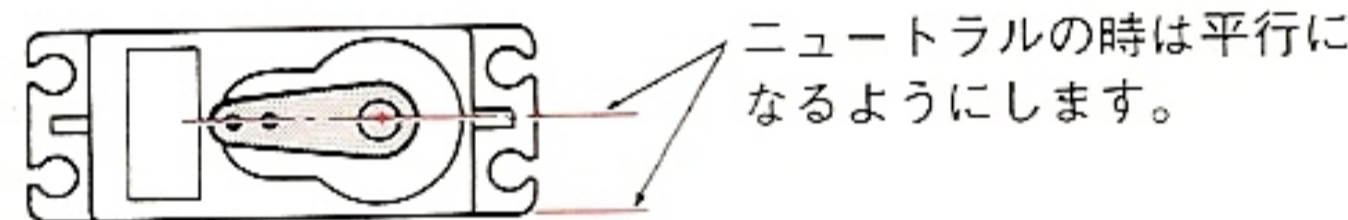
BECのせつぞくは下図のようにスピードコントローラー(スピコン)からのBECコネクタとプロポ側スイッチからのBECコネクタをせつぞくするだけでOKです。ニカドバッテリーをスピコンにせつぞくしてプロポを動かして下さい。



〈サーボのニュートラル調整〉

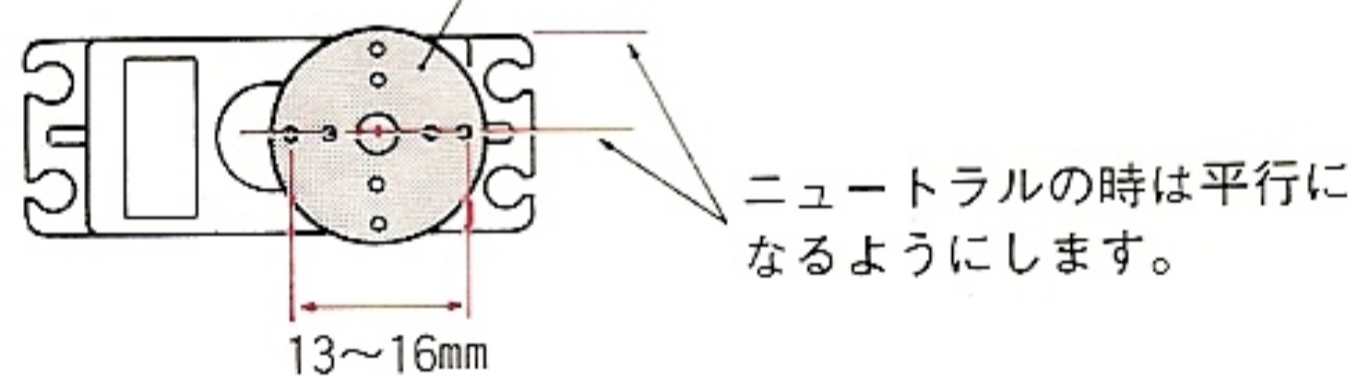
*プロポを動かしてトリムレバーとスティックを中立(ニュートラル)にした時、サーボホーンが下図のようになるよう、サーボホーンの形と取付角度を変えて下さい。

●スピードコントロール(スピコン)用サーボ



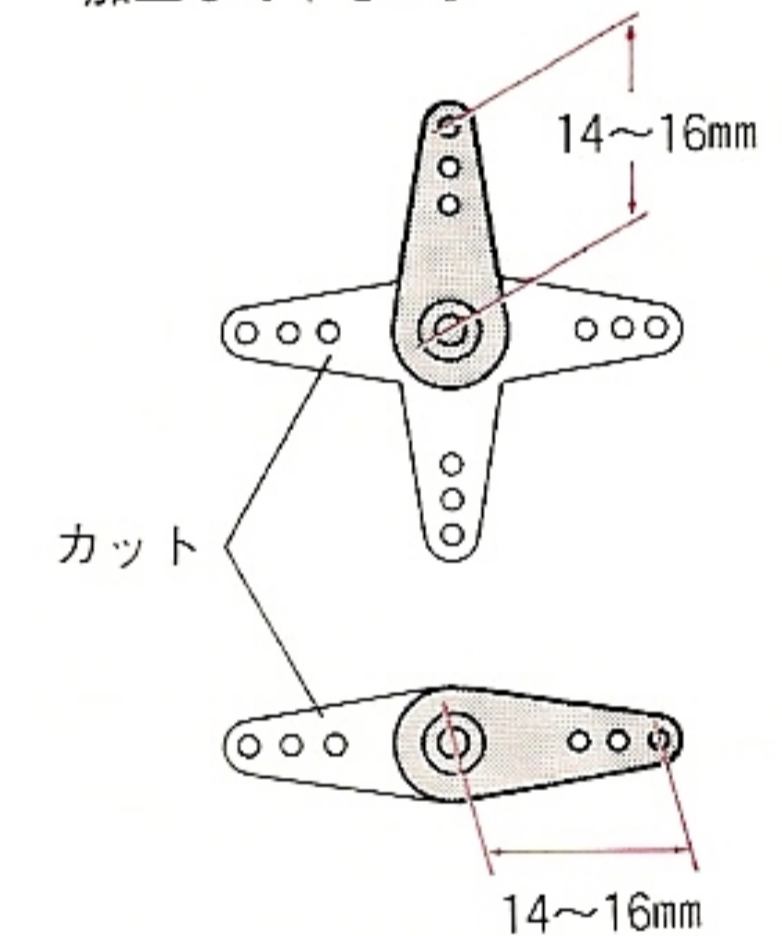
●ステアリング用サーボ

穴のかんかくが13mm~16mmのまるいサーボホーンを使います。



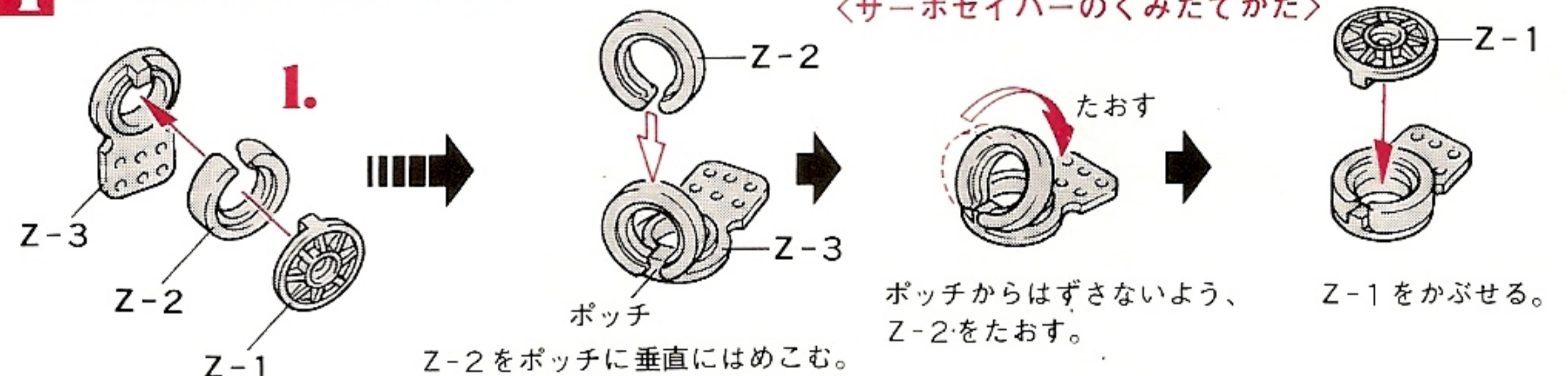
〈スピコン用サーボホーンの加工〉

*十字形又は一字形のサーボホーンを加工して下さい。



11 サーボセイバーとサーボマウントのとりつけ

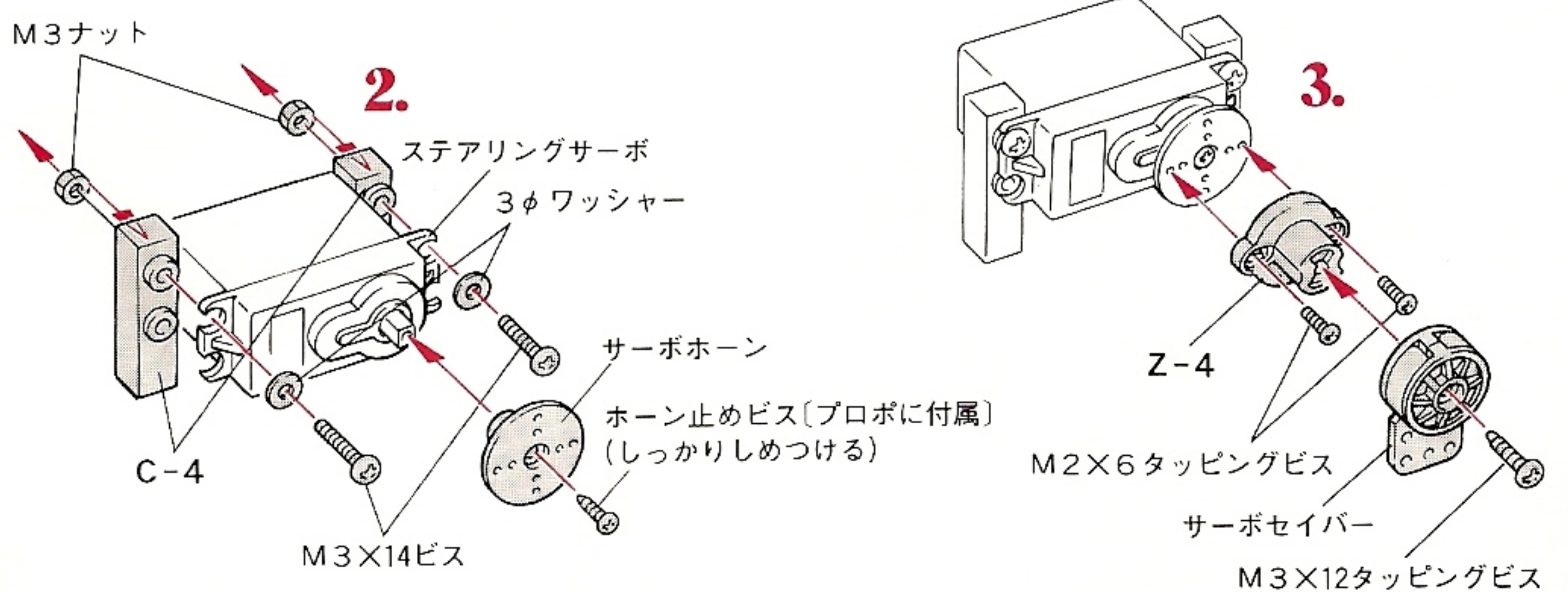
〈サーボセイバーのくみたてかた〉



11 サーボセイバーとサーボマウントのとりつけ

〈使用するビスなど〉

- M2×6タッピングビス...2 [ビス袋A]
- M3×12タッピングビス...1 [ビス袋A]
- M3×14ビス(ビス袋B)...2
- M3ナット(ビス袋B)...2
- 3φワッシャー...2 [ビス袋B]



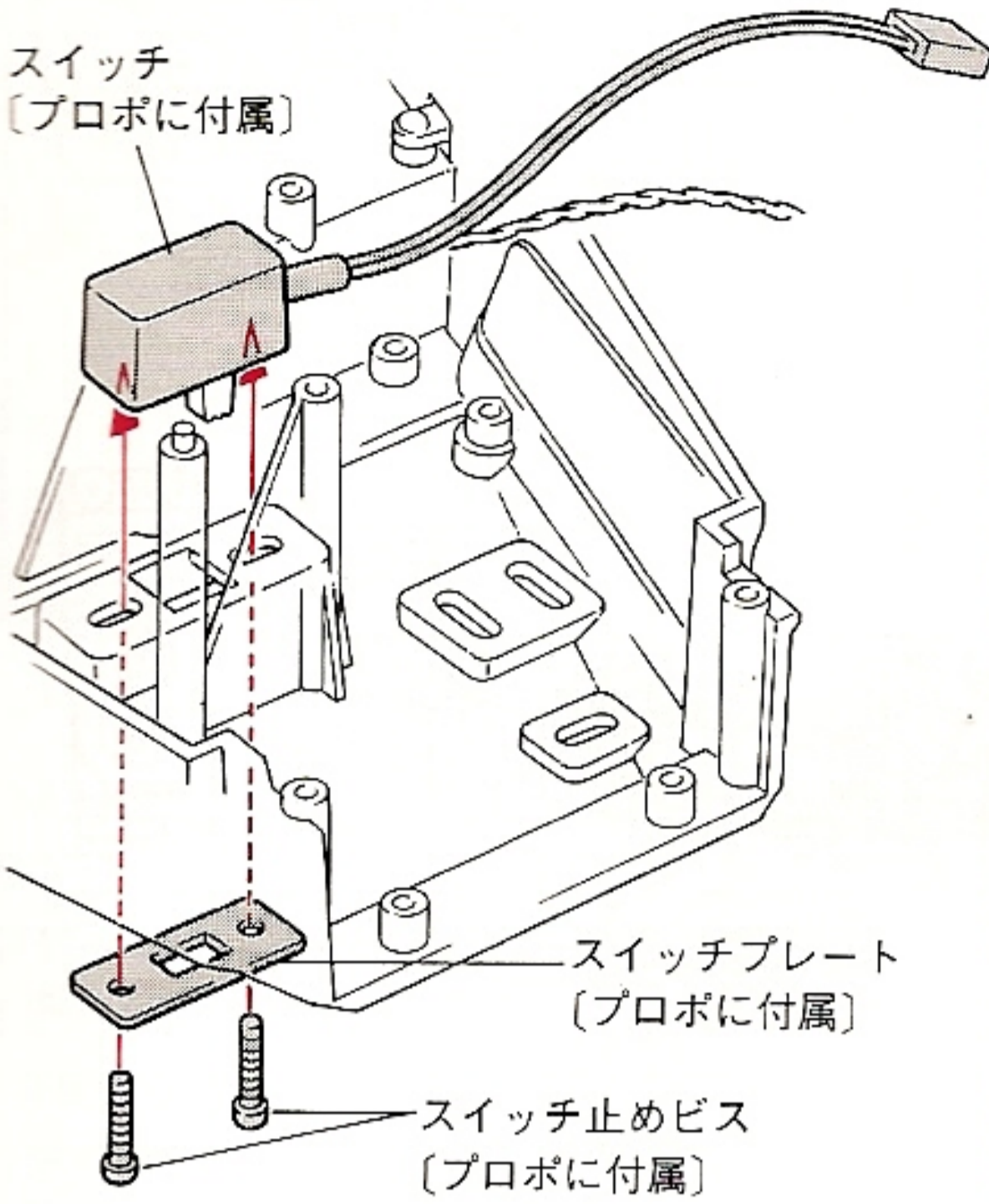
12 スピコンのとりつけ

〈使用するビスなど〉

M3×12タッピングビス…2
〔ビス袋A〕

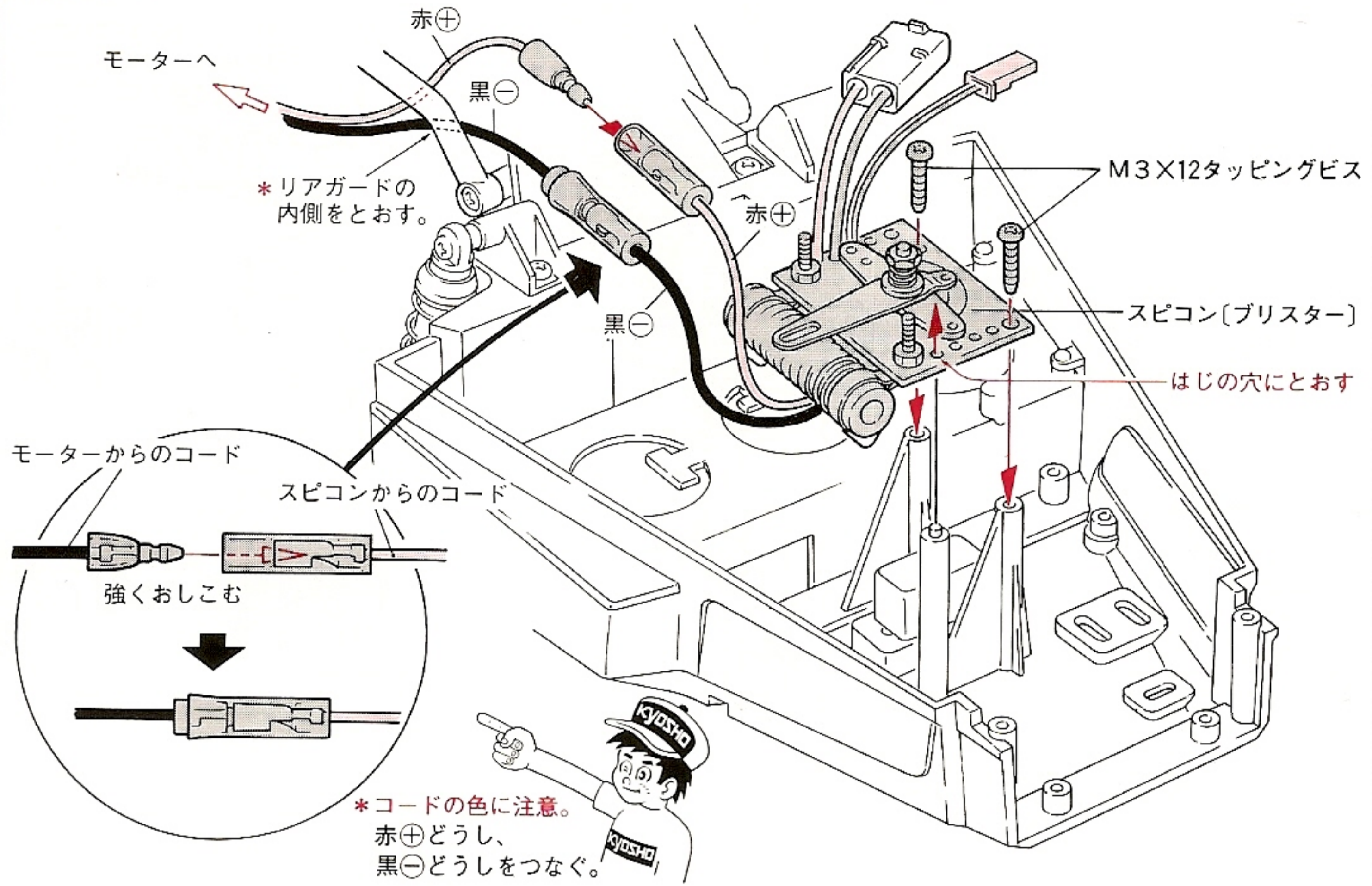
〈スイッチのとりつけ〉

スイッチ
〔プロポに付属〕

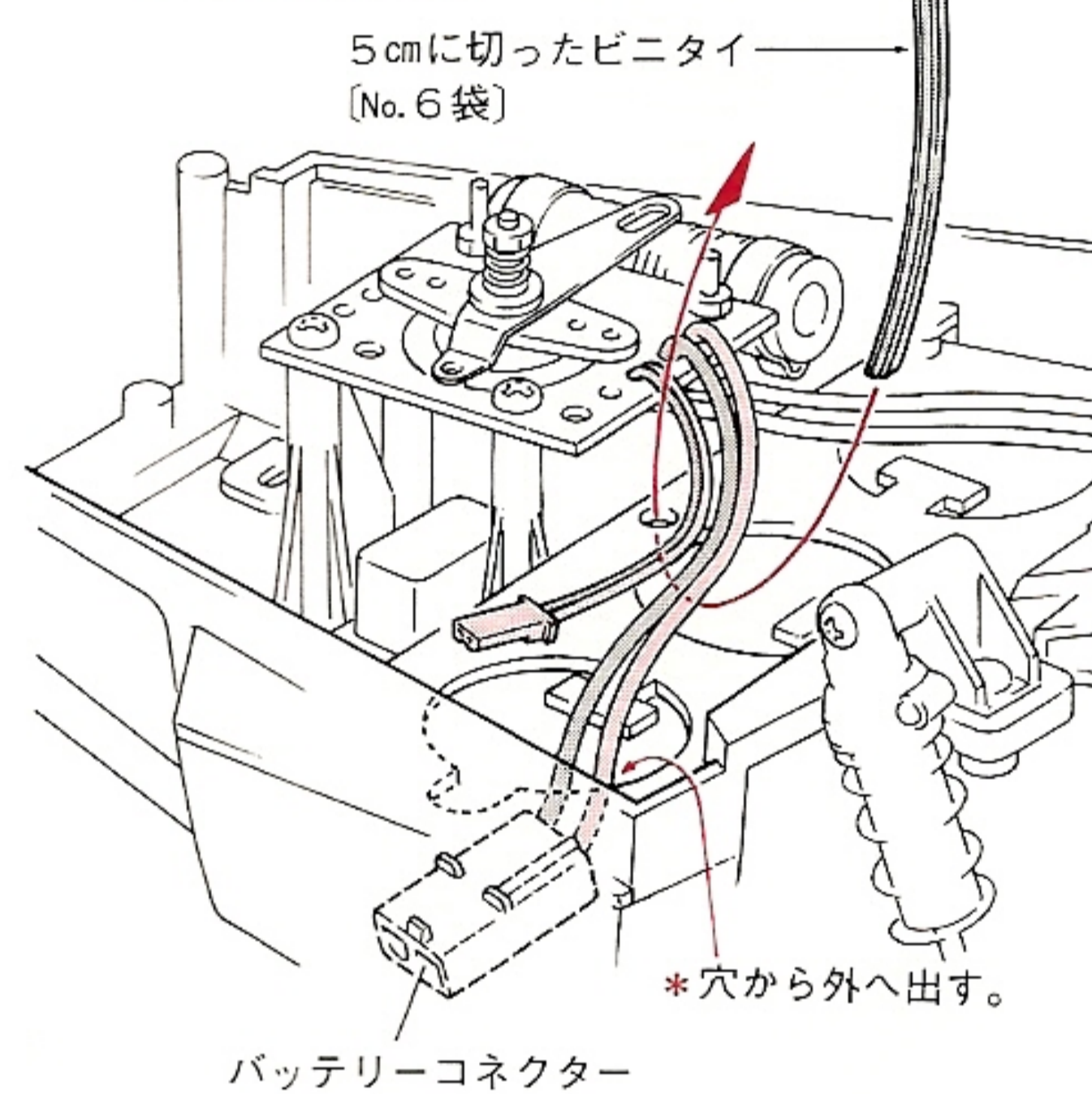


12 スピコンのとりつけ

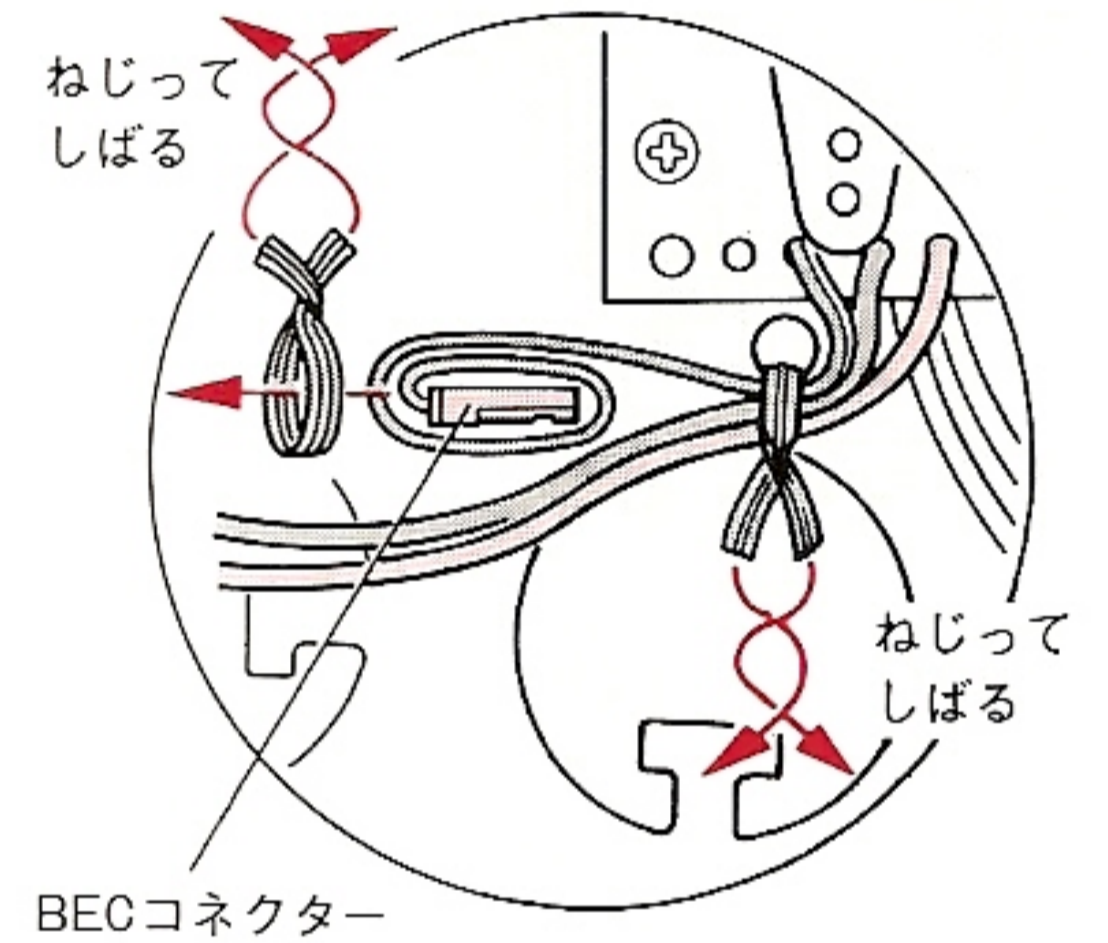
*左図のくみたてを先におこなって下さい。



〈コードの処理〉



*BECコネクタを使わない方はコネクタをまるめて5cmに切ったビニタイでしばって下さい。



13 サーボとタイロッドのとりつけ

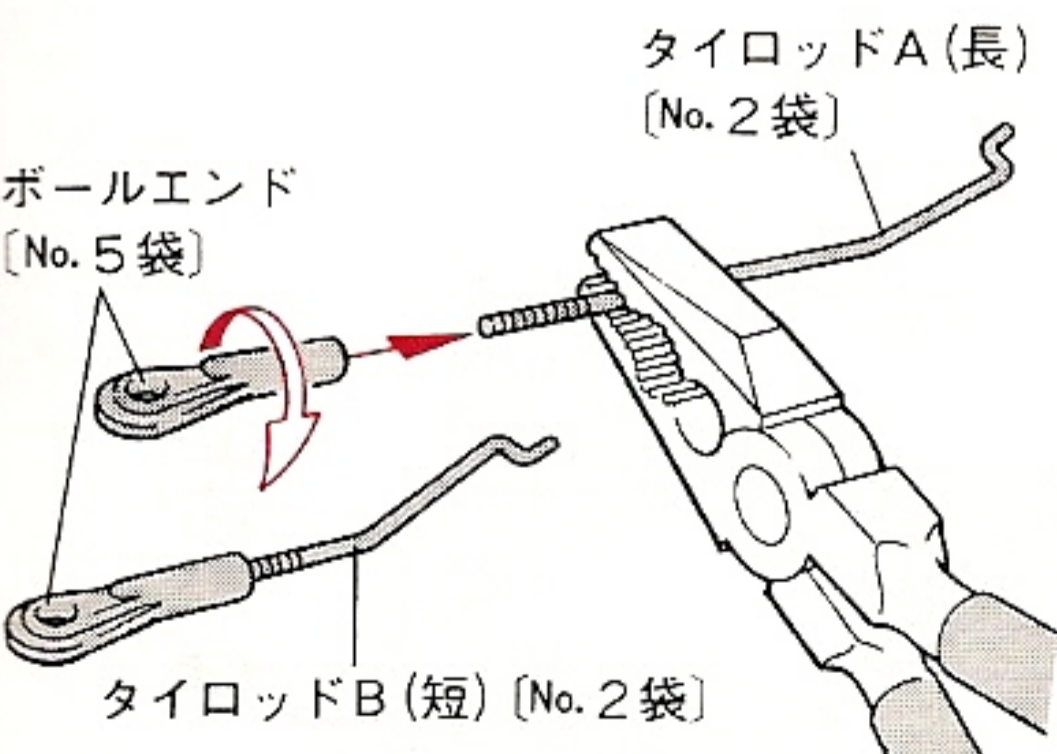
〈使用するビスなど〉

M3×12タッピングビス…6
〔ビス袋A〕

3φワッシャー……………6
〔ビス袋B〕

〈ボールエンドのとりつけ〉

*ボールエンドをタイロッドにねじこんで下図の長さになるようにします。



タイロッドA(長) *実物の大きさ



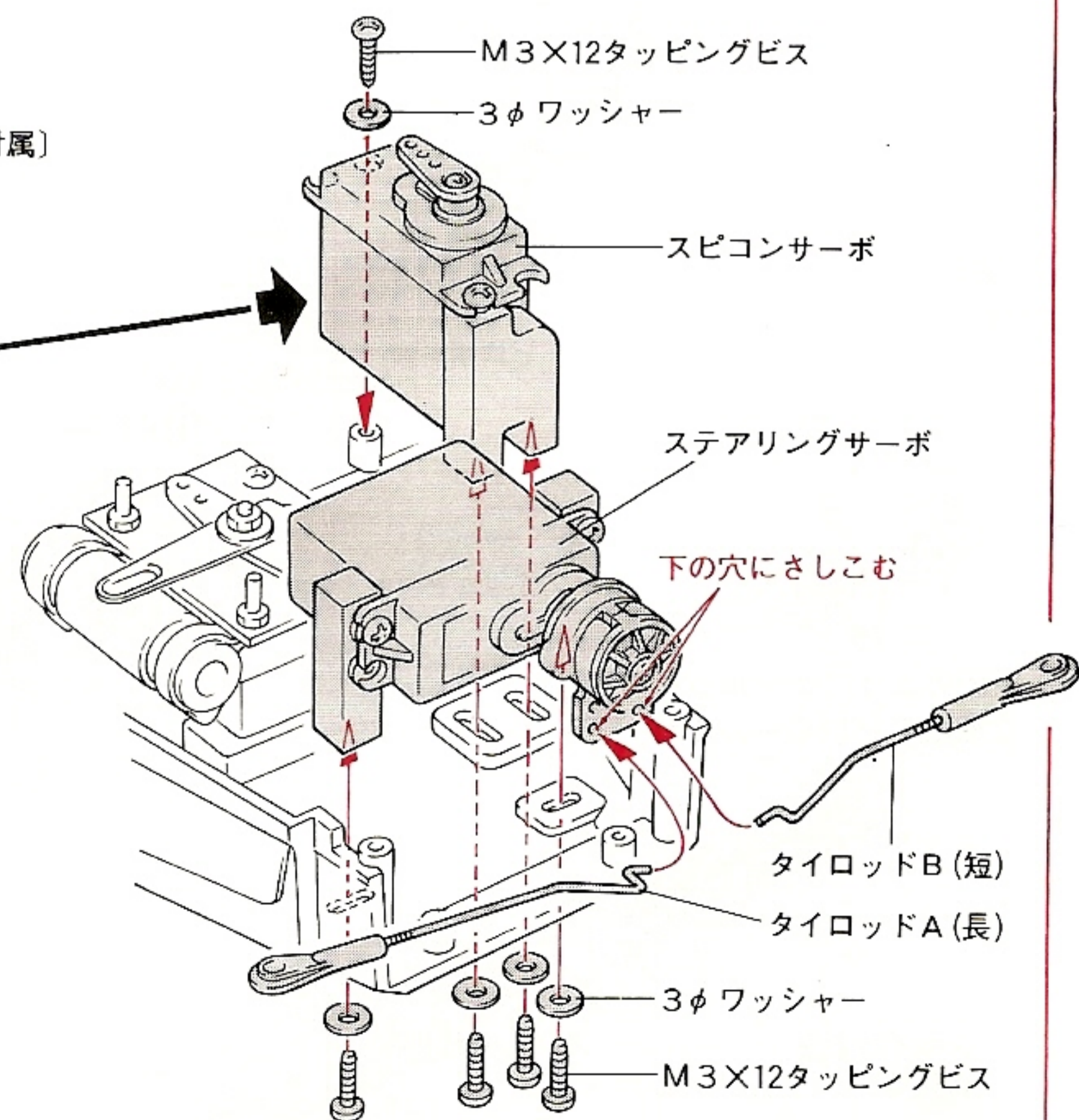
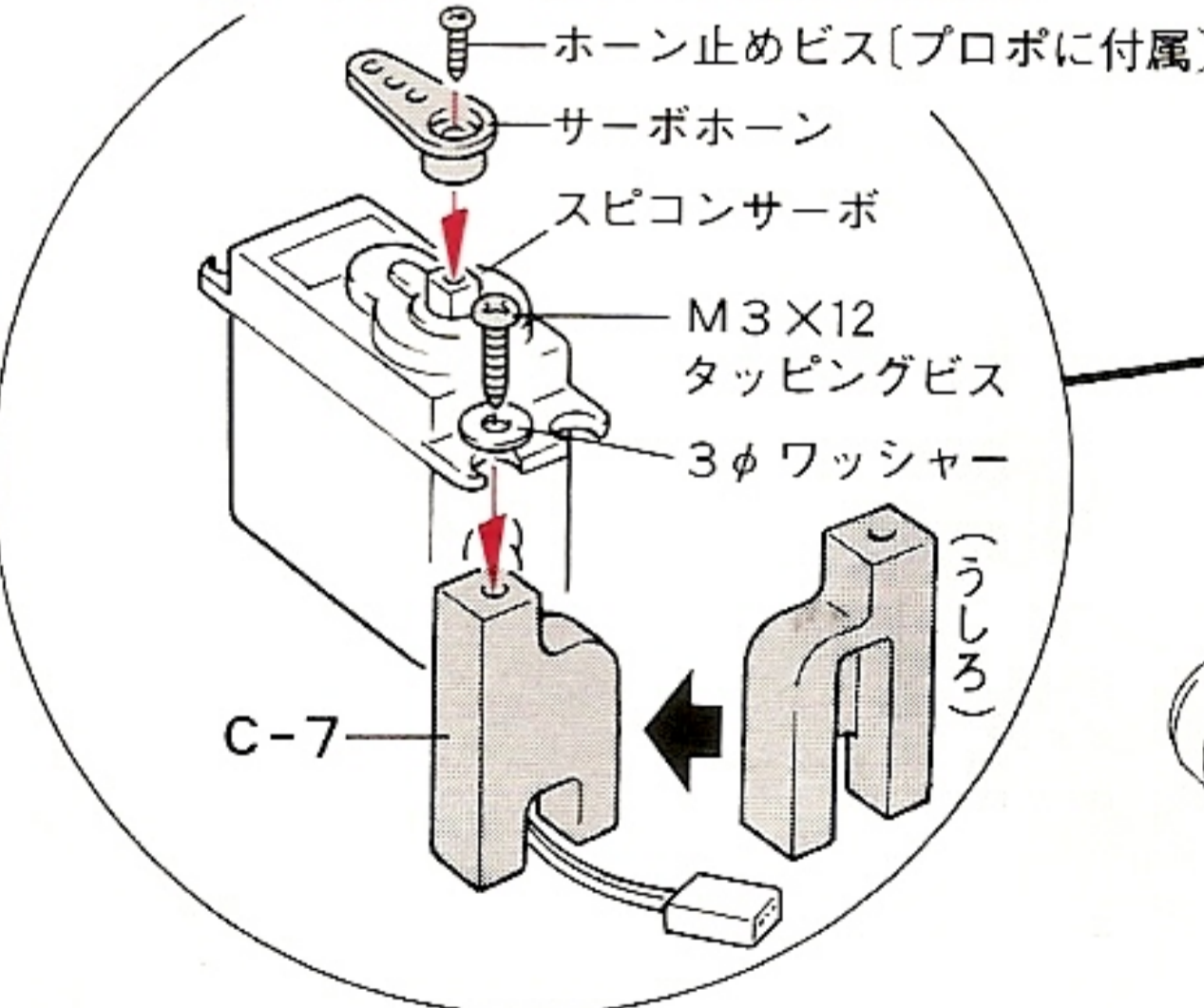
タイロッドB(短) *実物の大きさ



13 サーボとタイロッドのとりつけ


*左図のくみたてを先におこなって下さい。

〈C-7とサーボホーンのとりつけ〉

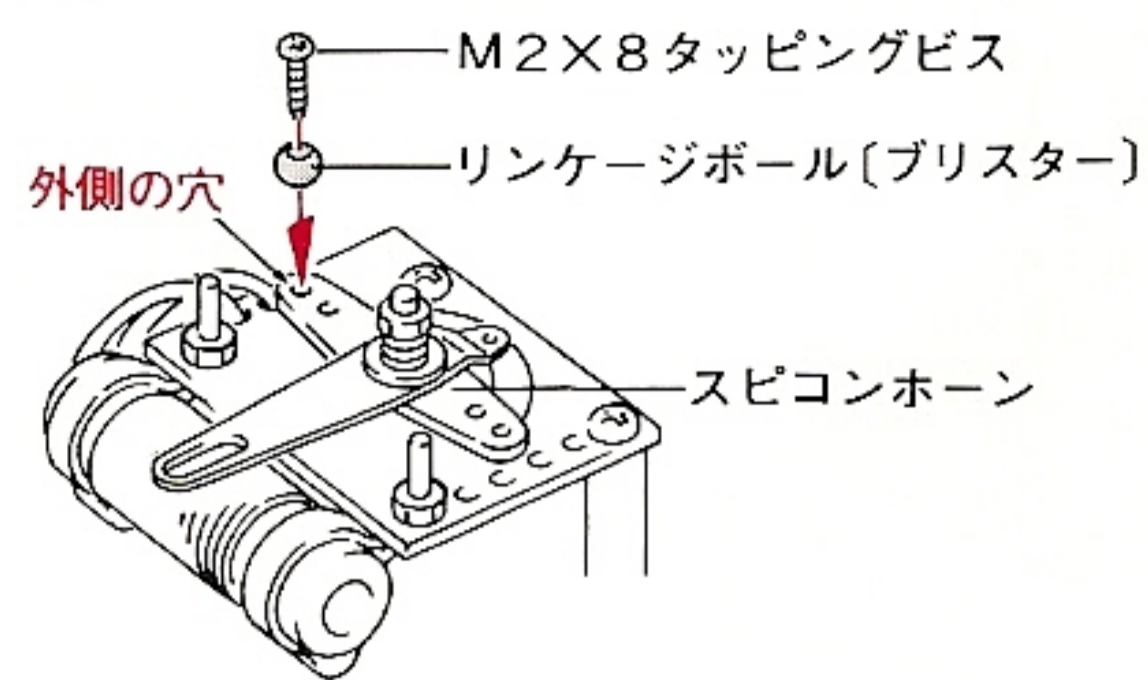


14 スピコンロッドのとりつけ

〈使用するビスなど〉

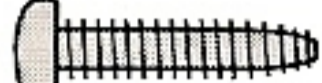
M2×8タッピングビス…1 
〔ビス袋B〕

1. スピコンにリンケージボールをとりつける。



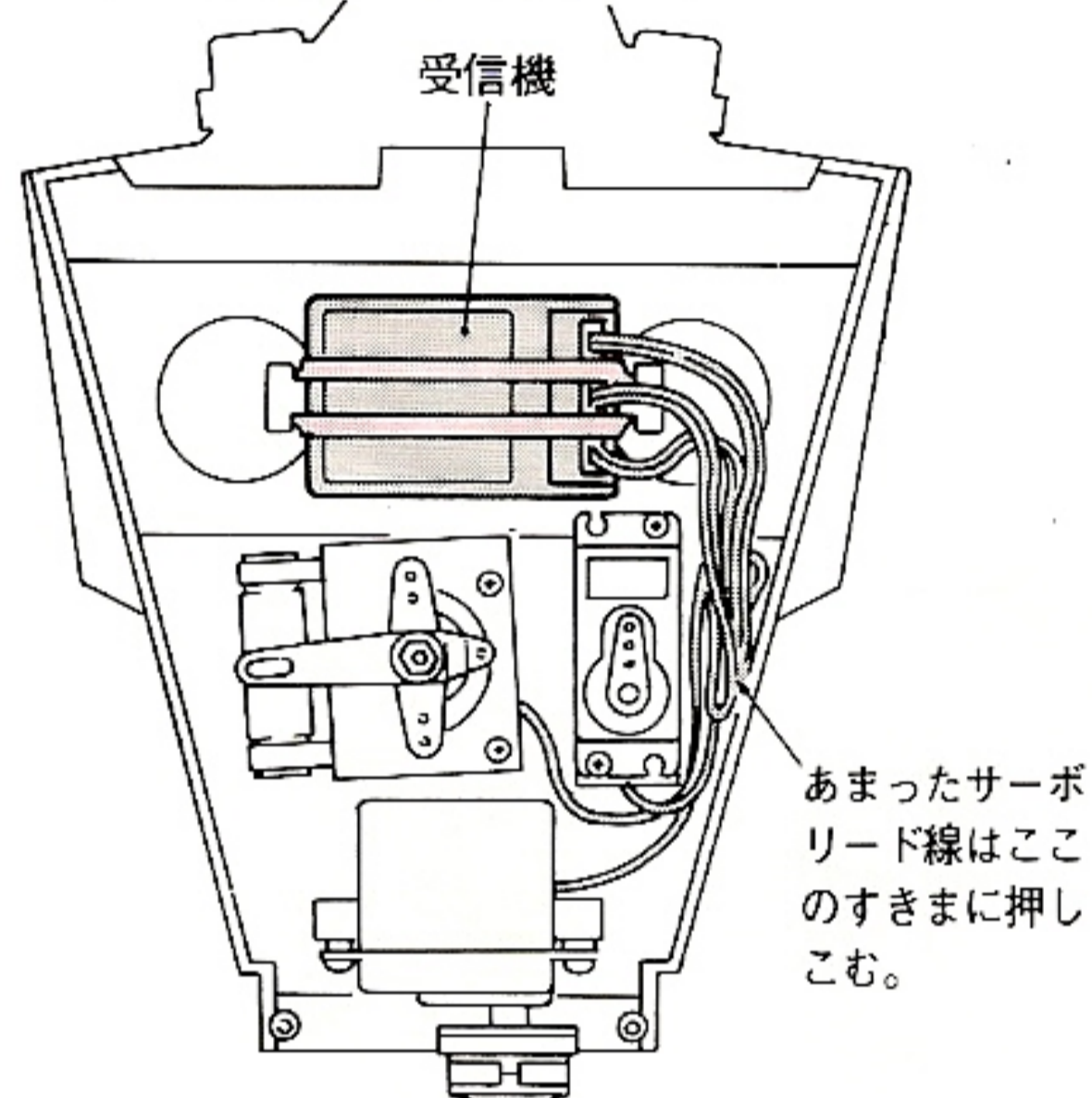
15 受信機と電池ボックスのとうさい

〈使用するビスなど〉

M3×12タッピングビス…2 
〔ビス袋A〕

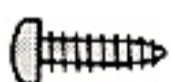
〈BEC方式プロポのとうさい〉


*BEC方式プロポの時は受信機を下図のよう
にとうさいして下さい。



16 フロントサスアームのくみため

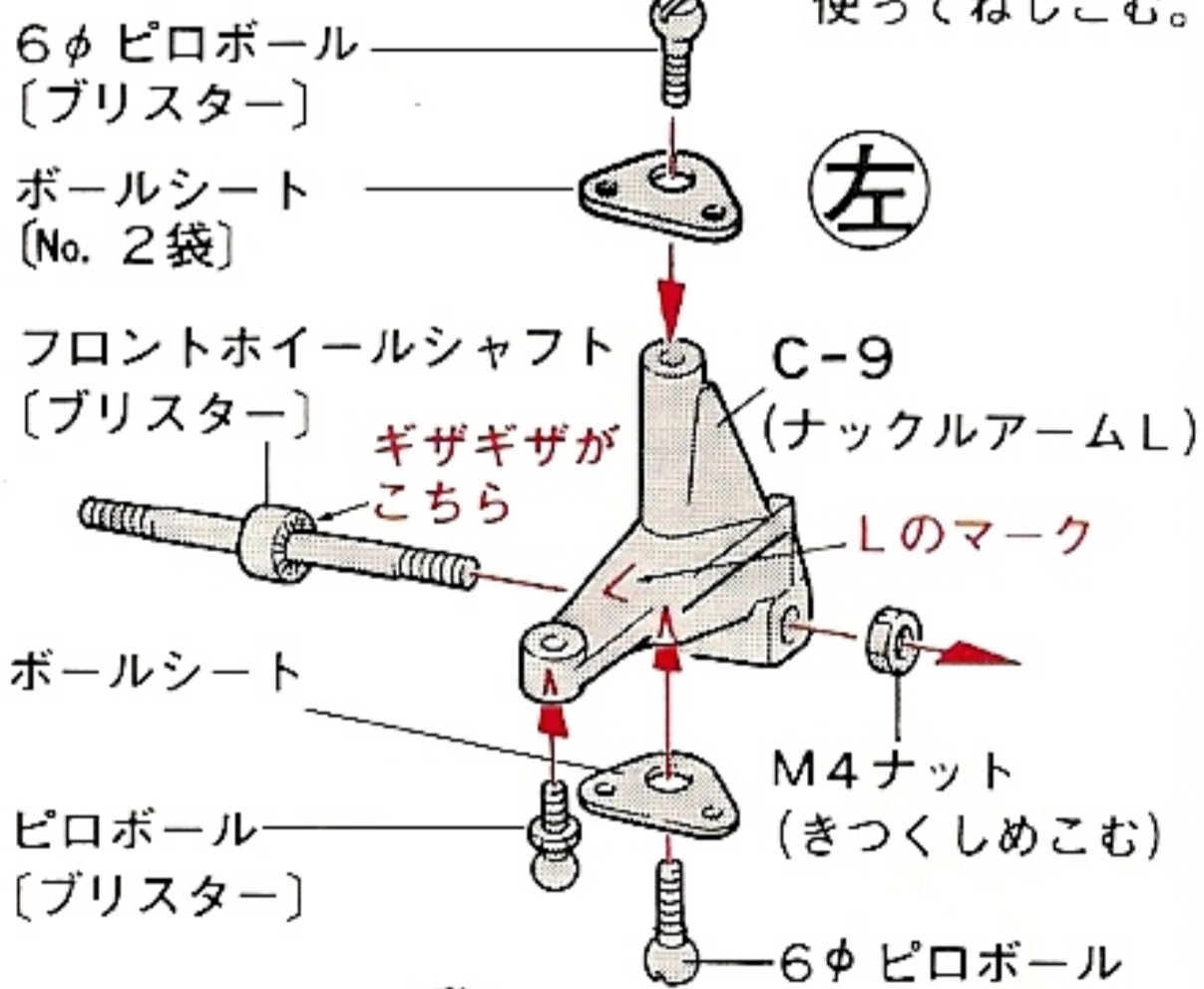
〈使用するビスなど〉

M2×6タッピングビス…8 
〔ビス袋A〕

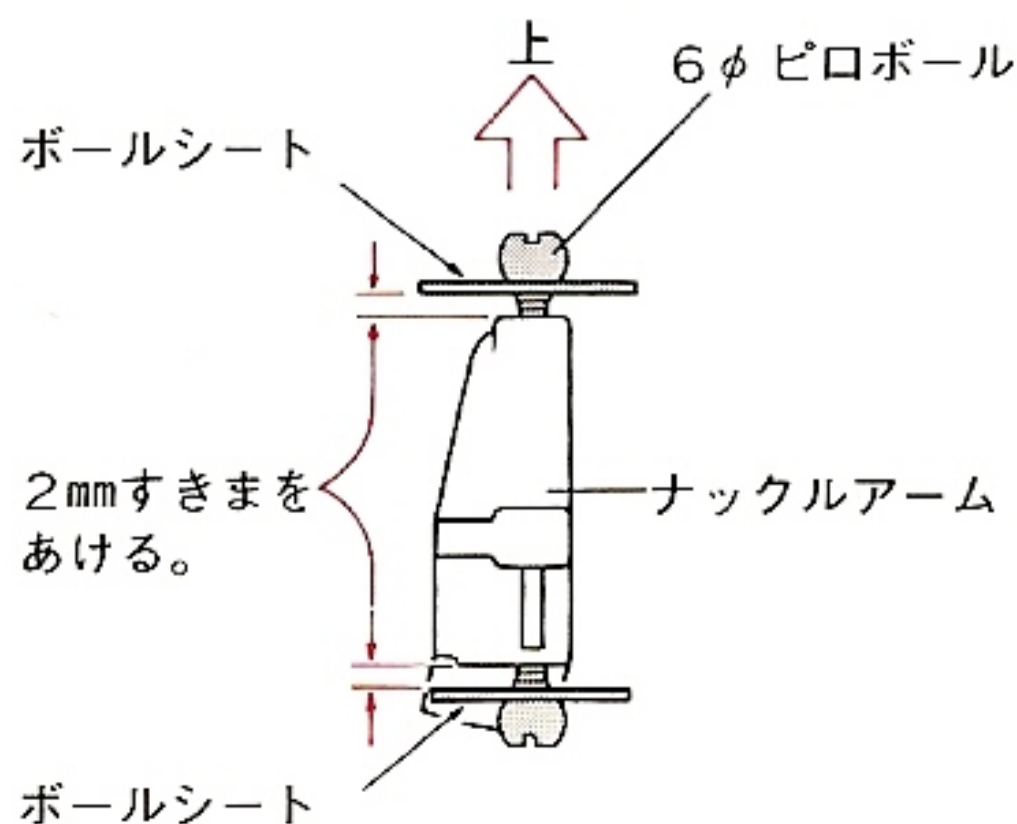
M4ナット〔ビス袋B〕…2 

〈ナックルアームのくみため〉

⊖ドライバー(大)を使ってねじこむ。



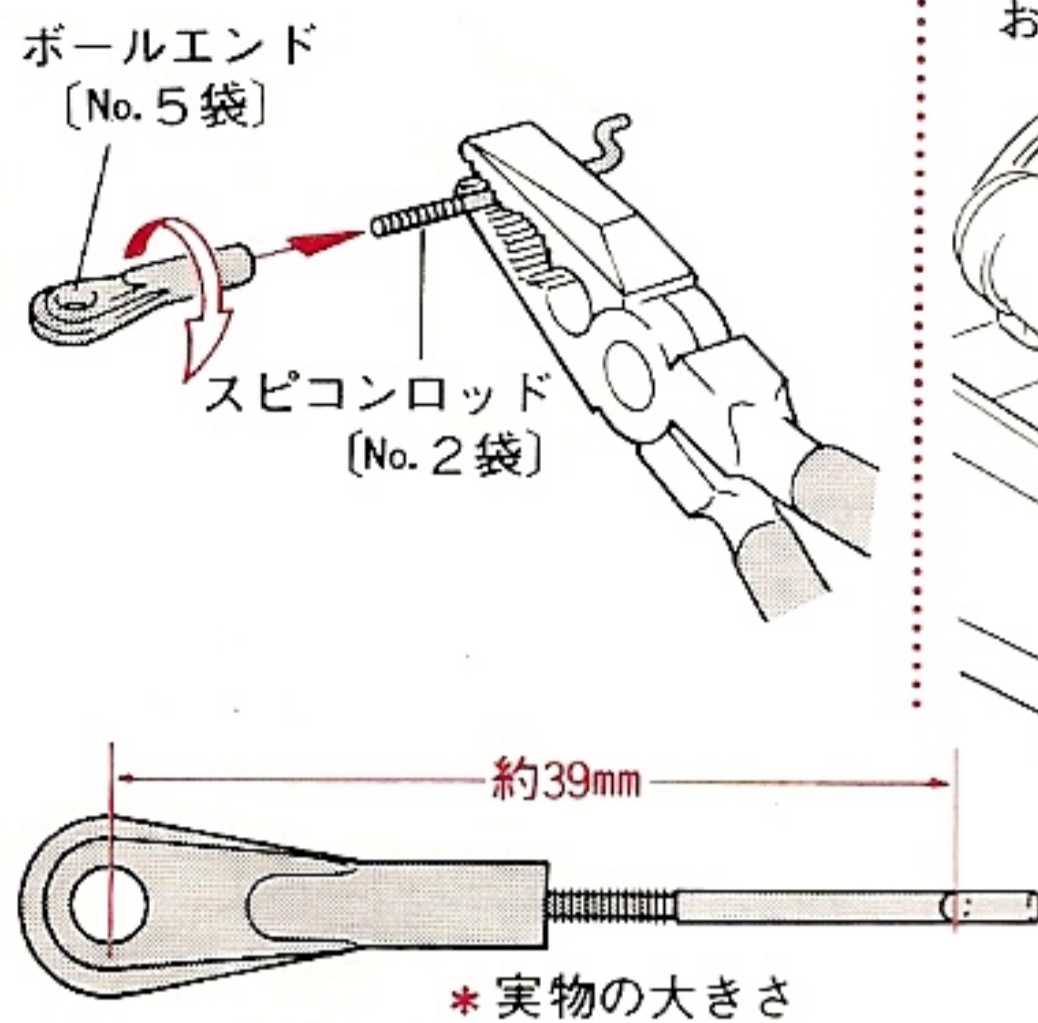
*下図のようにボールシートのすきま寸法に注意してピロボールをねじこんで下さい。



14 スピコンロッドのとりつけ

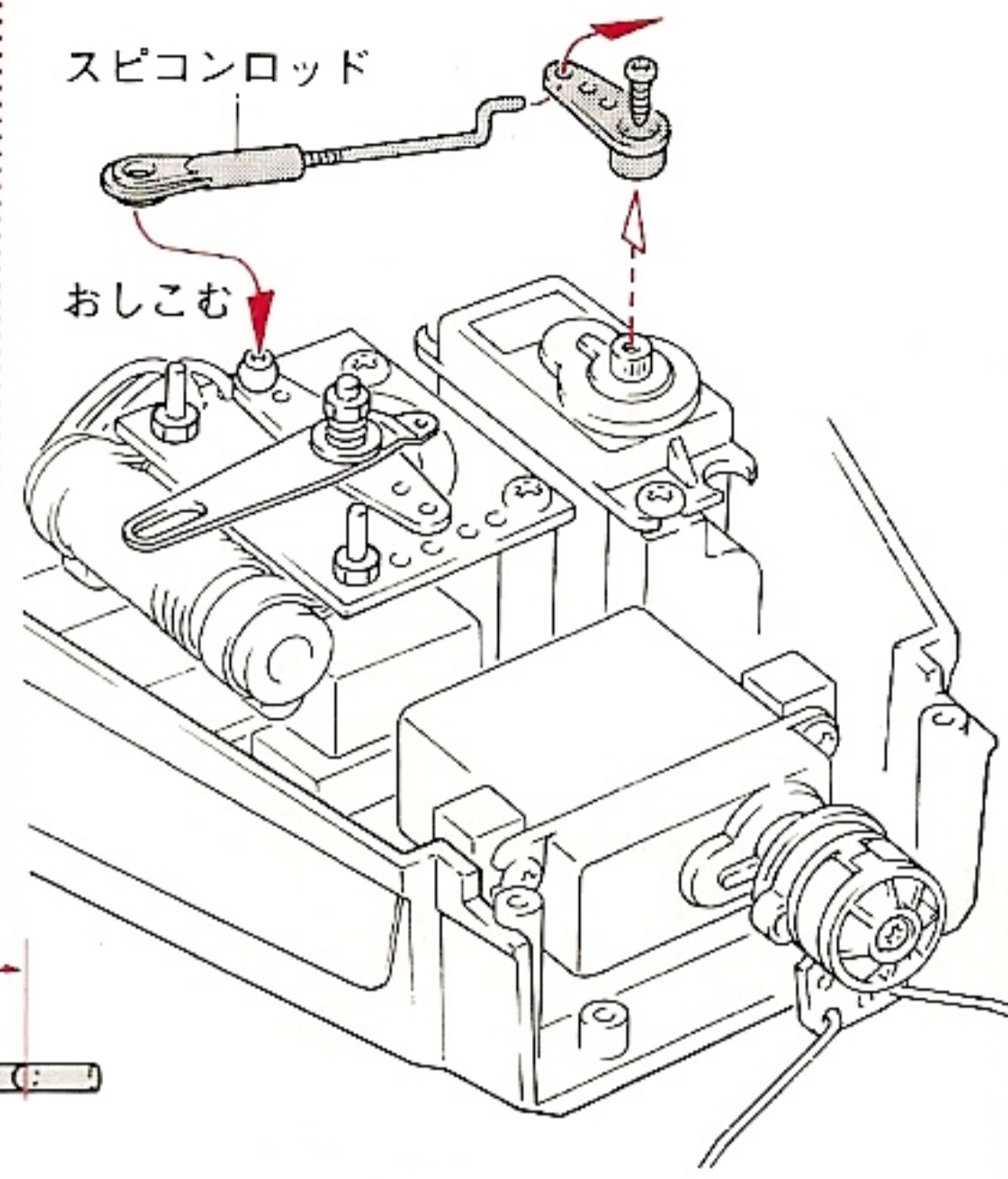
*左図のくみためを先におこなって下さい。

2. ボールエンドをスピコンロッドにねじこんで下図の長さになるようにする。



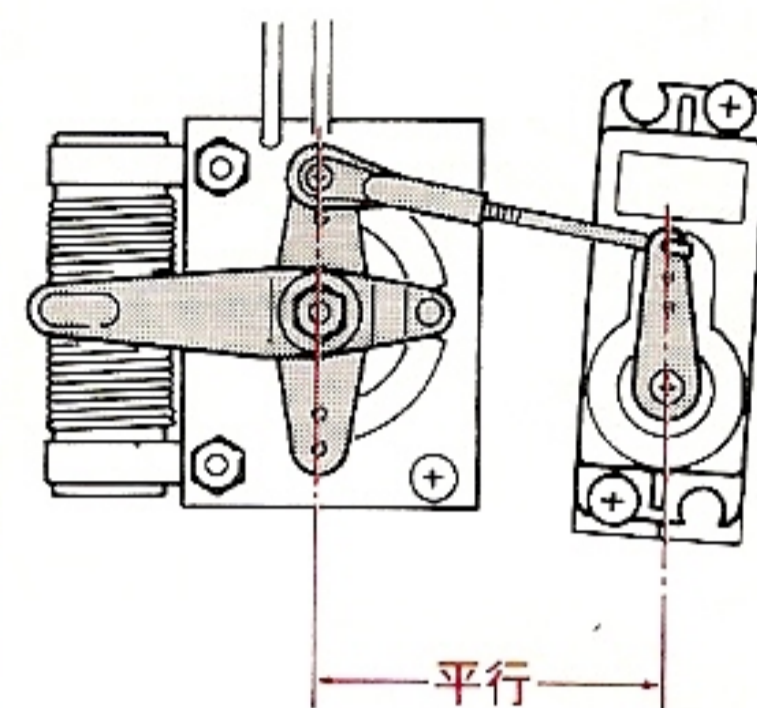
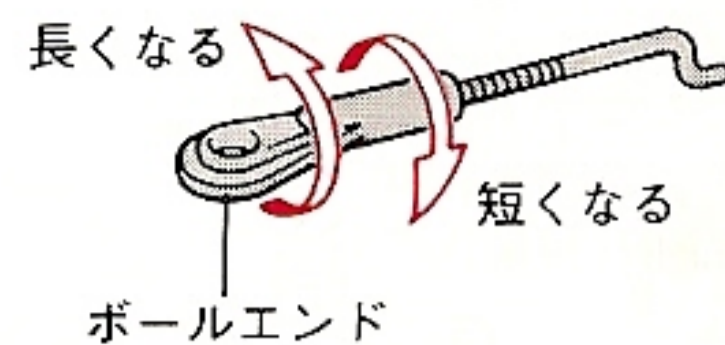
*実物の大きさ

3. サーボホーンをもう一度はずし、サーボホーンの裏側からスピコンロッドを通す。

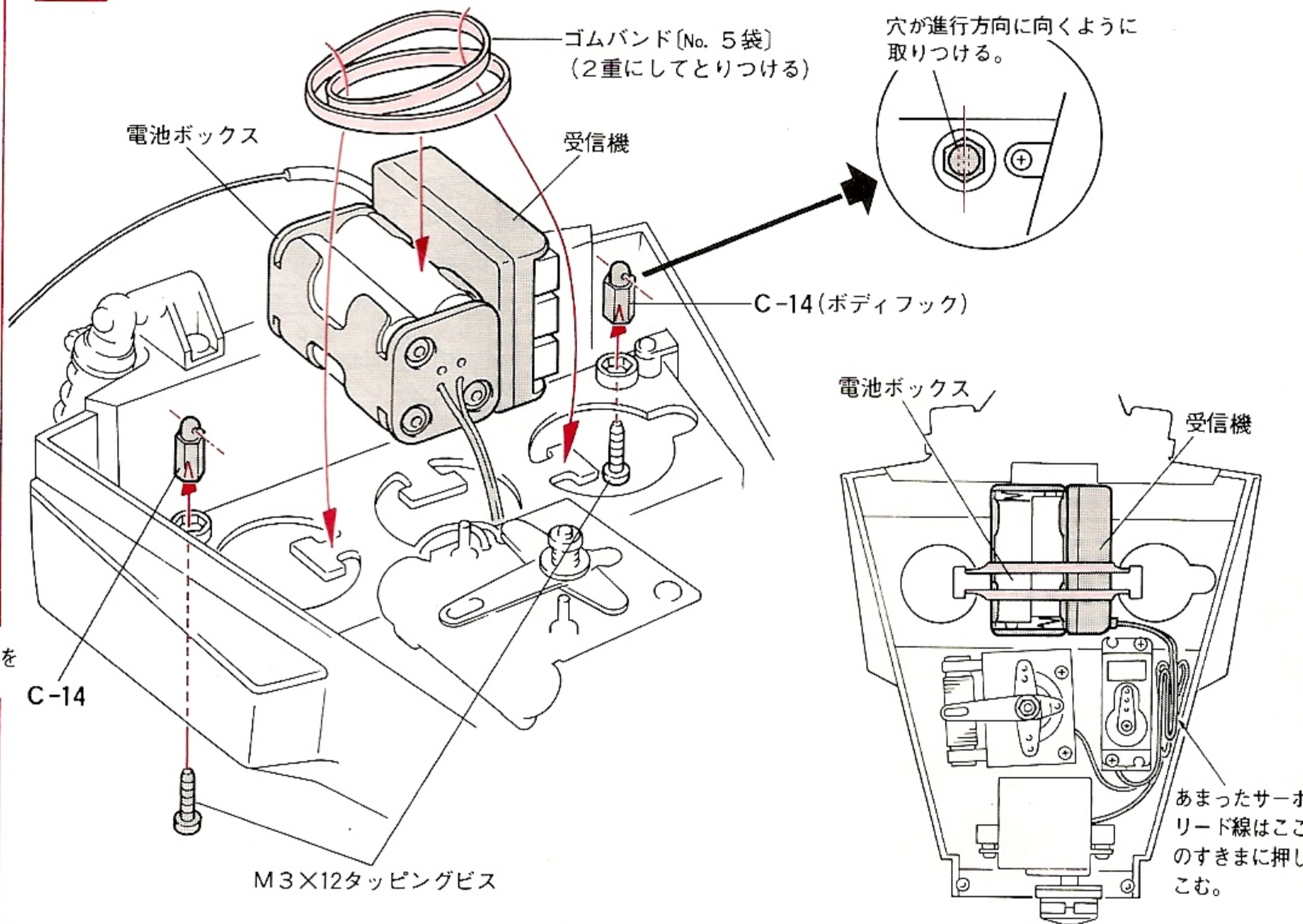


〈ロッドの長さの調節のしかた〉

*スピコンホーンとサーボホーンが平行になるよう、ボールエンドをまわして長さを調節する。

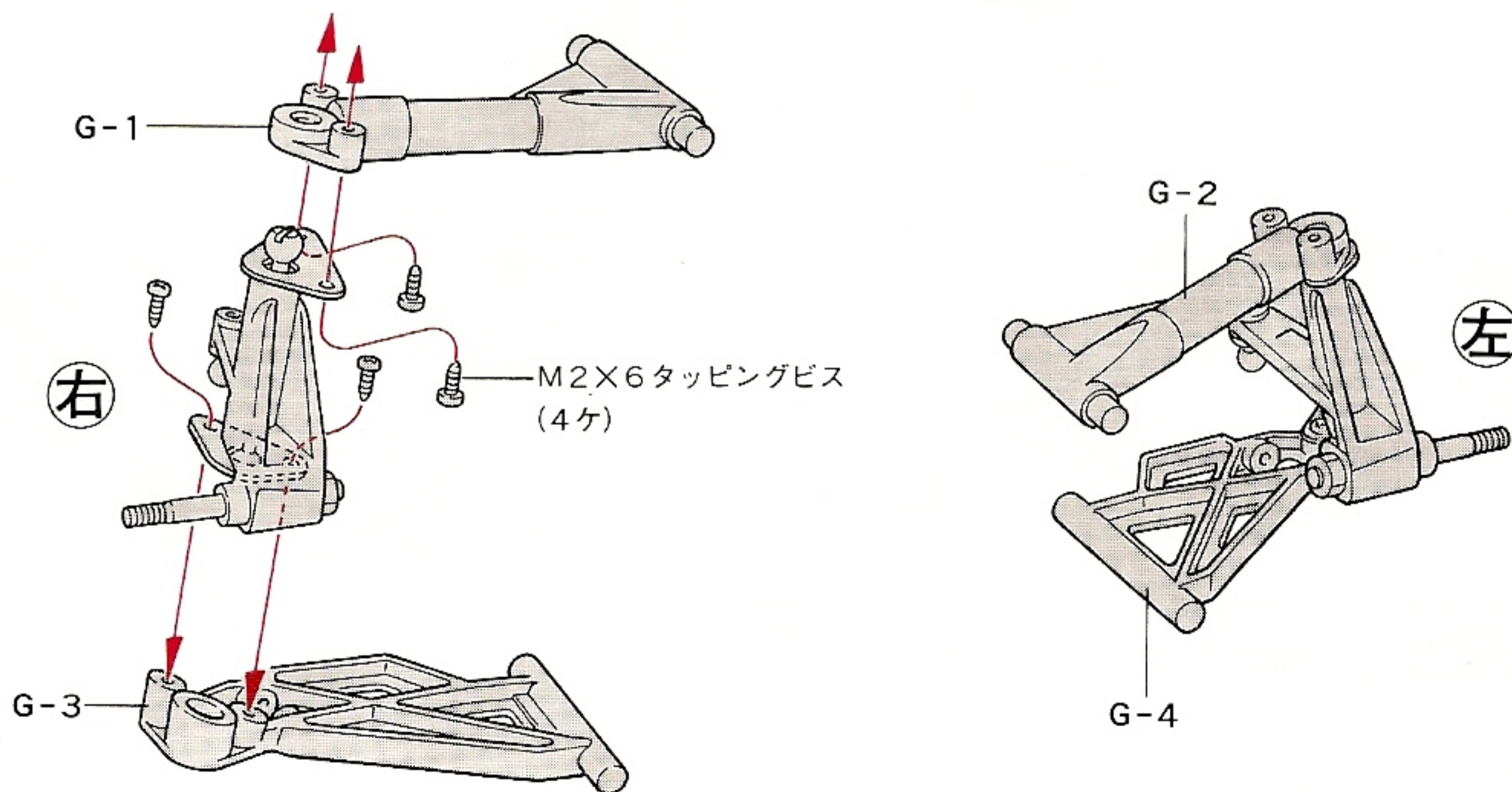


15 受信機と電池ボックスのとうさい



16 フロントサスアームのくみため

*左図のくみためを先におこなって下さい。



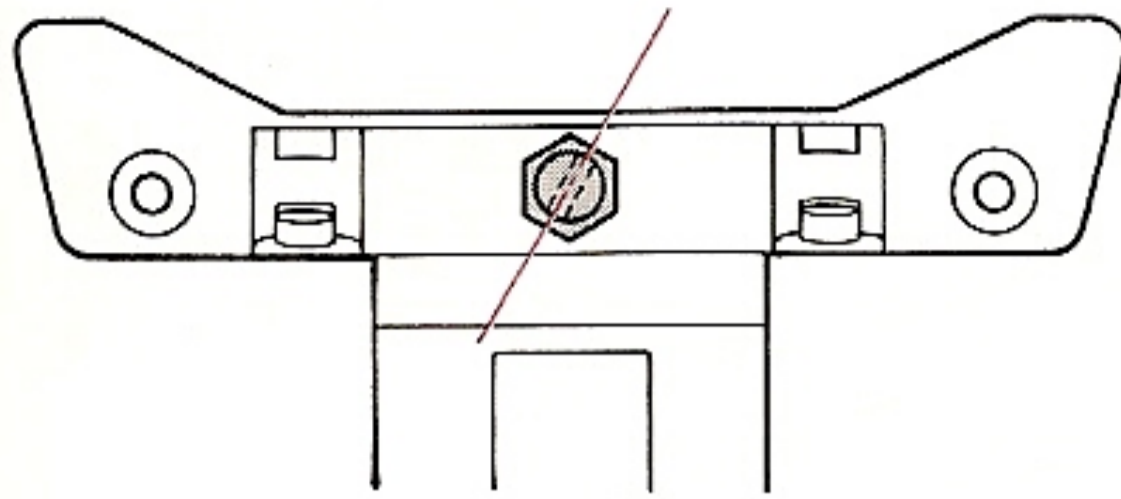
17 フロントサスアームのとりつけ

〈使用するビスなど〉

M3×12タッピングビス…11
〔ビス袋A〕

〈C-6の向き〉

穴がななめになるようにとりつける。



18 バンパーとフロントダンパーのとりつけ

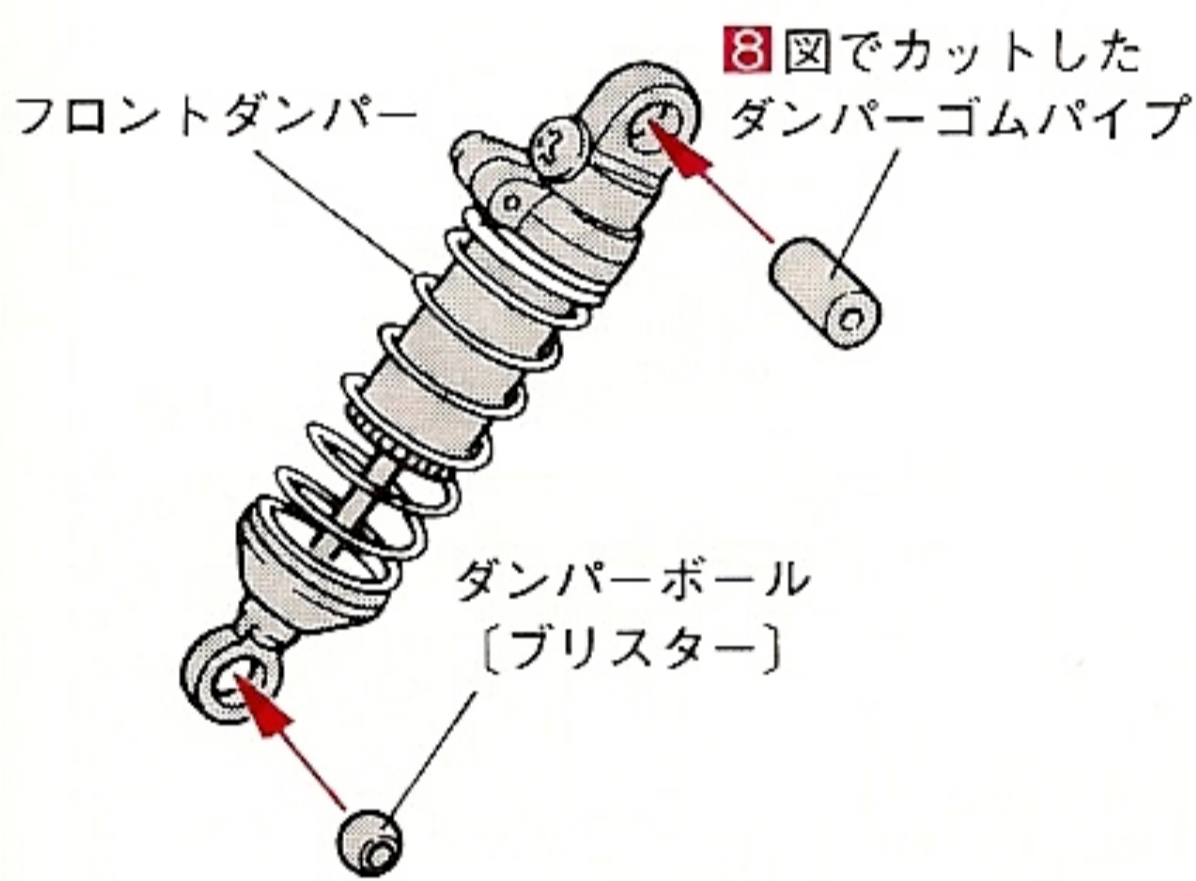
〈使用するビスなど〉

M2.6×15ビス〔ビス袋A〕…2

M3×25ビス〔ビス袋A〕…2

M3×14タッピングビス…2
〔ビス袋B〕

3φワッシャー……………2
〔ビス袋B〕



L-1 (フロントバンパー)

3φワッシャー

M3×14タッピングビス

19 フロント部のとりつけ

〈使用するビスなど〉

M3×12タッピングビス…4
〔ビス袋A〕

19 フロント部のとりつけ

M3×12タッピングビス

ピロボール

ボールエンド

* この2本のビスをゆるめ、
アッパーメンバーとロア
メンバーを上下に開きな
がらシャーシにとりつけ
る。
とりつけたら、もう一度
ビスをしめつける。

* フロント部をとりつけてから左

17 フロントサスアームのとりつけ

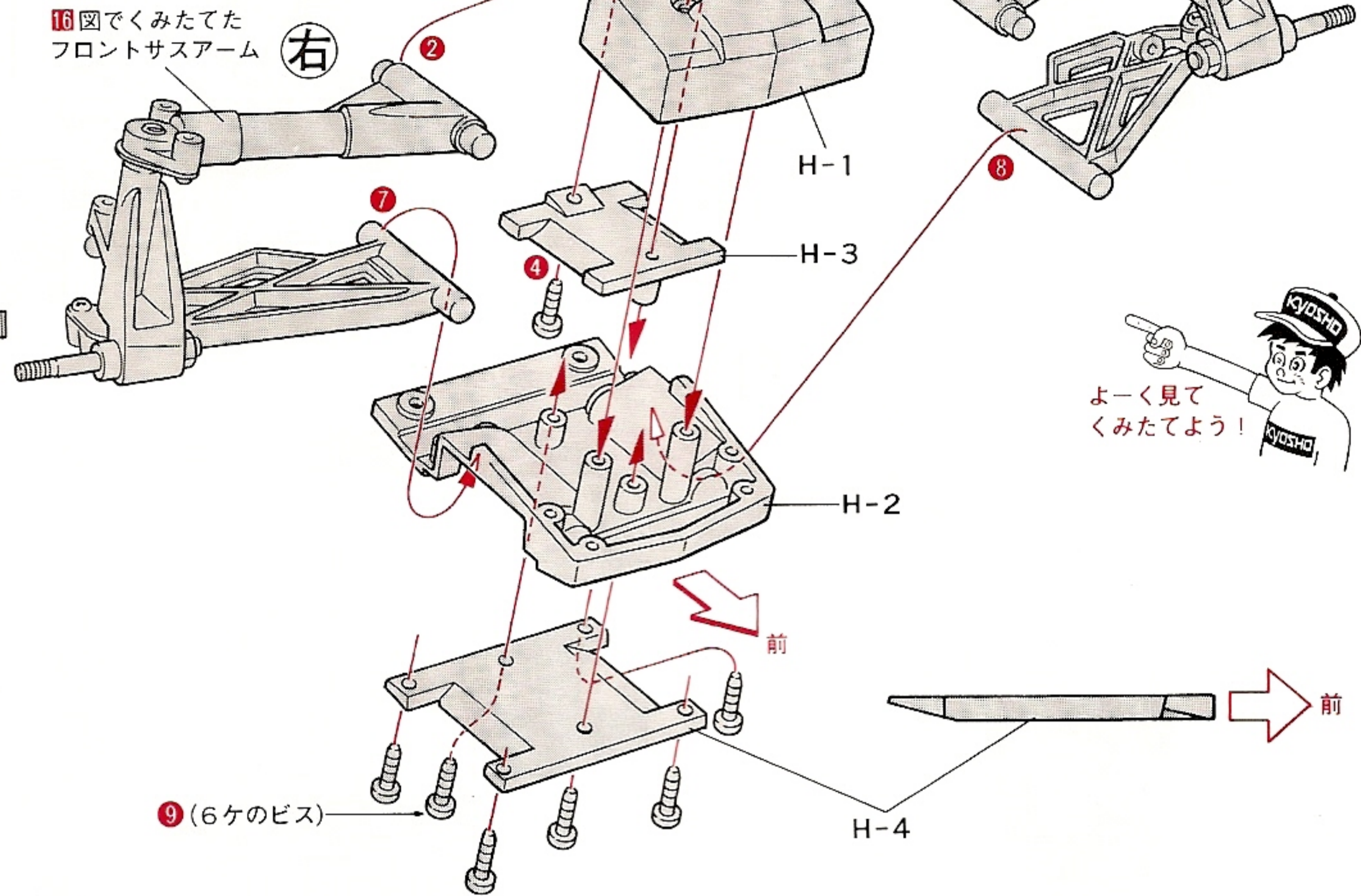
* 番号順にくみだてて下さい。
* 使用するビスはすべて
M3×12タッピングビスです。

16図でくみだてた
フロントサスアーム (右)

18 バンパーとフロントダンパーのとりつけ

* 左図のくみだてを先に
おこなって下さい。

C-6 (とりつけ穴の向きは左図)



9 (6ヶのビス)

前

H-4

前

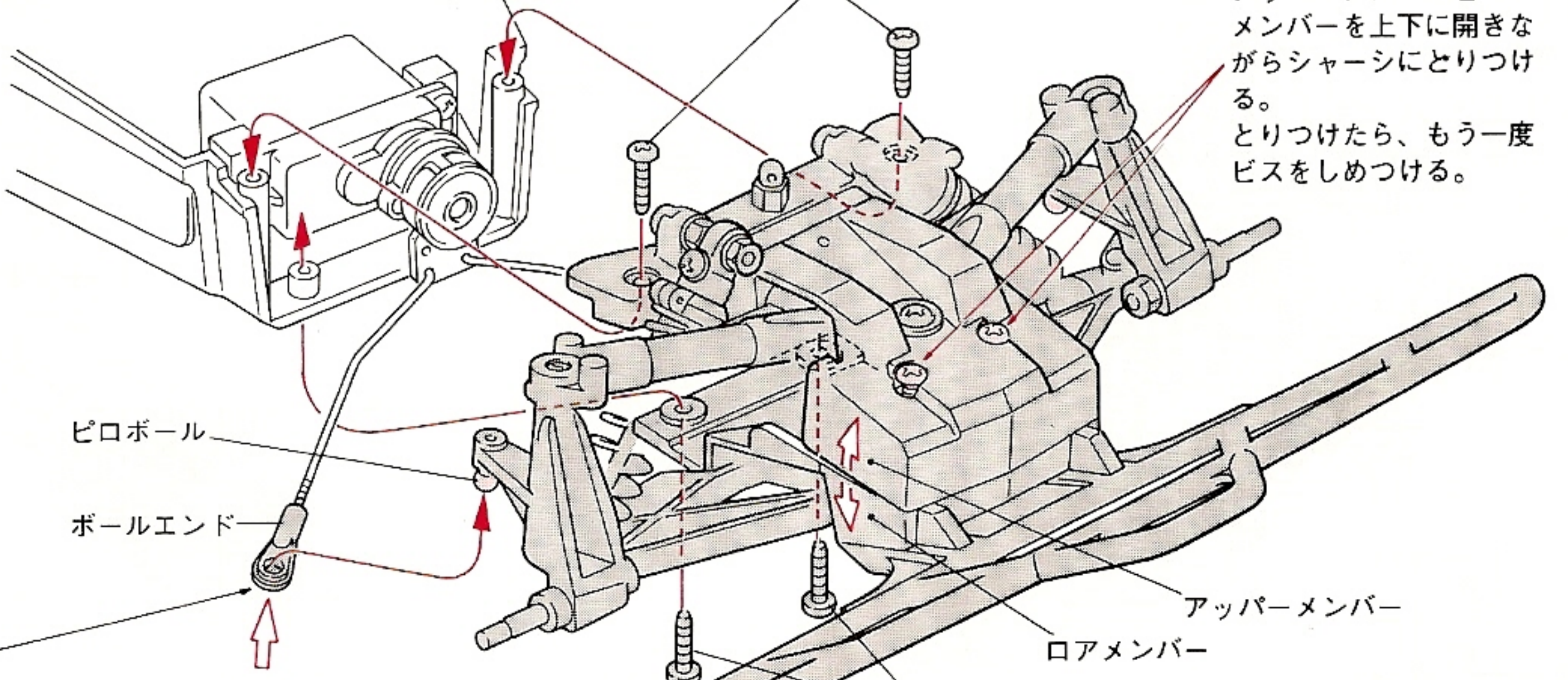
C-1

* ダンパーは上を
先にとりつける。

M3×25ビス

M2.6×15ビス

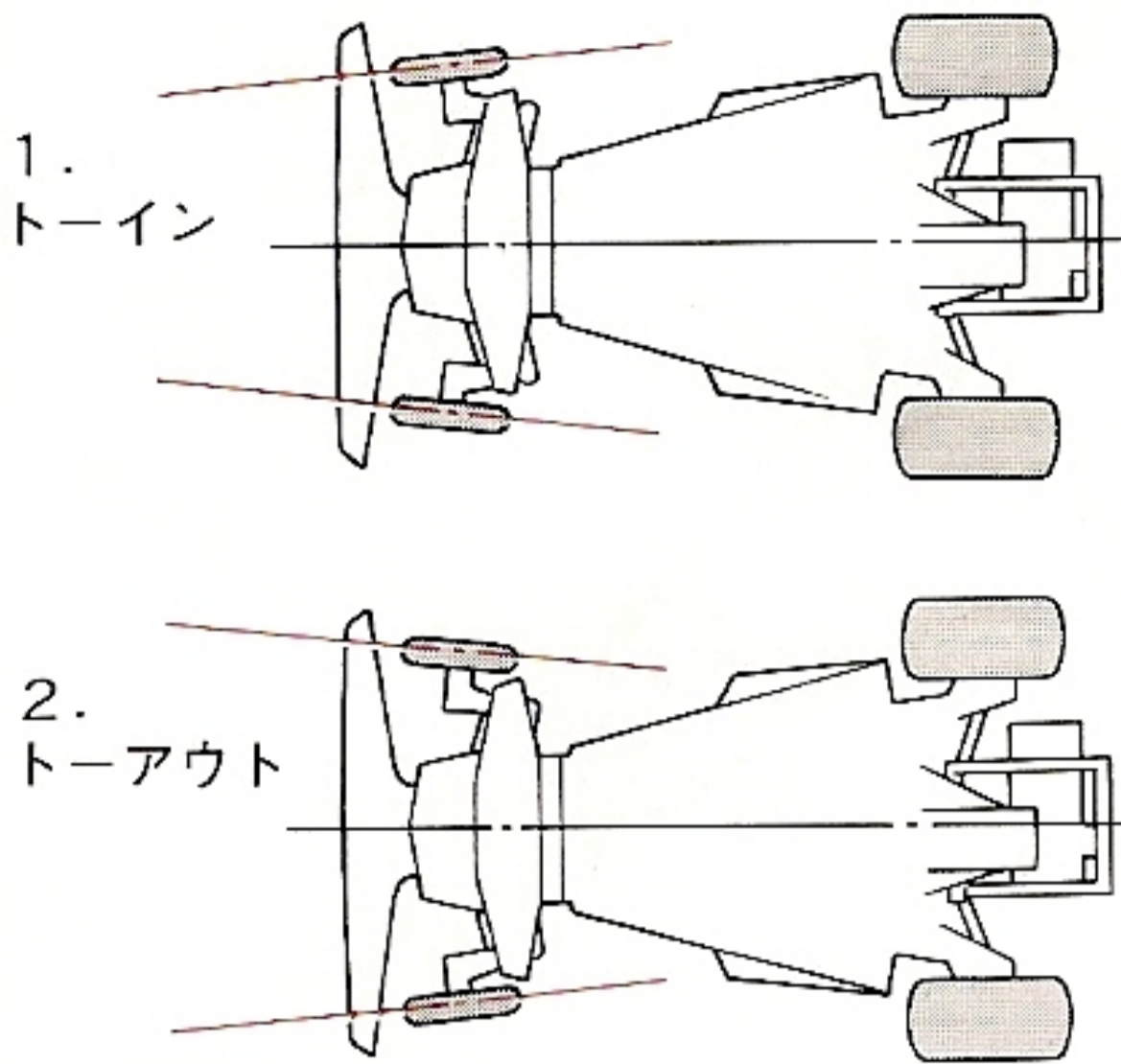
19 フロント部のとりつけ



20 ステアリングのセッティング

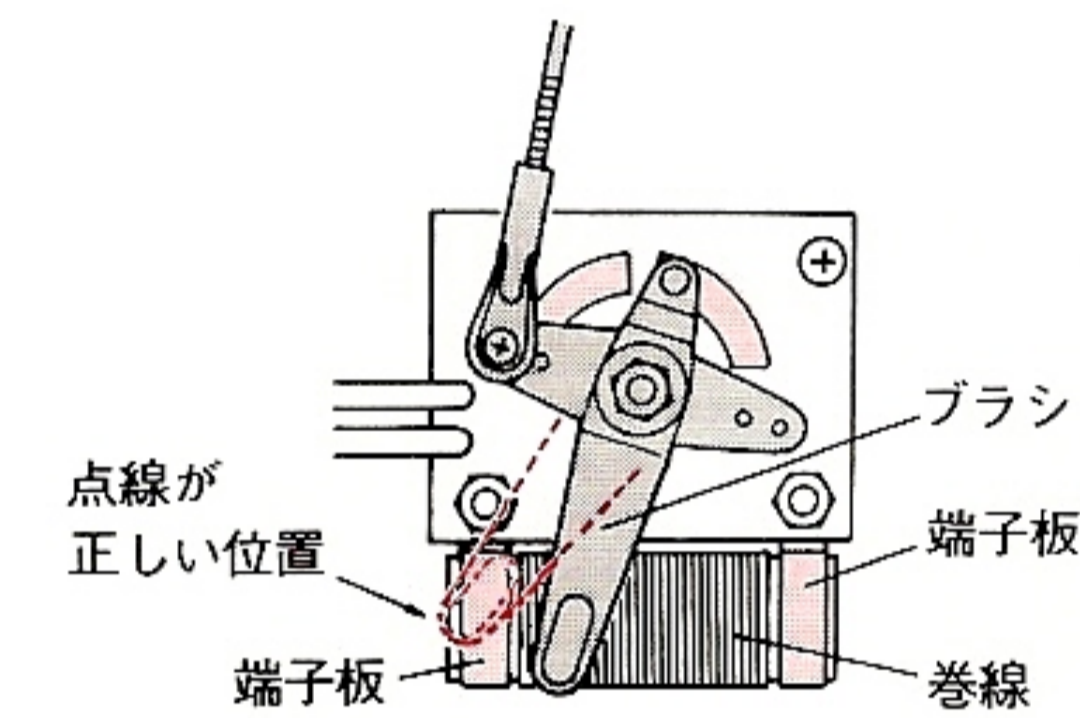
〈トーインについて〉

* 下図1.のように前輪が少し内側にむくことをトーインといい、2.のように外側にむいていることをトーアウトといいます。



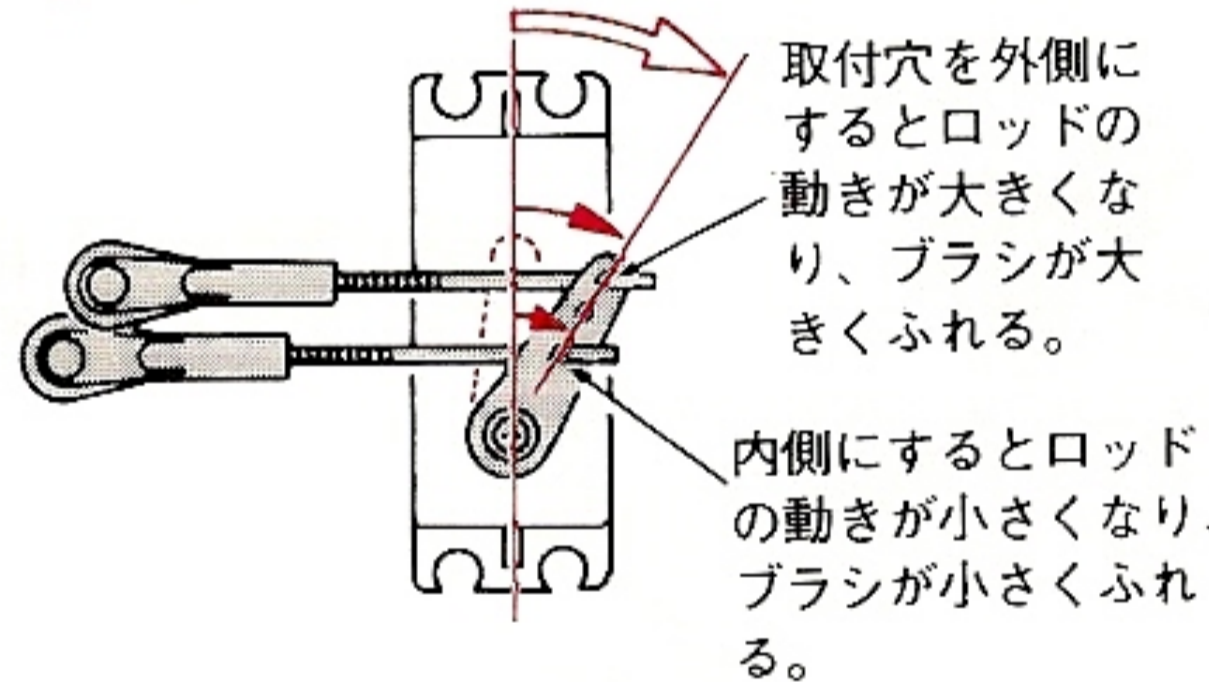
21 スピコンのセッティング

* プロポを動かしてスピコンのセッティングをして下さい。
BEC方式のプロポはセッティング中、モーターが空回りしますのでモーターコネクターをぬいておくといいでしょう。



* 最高速(前進)にした時、ブラシが上図のようになっていると巻線が焼き切れることがあります。右表にしたがって正しいセッティングをして下さい。

〈サーボホーンの穴とロッドのとりつけ位置〉

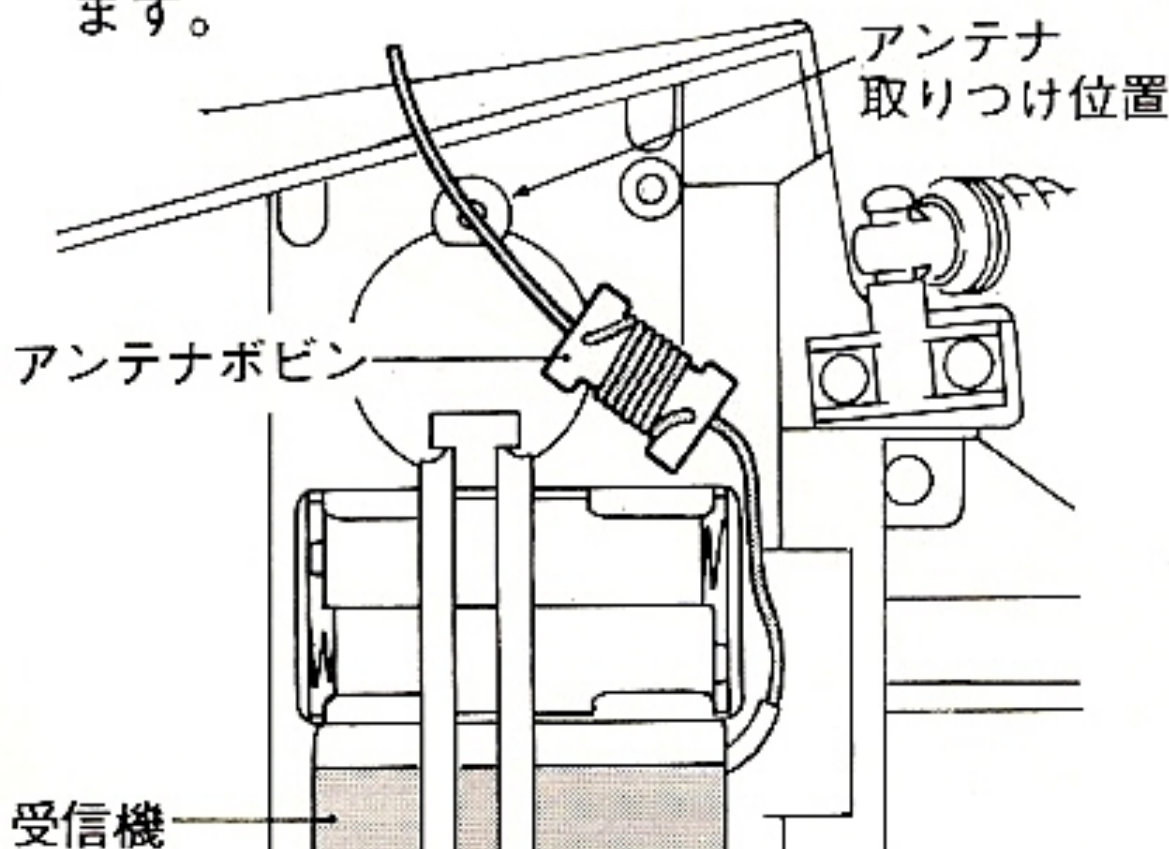


22 アンテナとセフティカバーのとりつけ

〈使用するビスなど〉

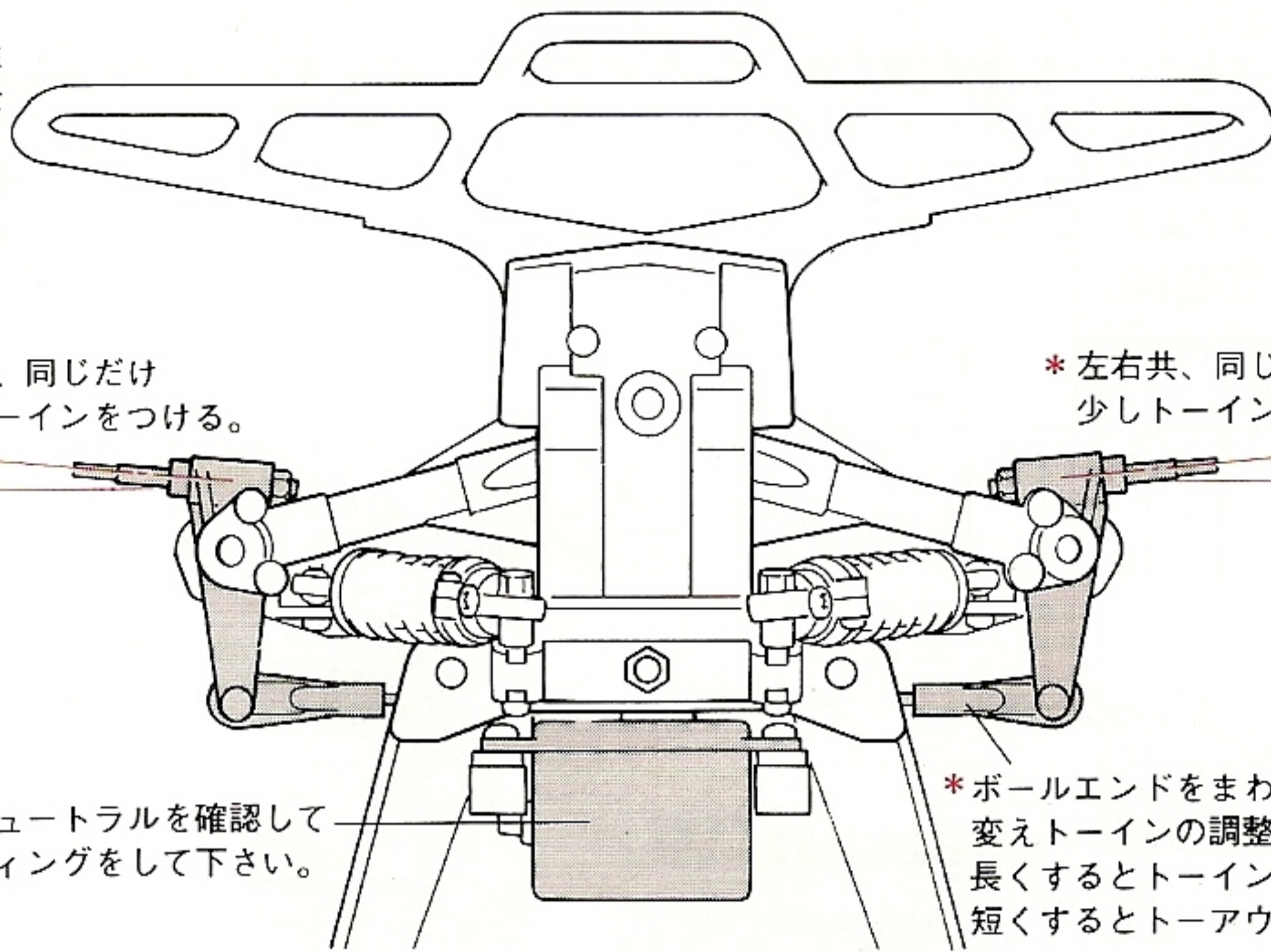
- M3×14タッピングビス...1 [アンテナセット袋]
- M2.6ナット[ビス袋B]...2
- 2.6φワッシャー.....2 [ビス袋A]
- 2.6φ紙ワッシャー.....2 [ビス袋A]

* 右図1.のようにアンテナ線をアンテナボビンに巻きつけ、アンテナ取り付け位置までちょうどよい長さになるよう調整します。



20 ステアリングのセッティング

* トーアウトになると直進走行性が悪くなり、まっすぐに走らなくなります。
図のようにホイールシャフトを前側にたおし、トーインのセッティングをして下さい。



* 左右共、同じだけ少しトーインをつける。

* 左右共、同じだけ少しトーインをつける。

* サーボのニュートラルを確認してからセッティングをして下さい。

* ボールエンドをまわして長さを変えトーインの調整をする。長くするとトーインが強くなり、短くするとトーアウトになる。

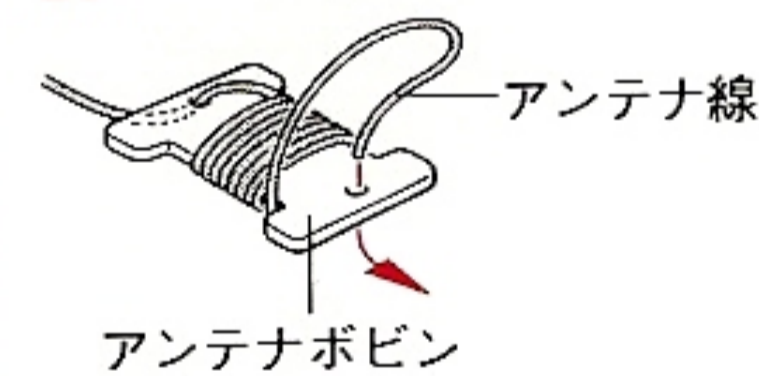
21 スピコンのセッティング

〈停止〉	〈高速前進〉	〈高速後退〉
<p>プロポのスイッチを入れる。スピコン用スティックを操作しない時は、ブラシが真中(ニュートラル)になるよう、スピコンロッドの長さを調整する。</p>	<p>スティックを一番上にした時、ブラシが端子板の真上で停止するのがもっとも良いセッティングです。もし、手前でとまったり、行きすぎてしまう時は左図のようにホーンの穴の位置をかえて調整します。</p>	<p>高速前進の調整をしっかりとすればブラシは反対側に高速前進と同じように動くので特に調整の必要はない。</p>

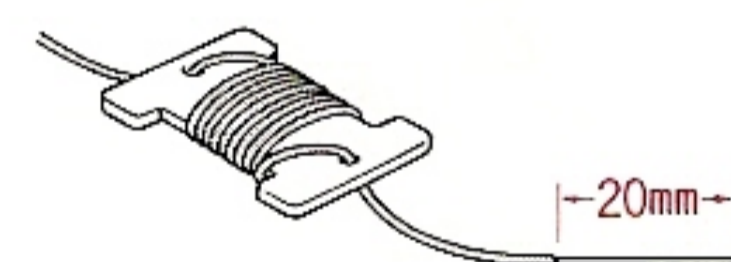
22 アンテナとセフティカバーのとりつけ * アンテナパーツは[アンテナセット袋]に入っています。

〈ラグ端子のとりつけ〉

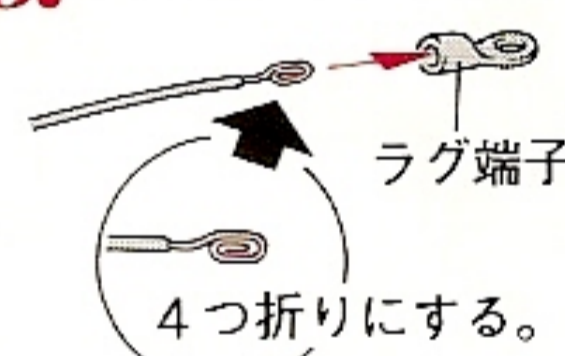
1. アンテナ線を巻きつける。



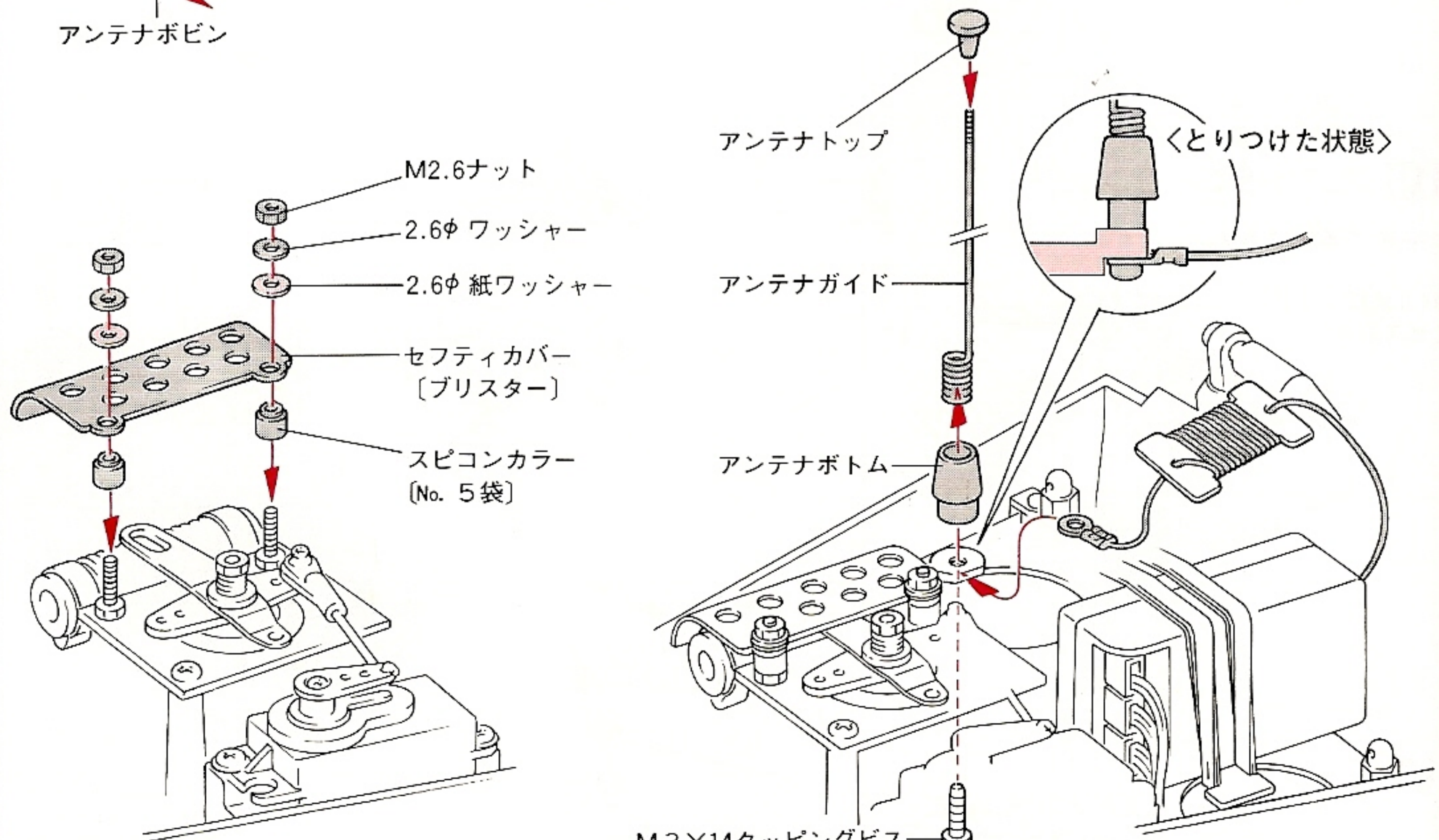
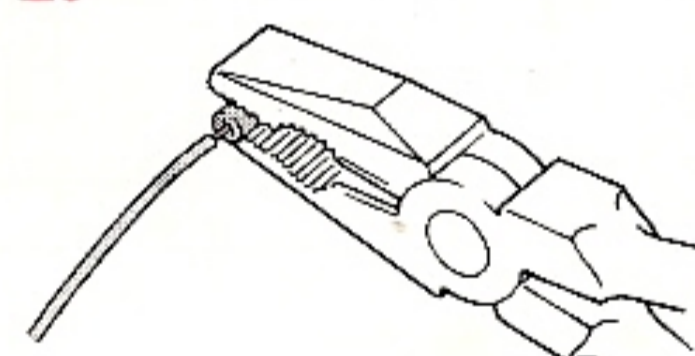
2. アンテナ線のビニールを皮ムキする。



3. ラグ端子にさしこむ。



4. ペンチでラグ端子をつぶす。

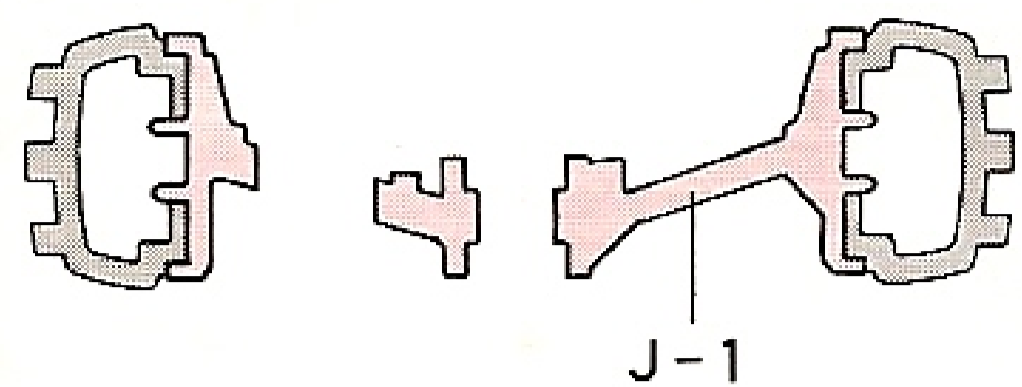


23 タイヤのくみだて

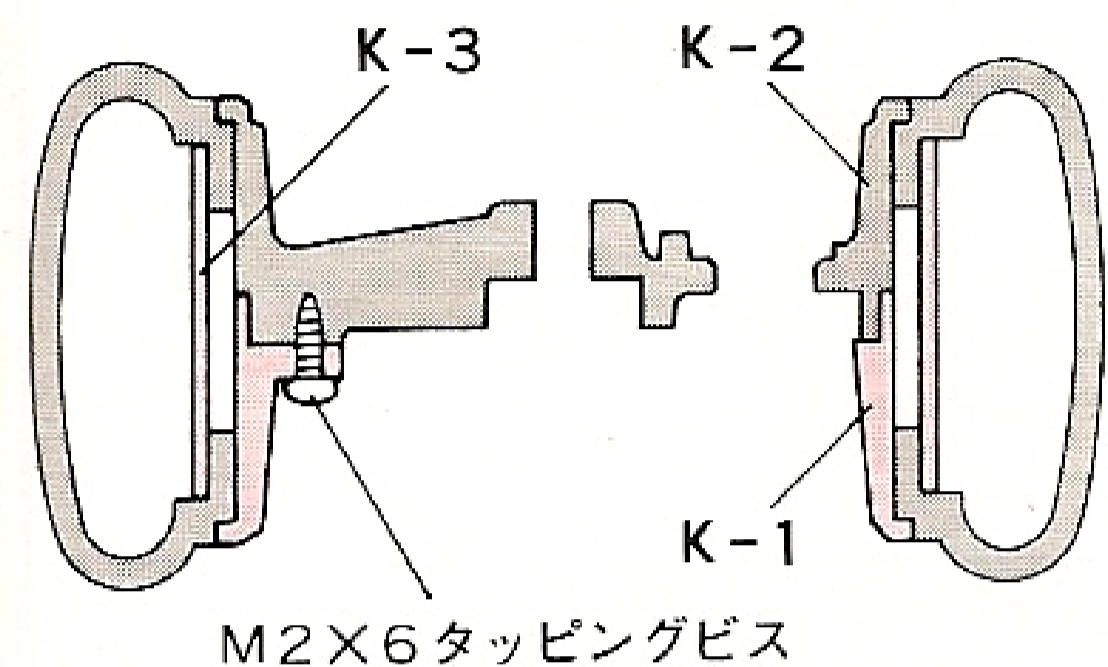
〈使用するビスなど〉

M2×6タッピングビス…10
〔ビス袋A〕

〈フロントタイヤ取付断面図〉

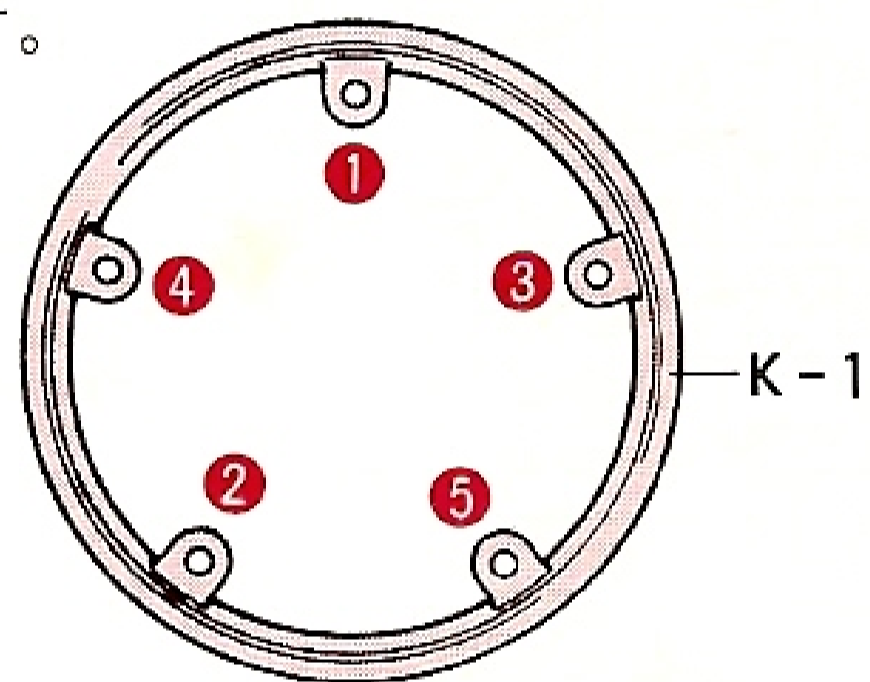


〈リアタイヤ取付断面図〉



〈とりつけビスのしめつけかた〉

①～⑤の順に5本のビスを少しずつしめつけていくとタイヤがゆがまずにくみだてられます。



24 タイヤのとりつけ

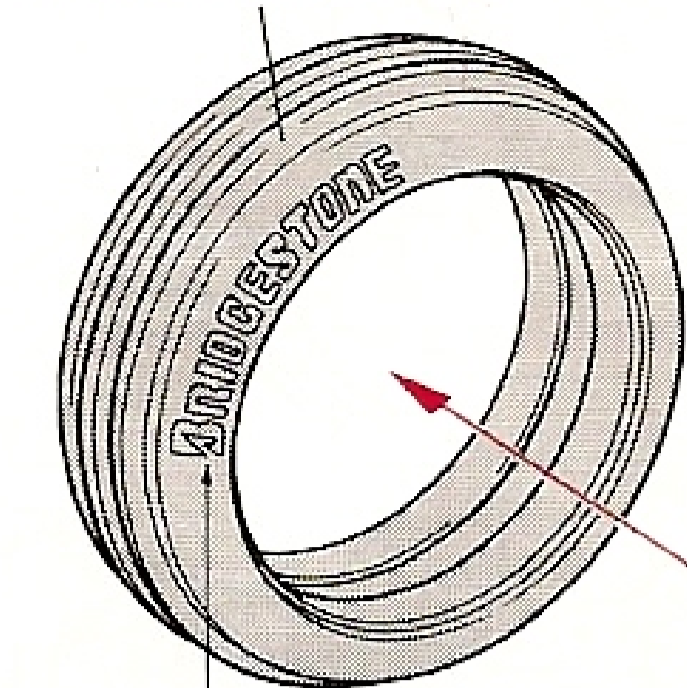
〈使用するビスなど〉

M4ナイロンナット…4
〔ビス袋B〕

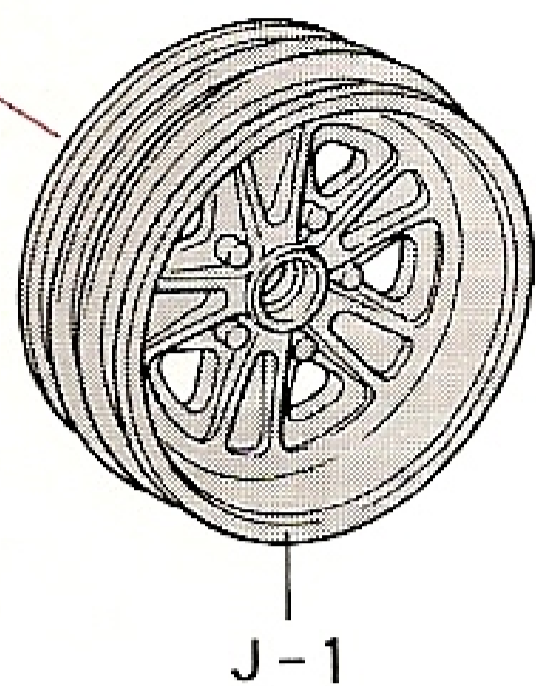
4φワッシャー………4
〔ビス袋B〕

23 タイヤのくみだて

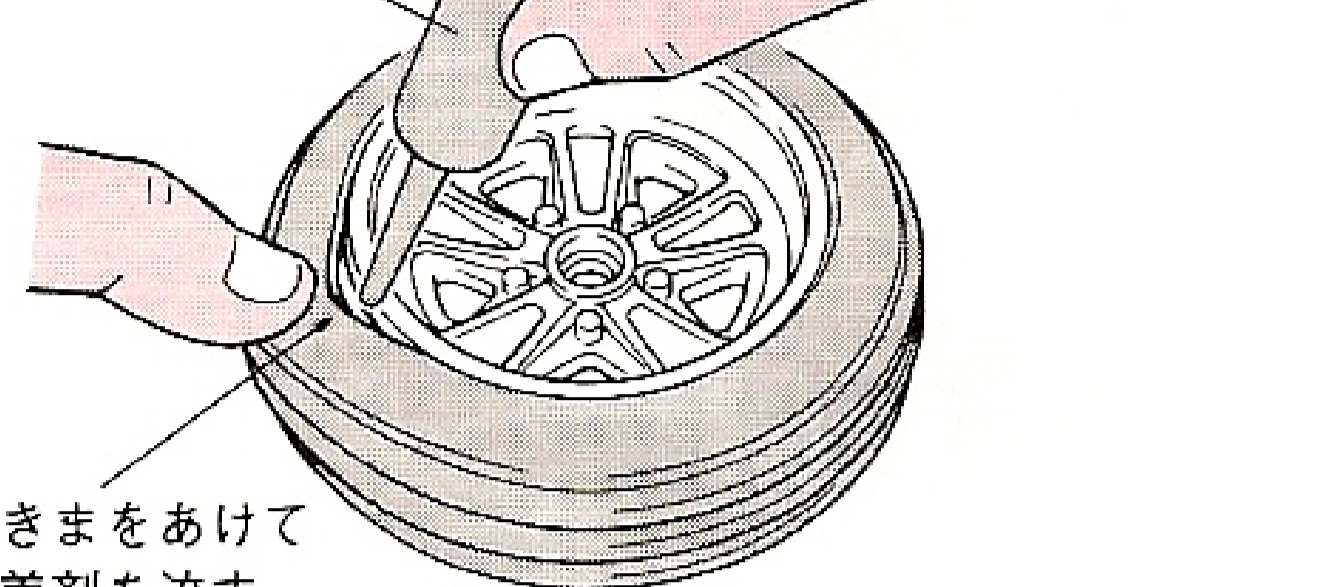
〈フロントタイヤ〉



*マークのある方を外側にする。

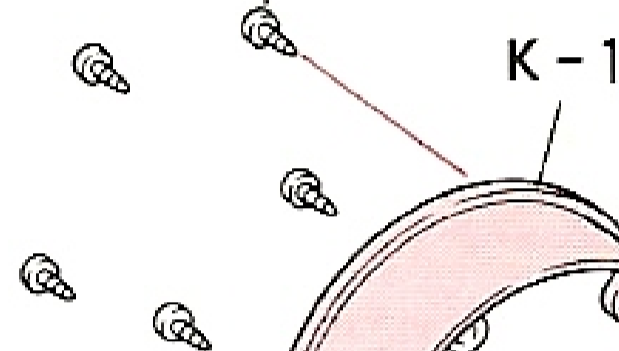


瞬間接着剤

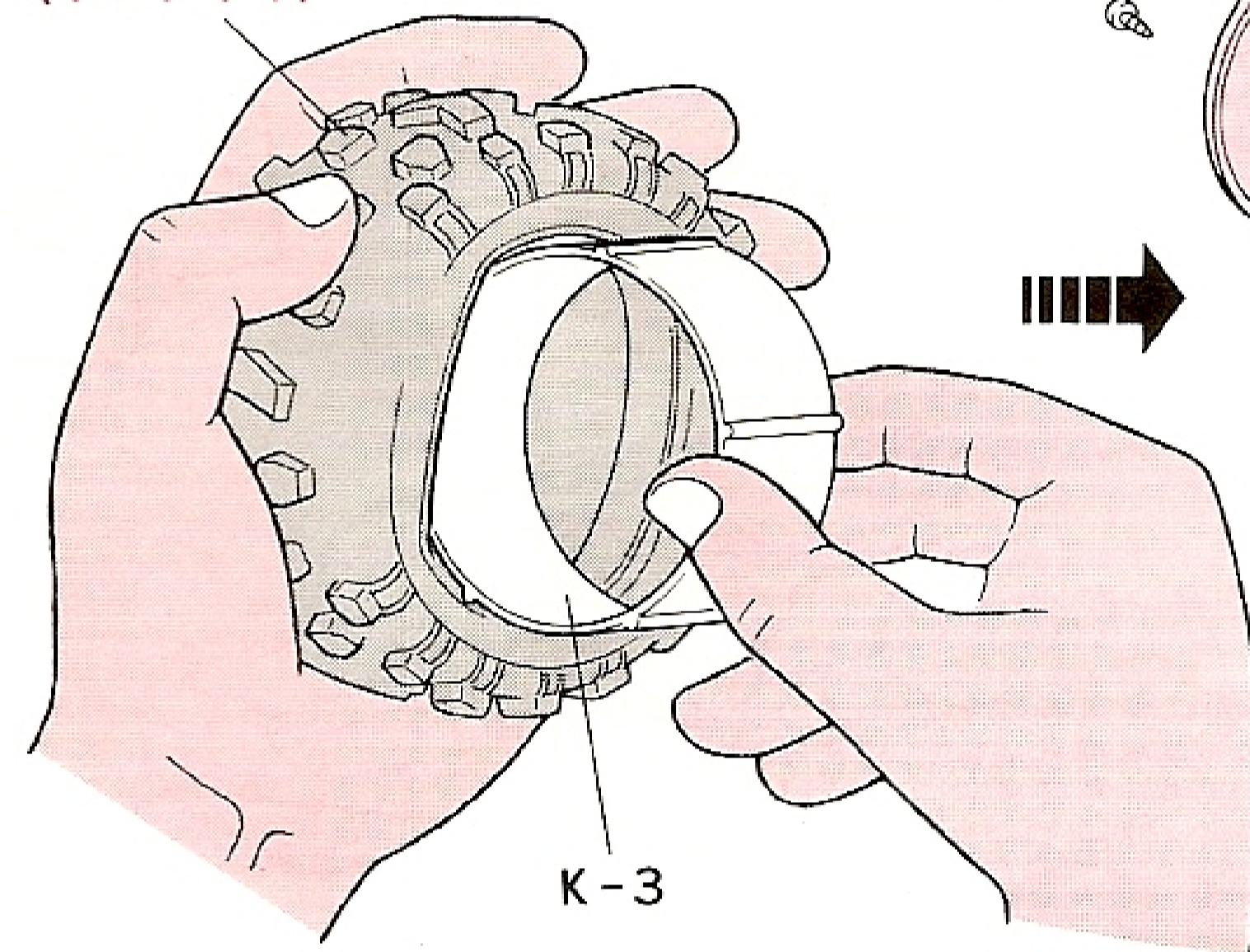


*少しすきまをあけて瞬間接着剤を流す。

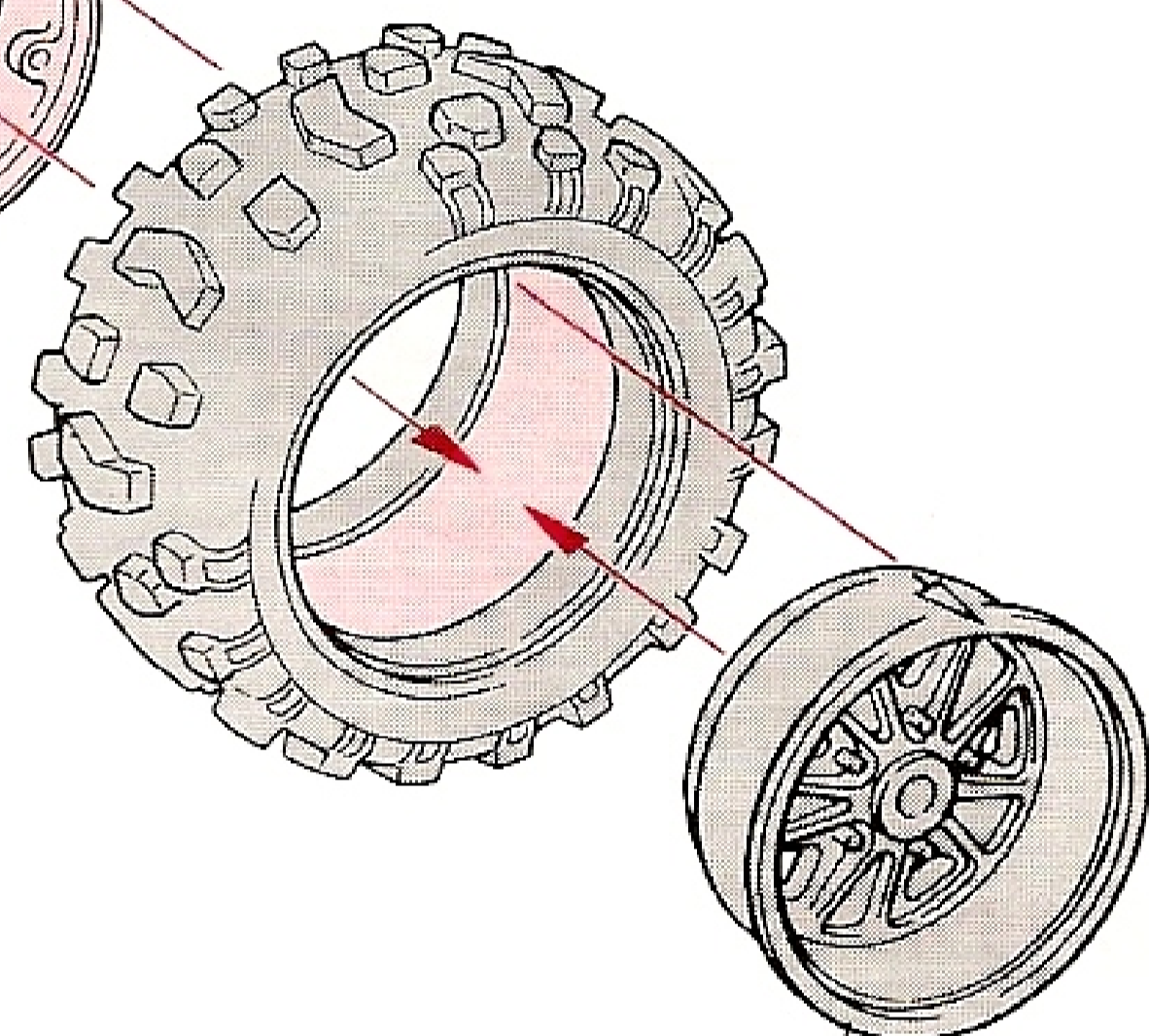
M2×6タッピングビス



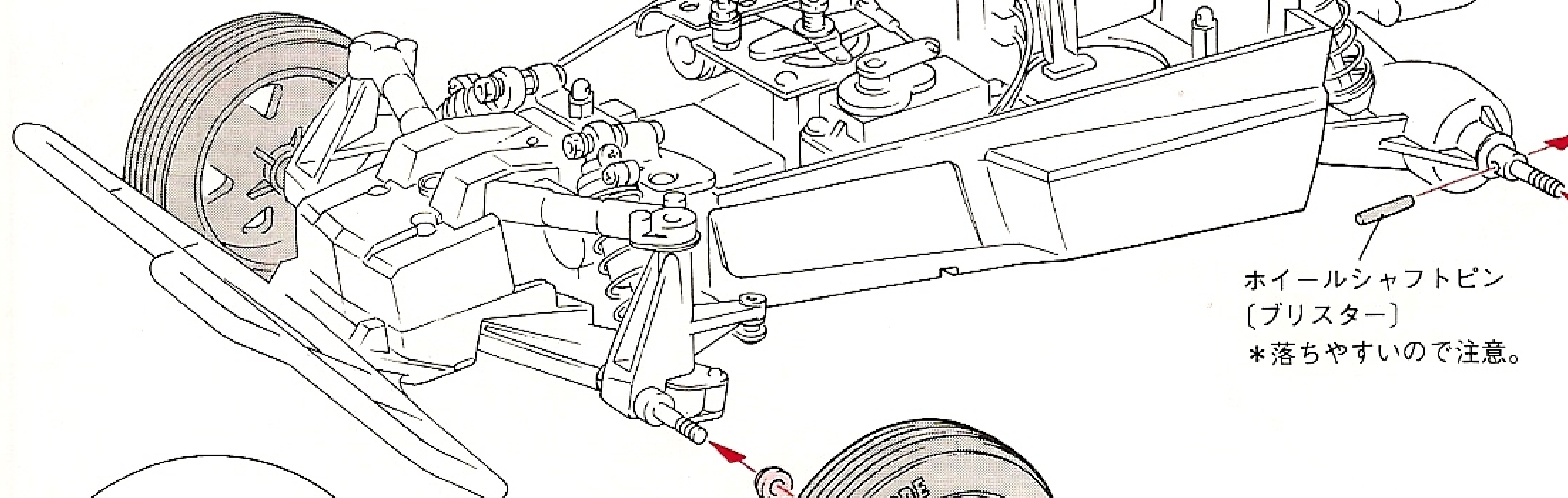
〈リアタイヤ〉



*K-3をできるだけつぶさないよう、タイヤをひろげながら入れる。

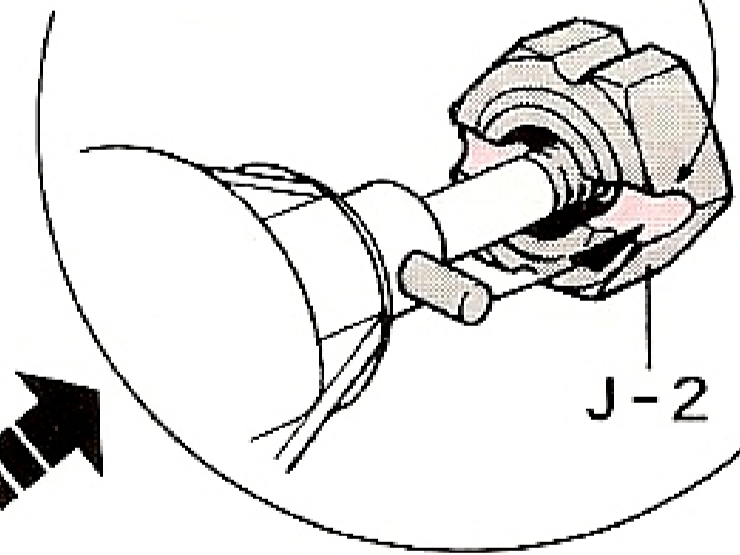


K-2



24 タイヤのとりつけ

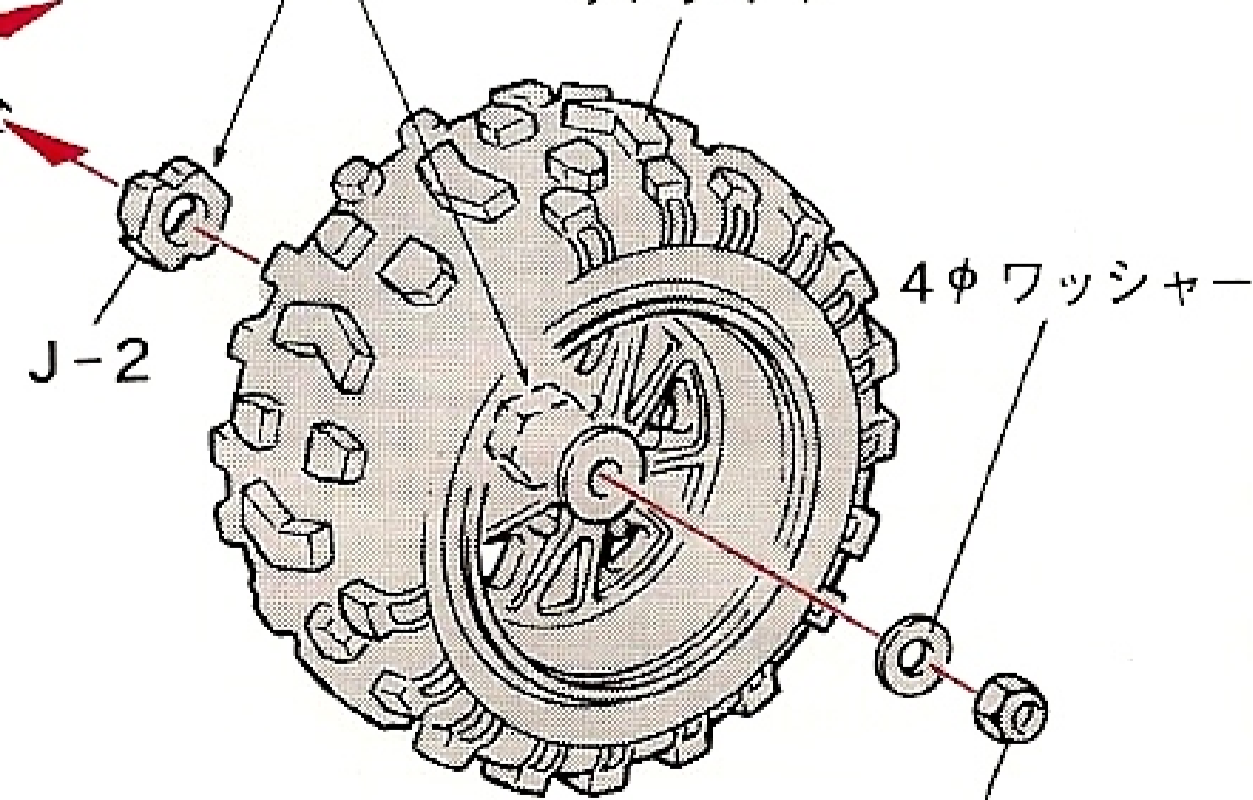
*J-2のミズにホイールシャフトピンが入るようにとりつける。



J-2

*六角を合わせる。

リアタイヤ



4φワッシャー

M4ナイロンナット

(J-2とリアタイヤのガタがなくなったらOK。)あまり強くしめつけないこと。

ホイールシャフトピン〔プリスター〕
*落ちやすいので注意。

フロントタイヤ

4φワッシャー

M4ナイロンナット

*凸部を外に向けて入れる。

D-3

25 バッテリーのつみかた

KYOSHO
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

ニカドバッテリーは電動レーシングカーの性能を十分に発揮できる高性能バッテリーをお選び下さい。

京商では特にレーシングカー用にセレクトされた7.2Vパワーバッテリーと7.2Vレーシングバッテリーを用意しております。

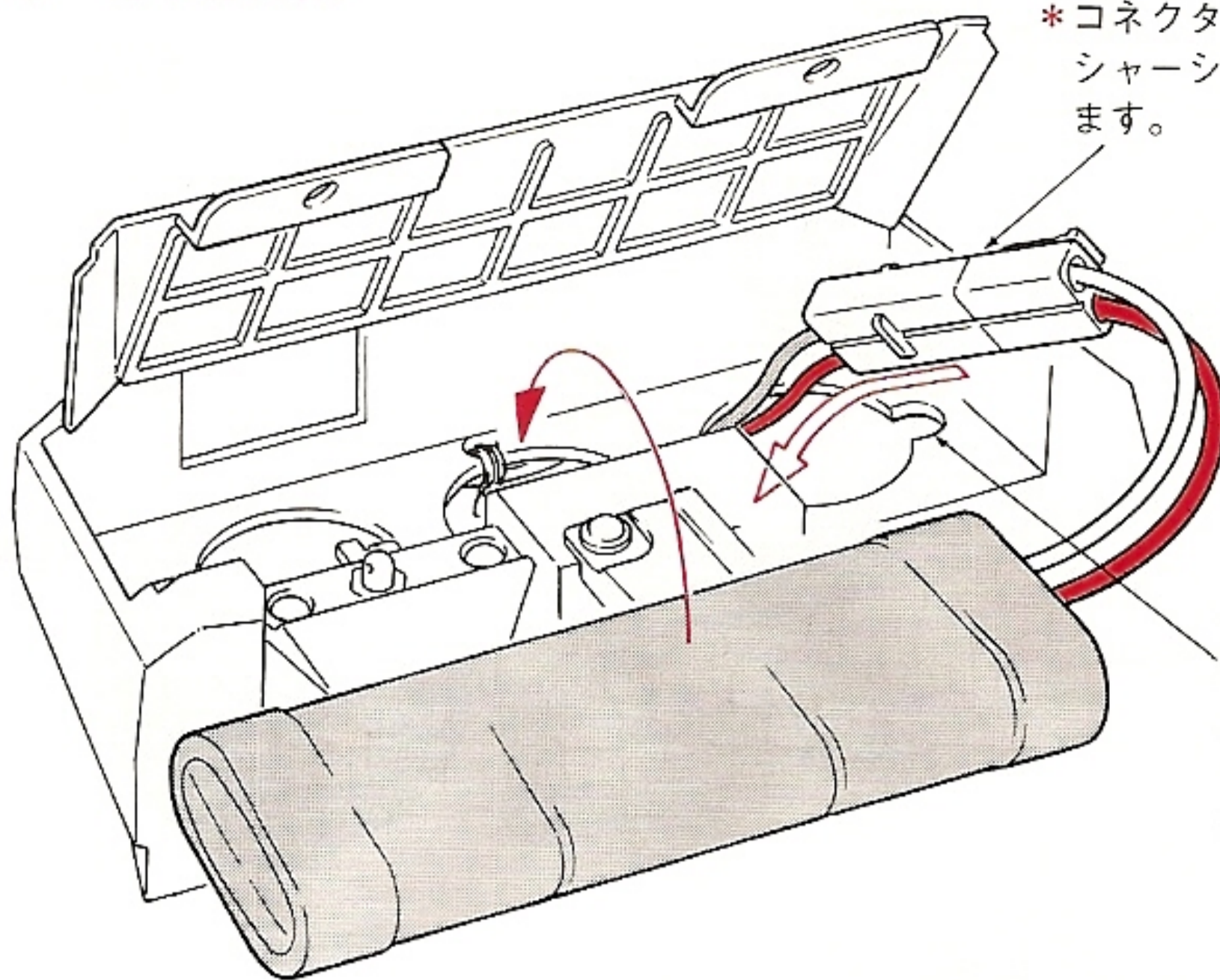


7.2Vパワーバッテリー..... No.2306



7.2Vレーシングバッテリー..... No.2218

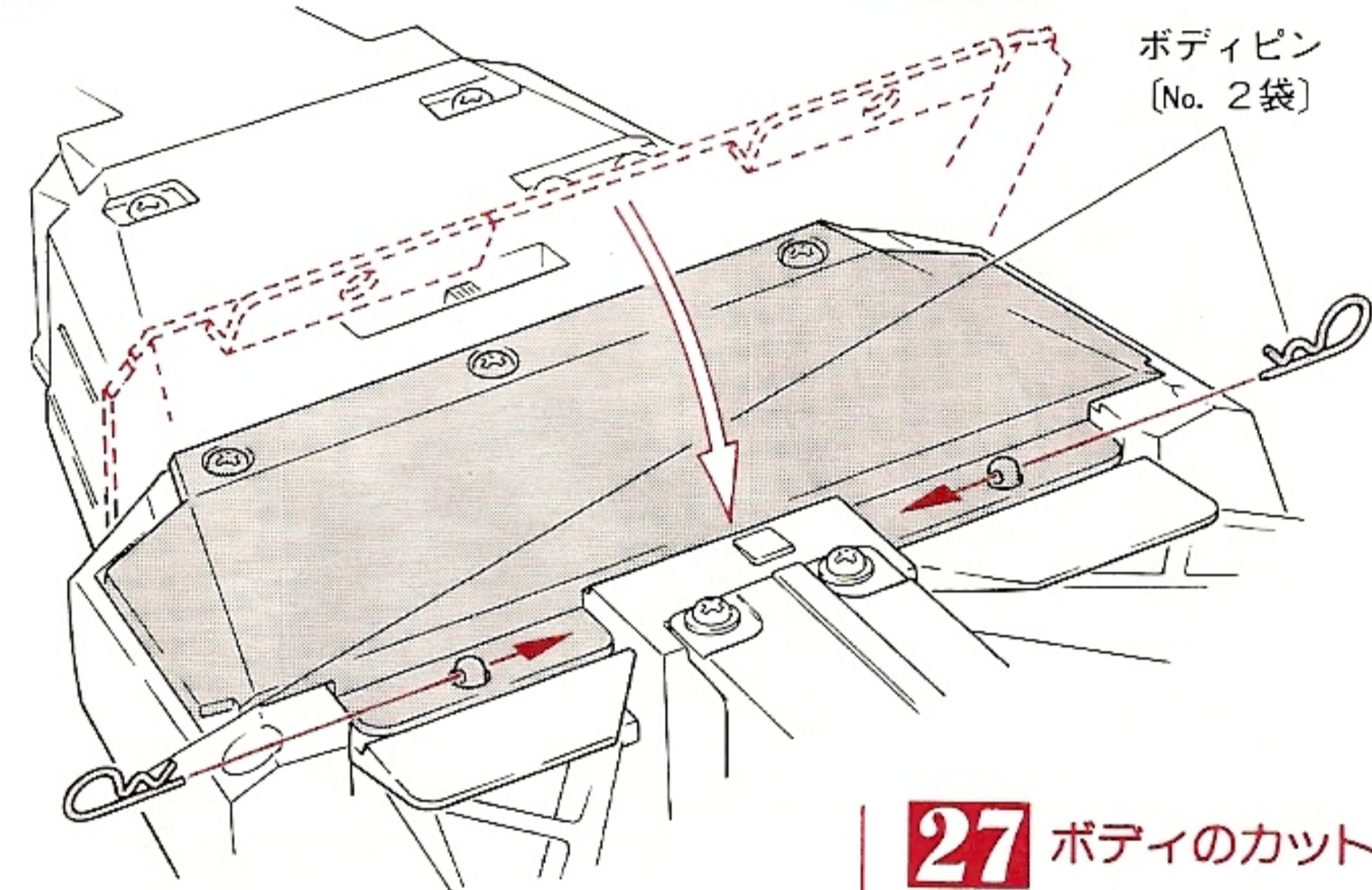
25 バッテリーのつみかた



*コネクターは無理におしこまないでボディとシャーシのすきまにおさまるようにおしこみます。

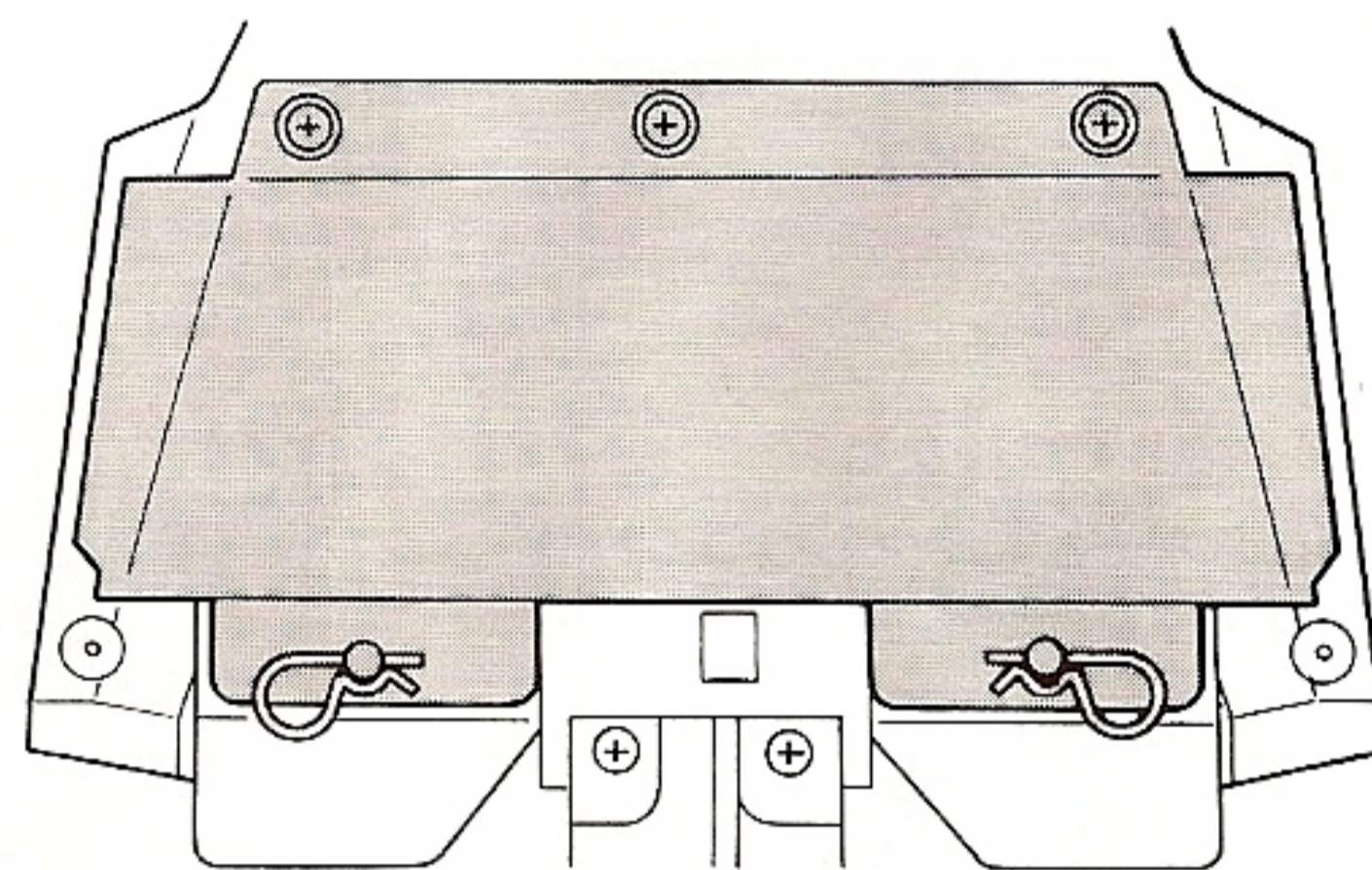
コネクターをおしこんだ後、バッテリーのコードがこのミゾにおさまるようにしながらバッテリーをつんで下さい。

26 バッテリーカバーのとめかた



ボディピン
(No. 2袋)

26 バッテリーカバーのとめかた



*ボディピンを上図のようにとりつけます。

27 ボディのカット

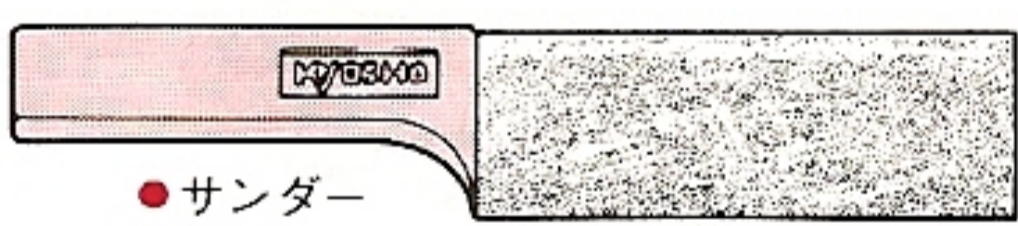
KYOSHO
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

京商ではポリカーボボディ工作用の専用ハサミとサンダーをセットにした「ラウンドカッター/サンダー」を発売しております。 No.1829

●ラウンドカッター

曲線部は刃先で切る。

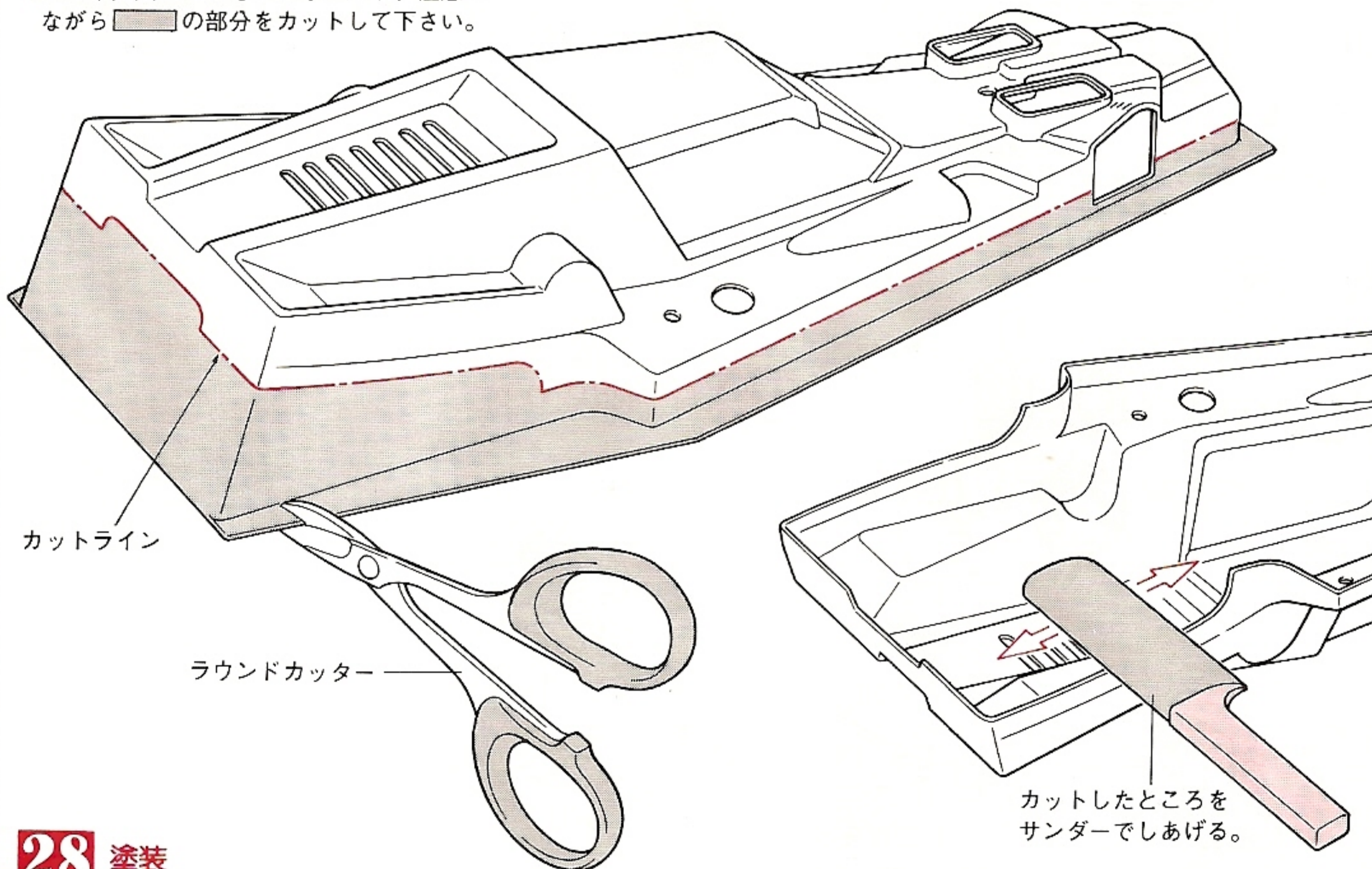
直線部は刃の根元で切る。



●サンダー

27 ボディのカット

*ボディ表面にキズをつけないよう、注意しながら の部分をカットして下さい。



カットライン

ラウンドカッター

カットしたところをサンダーでしあげる。

28 塗装

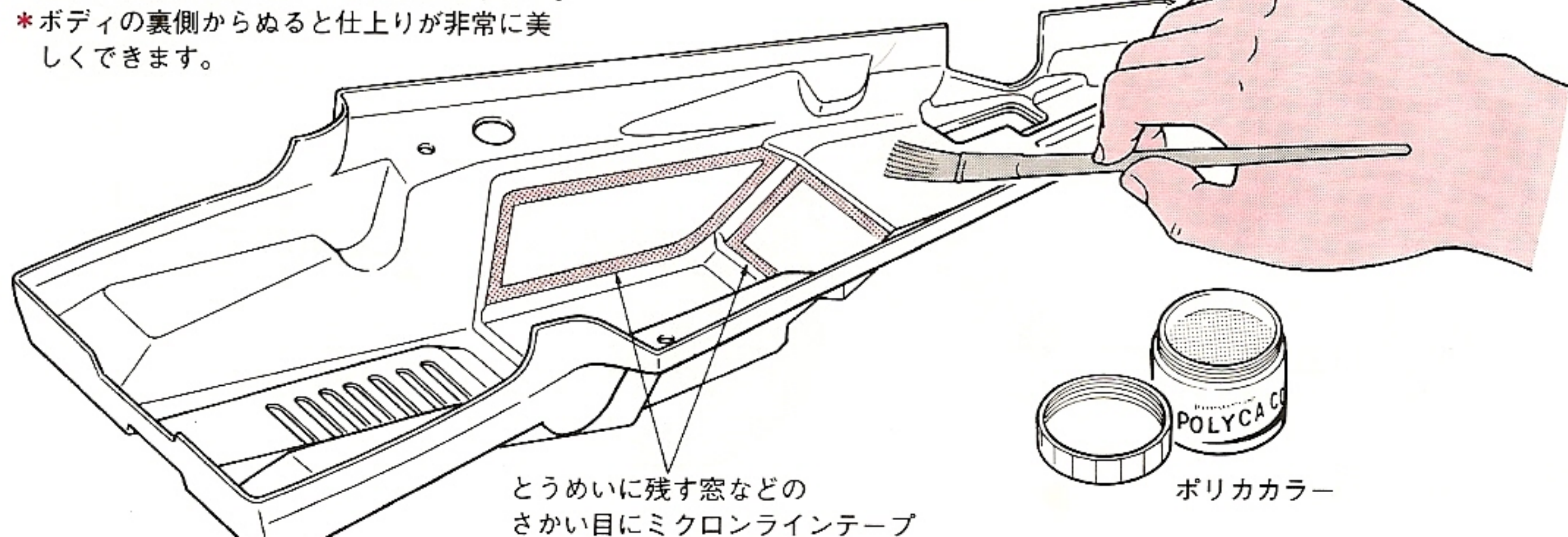
KYOSHO
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

京商ミクロンラインテープはマスキングテープとして又、デザインテープとしても使えます。色は6色、太さも3種類あります。 No.1841~3



28 塗装

*コスモのボディはポリカーボネート製ですから、京商ポリカカラーで塗装して下さい。
*ボディの裏側からめると仕上がりが非常に美しくできます。



とうめいに残す窓などのさかい目にミクロンラインテープ

ポリカカラー

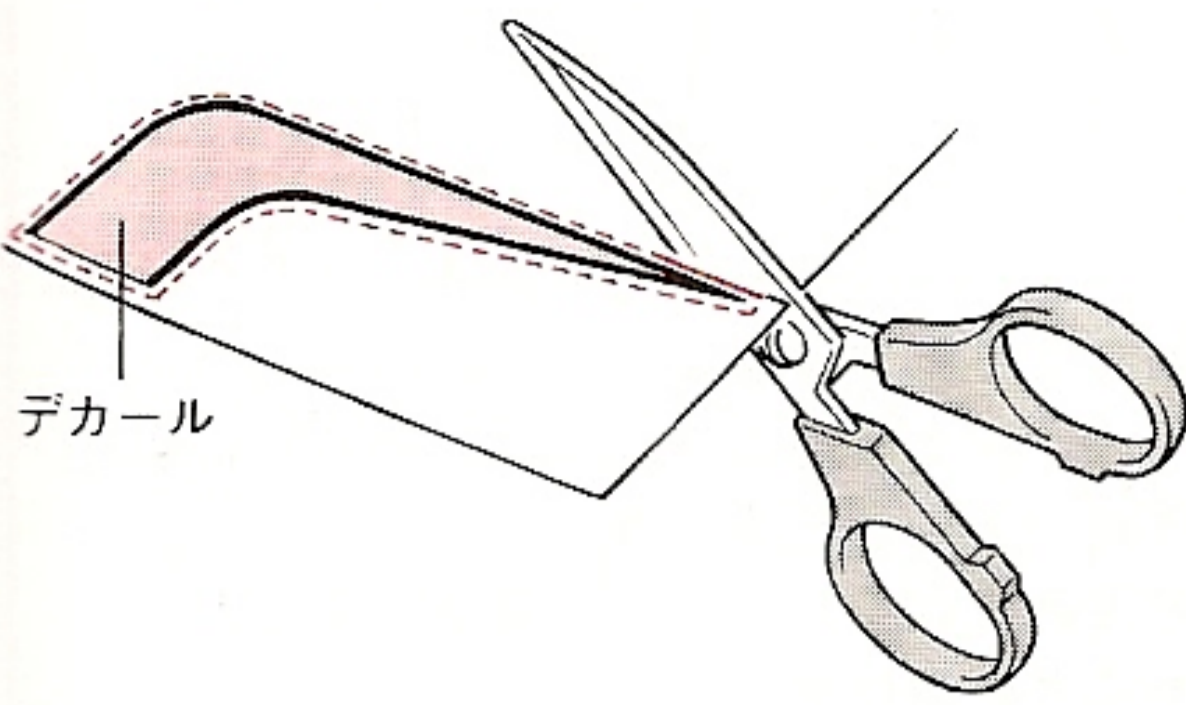
KYOSHO
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

京商ポリカカラーはポリカーボデー専用のアクリル塗料で大変あつかいやすく、色も12色そろっております。



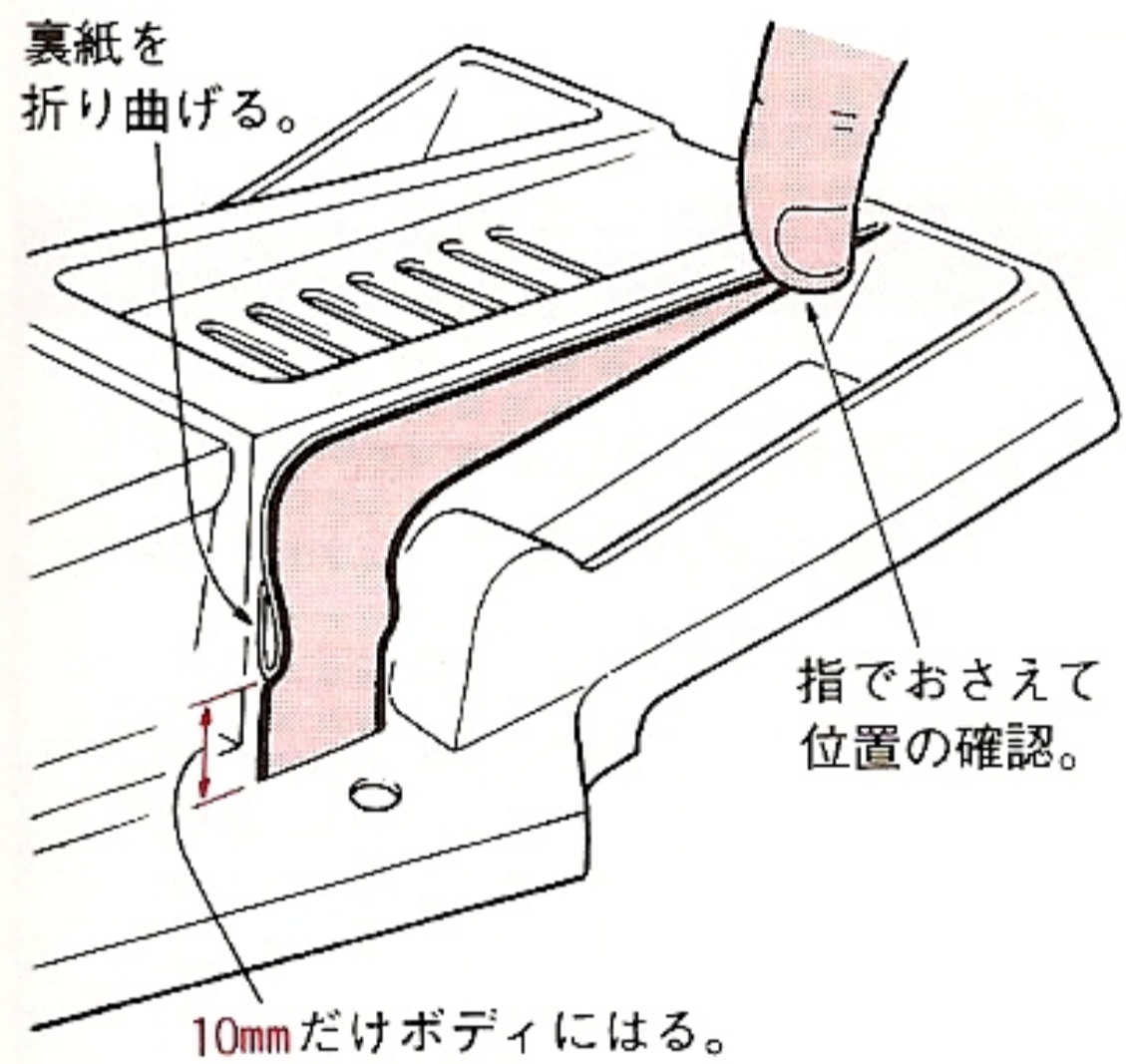
29 デカールのはりつけ

*デカールはできるだけ余白を残さずギリギリに切りとるときれいにはれます。

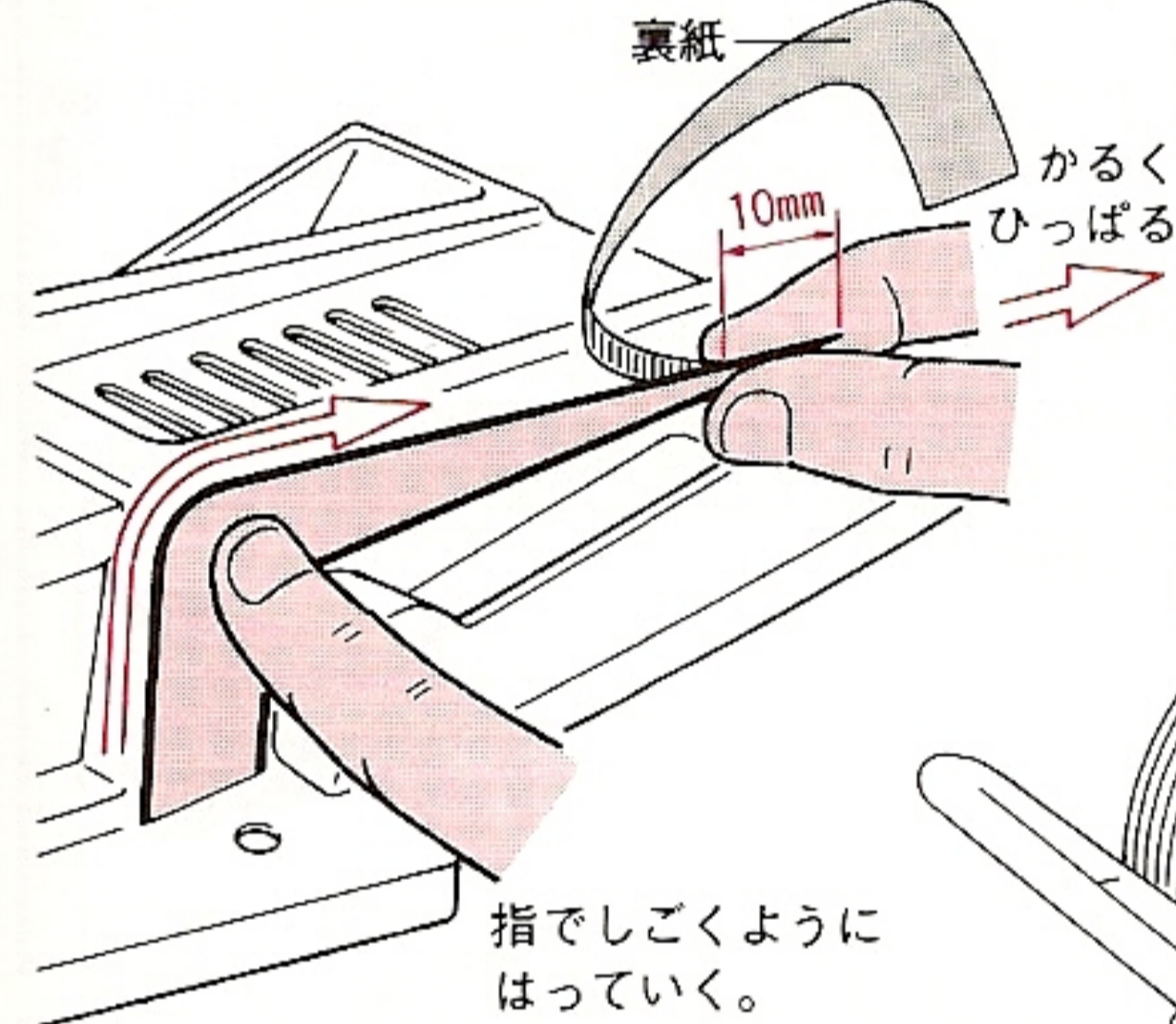


<デカールのはりかた>

①長いデカールや大きなデカールをはる時は裏紙を10mmだけ折り曲げてボディにはり、位置の確認をします。

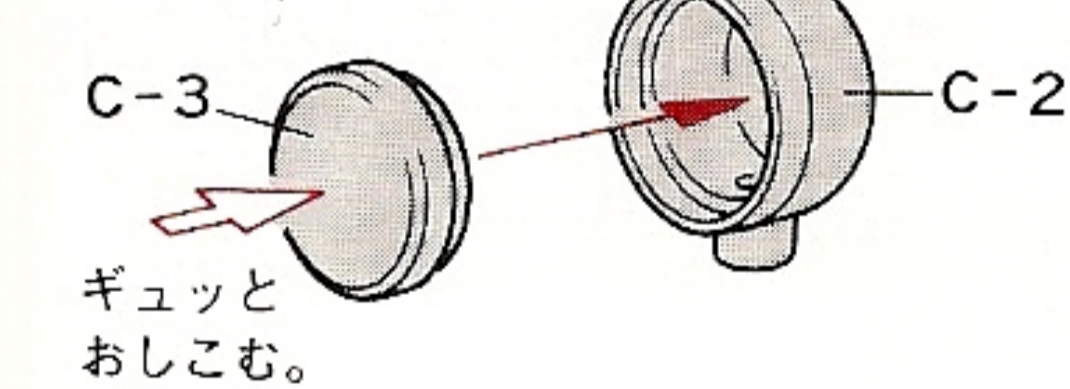


②位置が決まったら10mmだけ裏紙を残し、かるく引っ張りながら中に気泡が残らないよう、指でしごきながらはっていき、最後に裏紙を全部はがします。



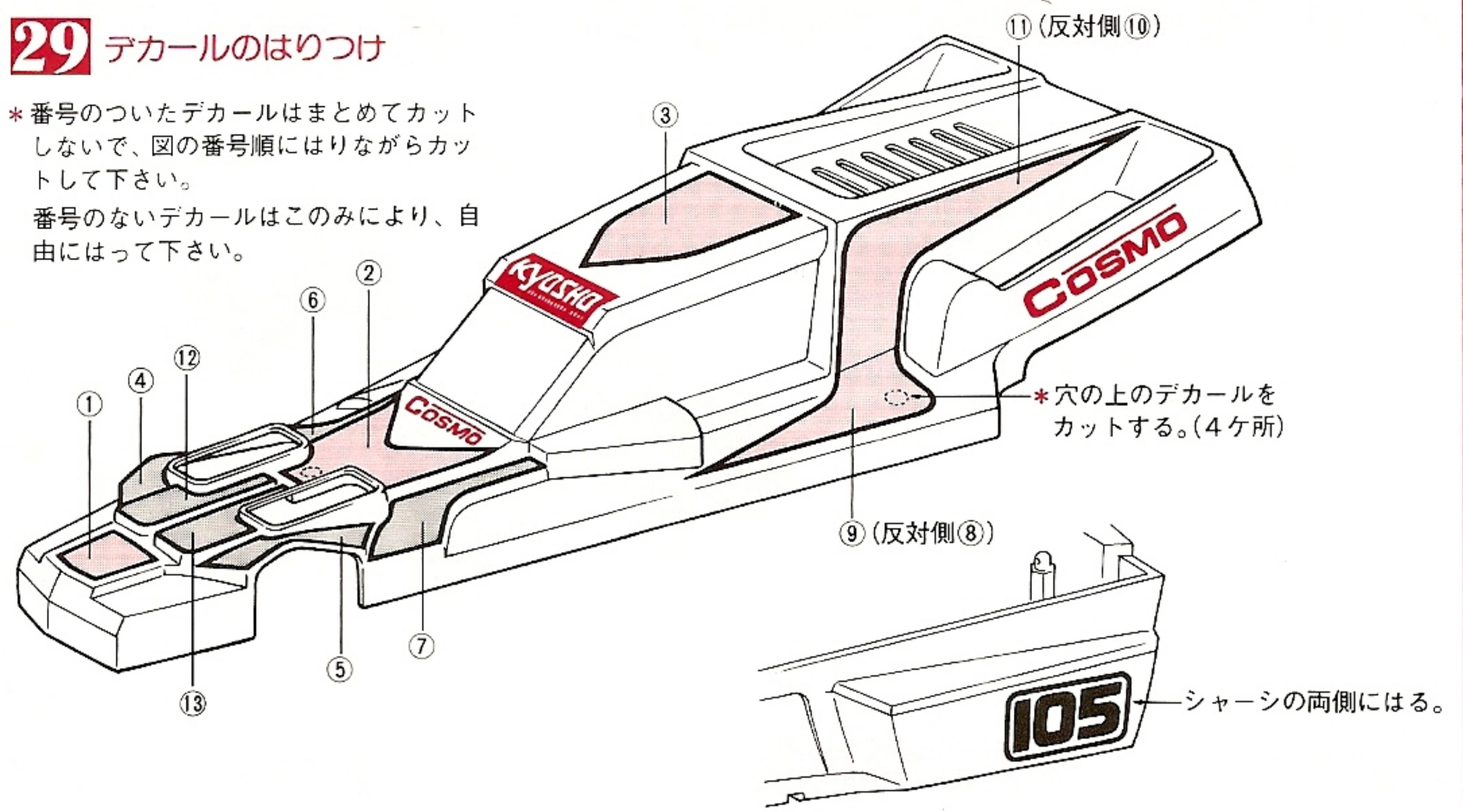
<ライトのくみため>

*ライトをくみため、すきなところへとりつけて下さい。

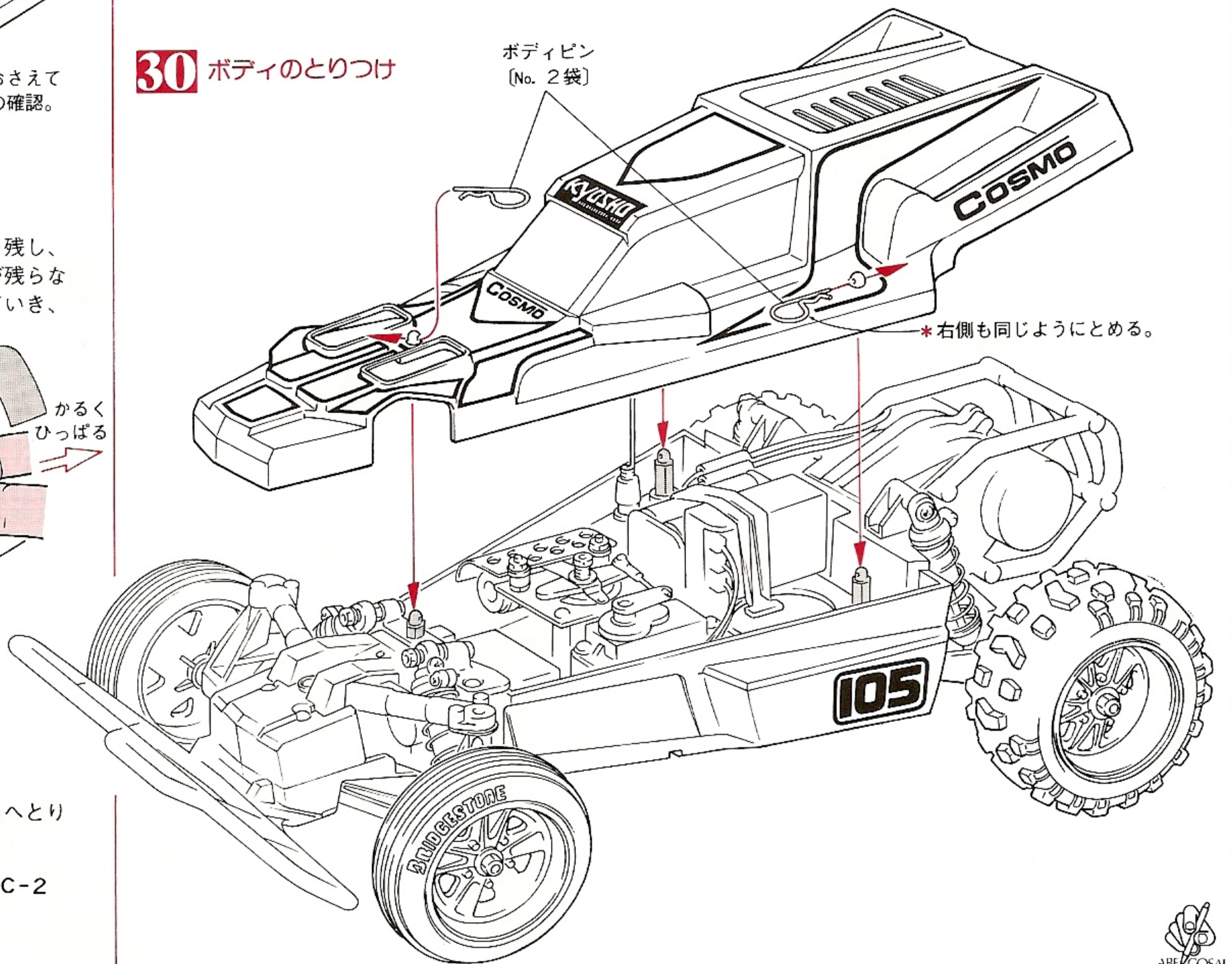


29 デカールのはりつけ

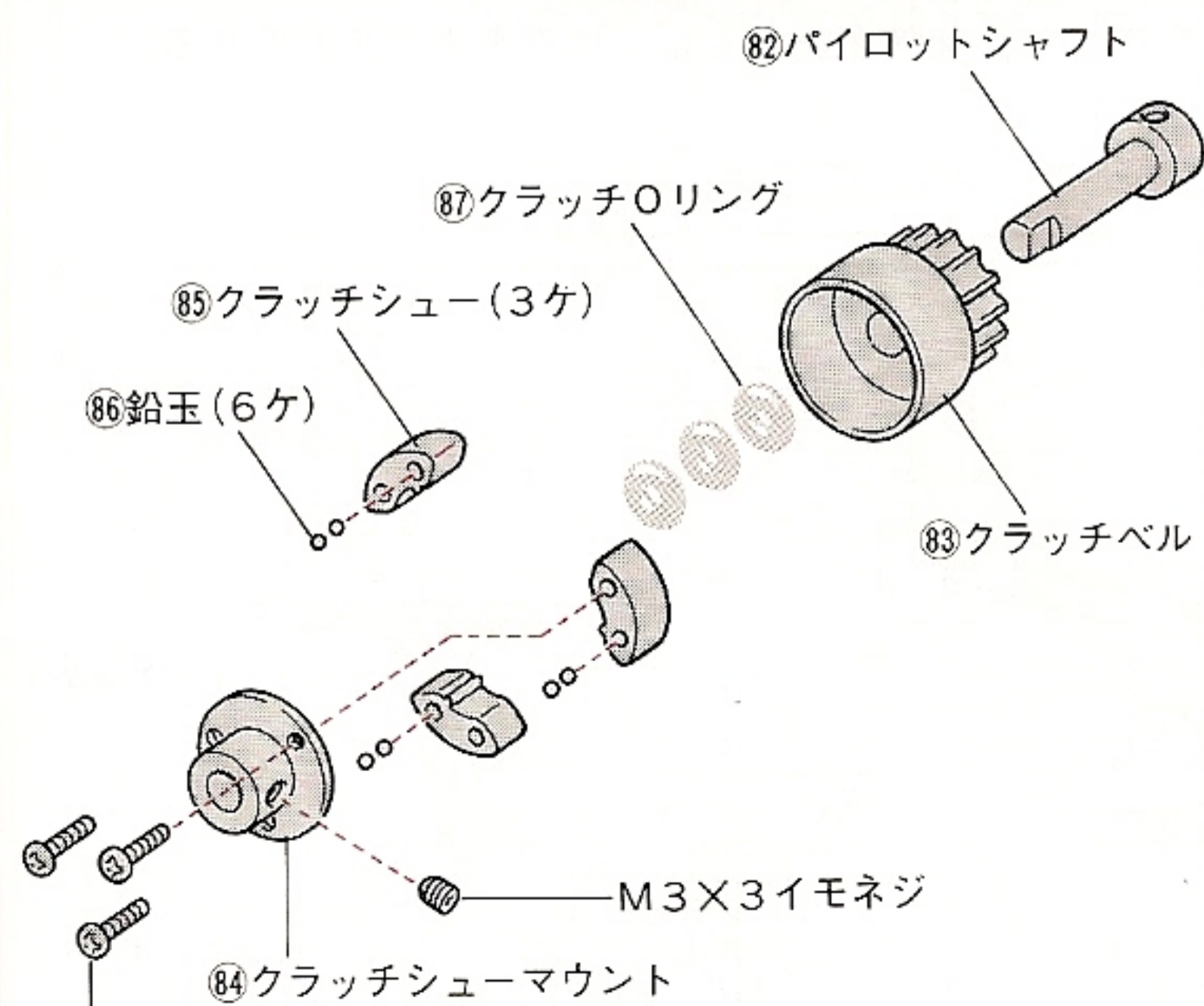
*番号のついたデカールはまとめてカットしないで、図の番号順にはりながらカットして下さい。
番号のないデカールはこのみにより、自由にはって下さい。



30 ボディのとりつけ

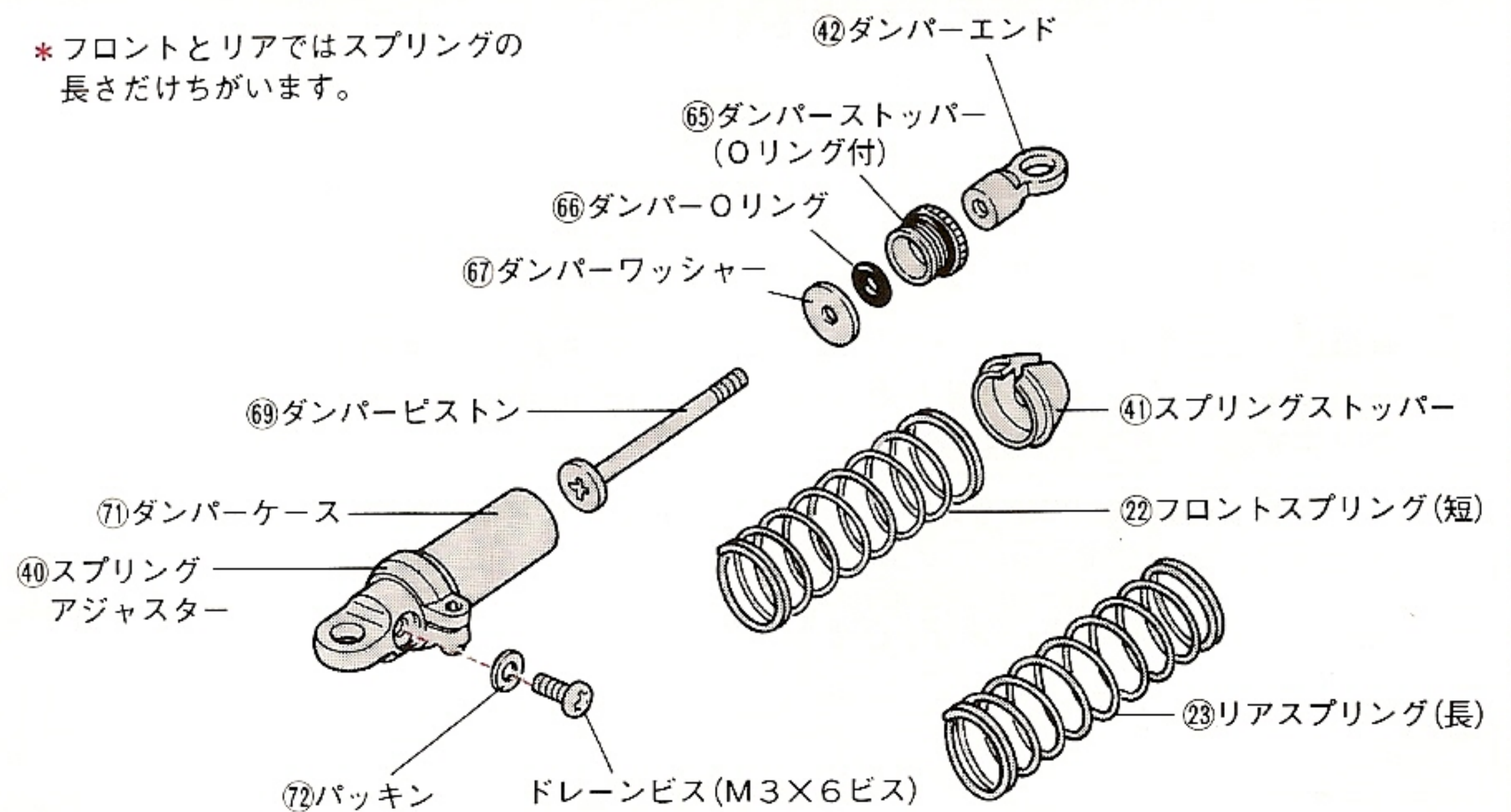


レーシングクラッチ分解図



ダンパー分解図

*フロントとリアではスプリングの長さだけが違います。



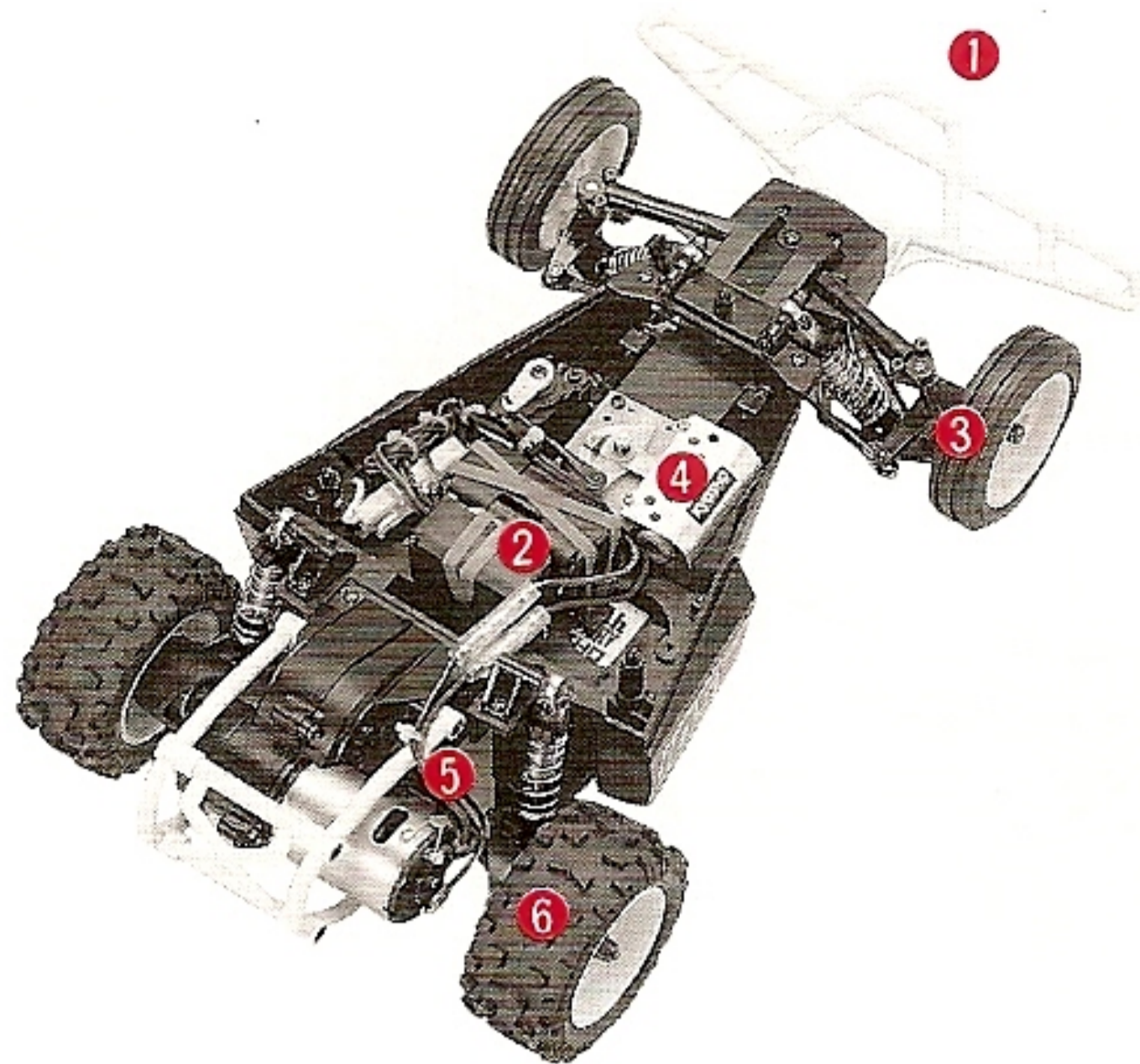
走行前のチェック

〈走行前の点検、チェック〉

走行の前に右の写真の番号順にチェックをして下さい。

★初走行の前にスピコン中速で2分間ぐらいタイヤを空転させて回転部分をなじませて下さい。

- ①各ネジのゆるみがないかをチェック。
- ②プロポ、動力電池の容量をチェック。
- ③フロントタイヤがプロポ通りに動くかをチェック。
- ④前進、バックがプロポ通りに動くかをチェック。
- ⑤各配線コードがしっかりとされているかをチェック。
- ⑥タイヤを手で回しスムーズに回るかをチェック。



〈走行の際の順番〉

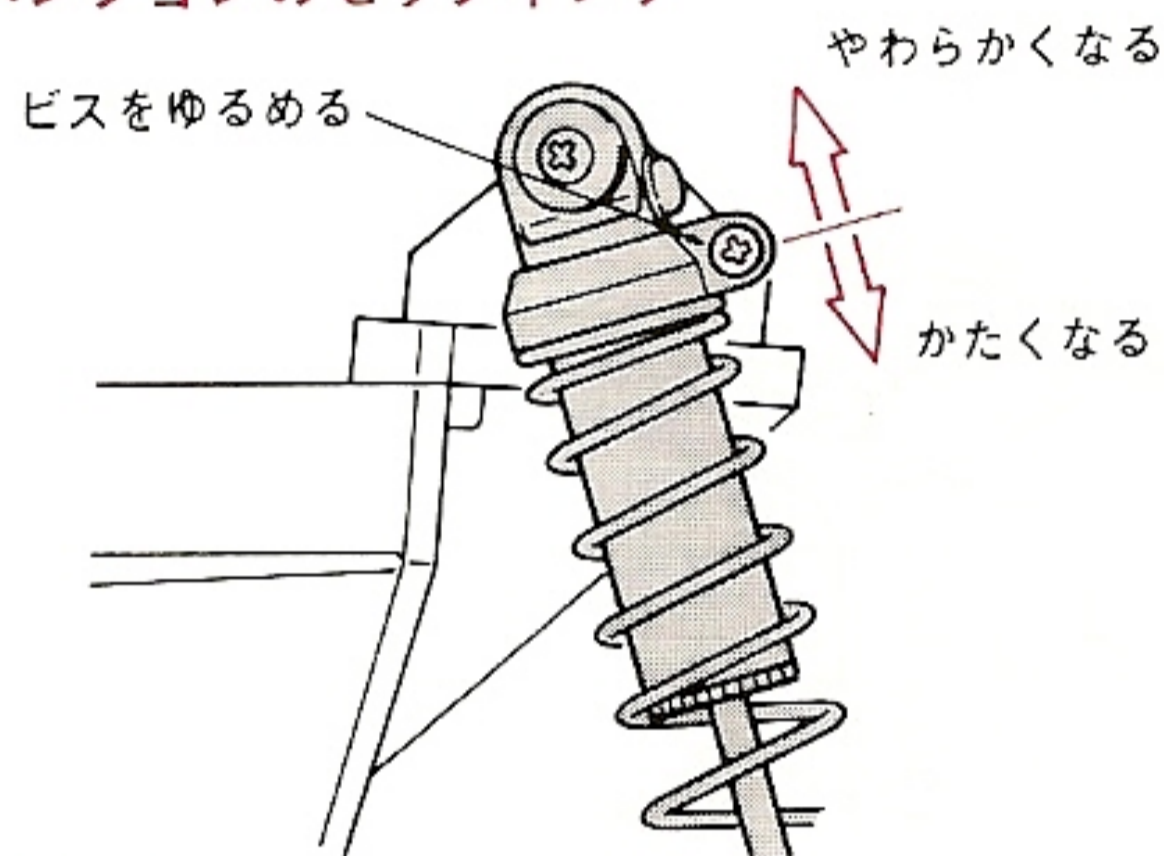
- ①プロポ、走行用電池を入れる。
 - ②送信機のスイッチを入れる。
 - ③受信機のスイッチを入れる。
 - ④プロポのスティックを右・左・前進・バック操作しその動きをチェックする。
- ★プロポのスイッチを切る時は、受信機を先に切り、後で送信機のスイッチを切る。
この手順をあやまるとモデルが勝手に走ったり、暴走することがあります。

〈動かない時のチェック〉

- ①走行用電源(ニカドバッテリー)のコネクター及び各配線コードの接触不良。
- ②コントローラーの接触不良。
- ③プロポの故障。
- ④他の電波の混信。

走行のセッティング

1. サスペンションのセッティング

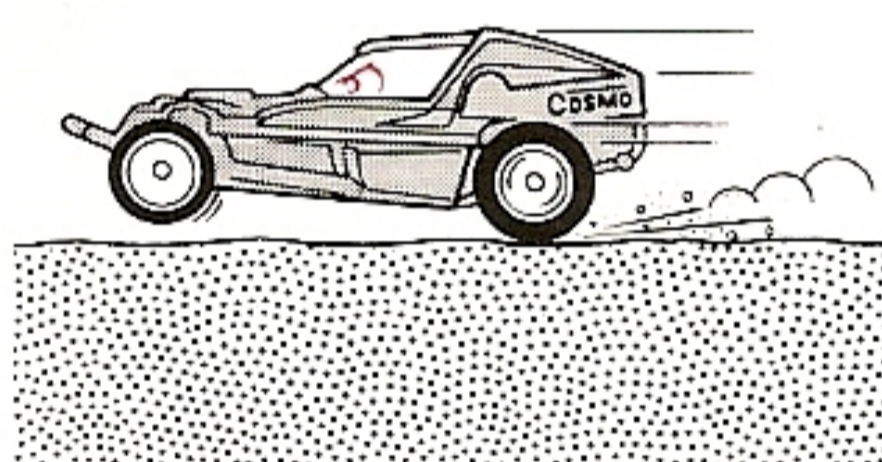


(注意)
ビスをしめるとき、あまり強くしめるとプラスチックのネジがバカになります。軽くしめて下さい。

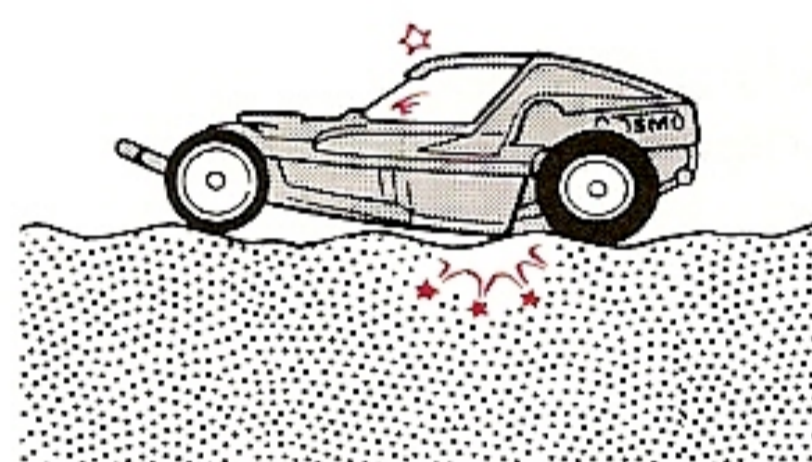
●調整のめやす

サスペンションはやわらかくスムーズに動くほうが路面の凸凹をよく吸収して良いのですが、下図のように凸凹が大きくてシャーシの底をこすり、リアがはね上げられるような時は、少しづつサスペンションをかたくします。

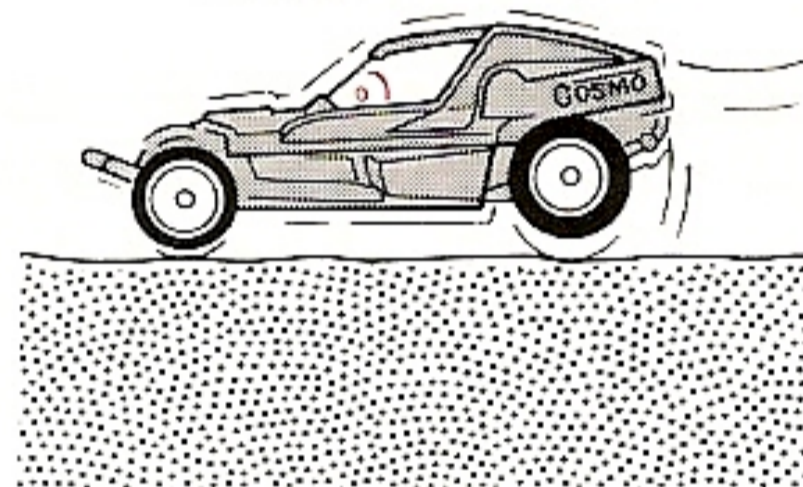
*凸凹の少ない路面ではサスペンションをやわらかくする。



*凸凹が大きくてシャーシの底をこする時はサスペンションをかたくする。

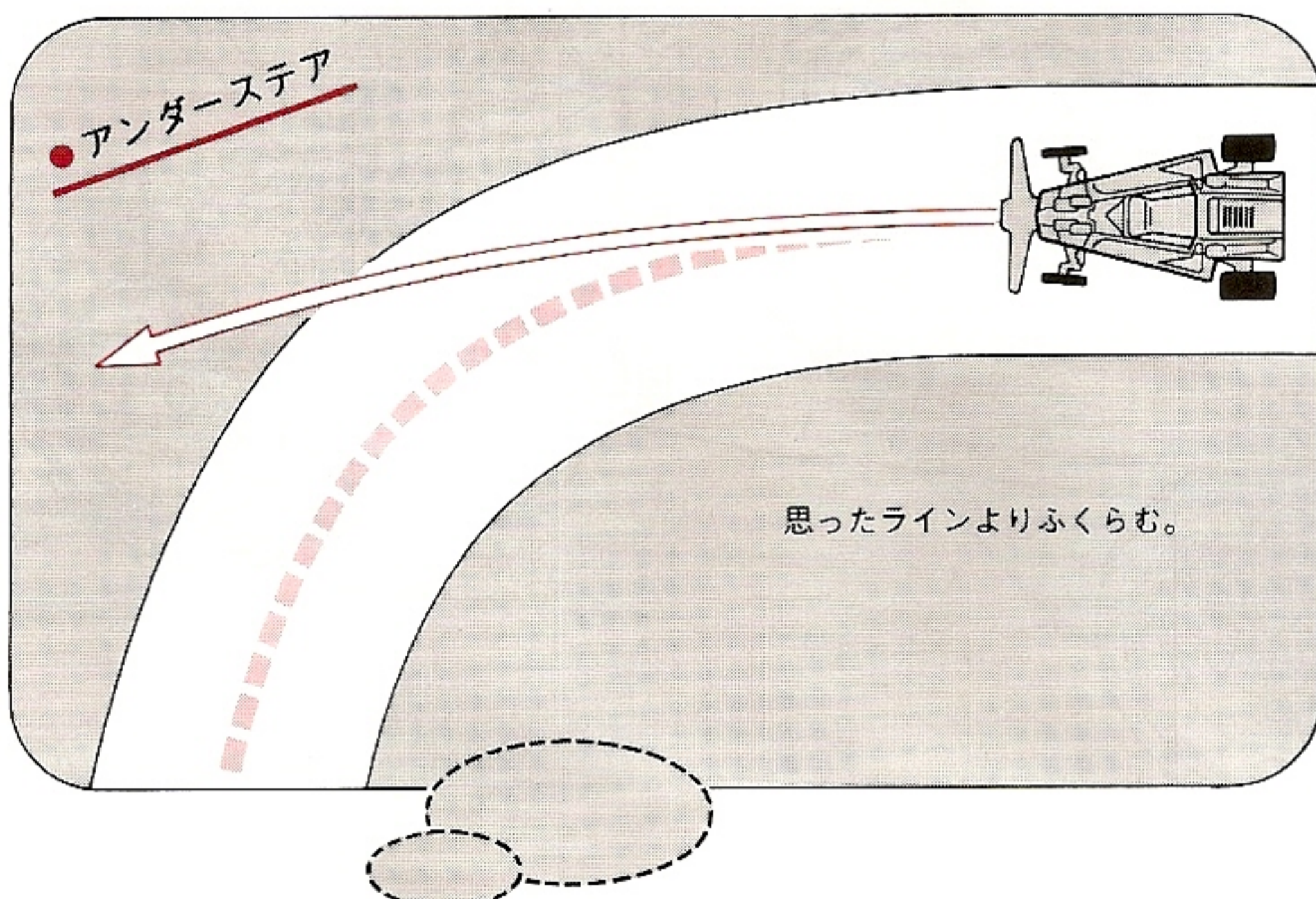


*凸凹が少ないのにリアがピョンピョンはねる時はサスペンションがかたすぎるのもっとやわらかくする。



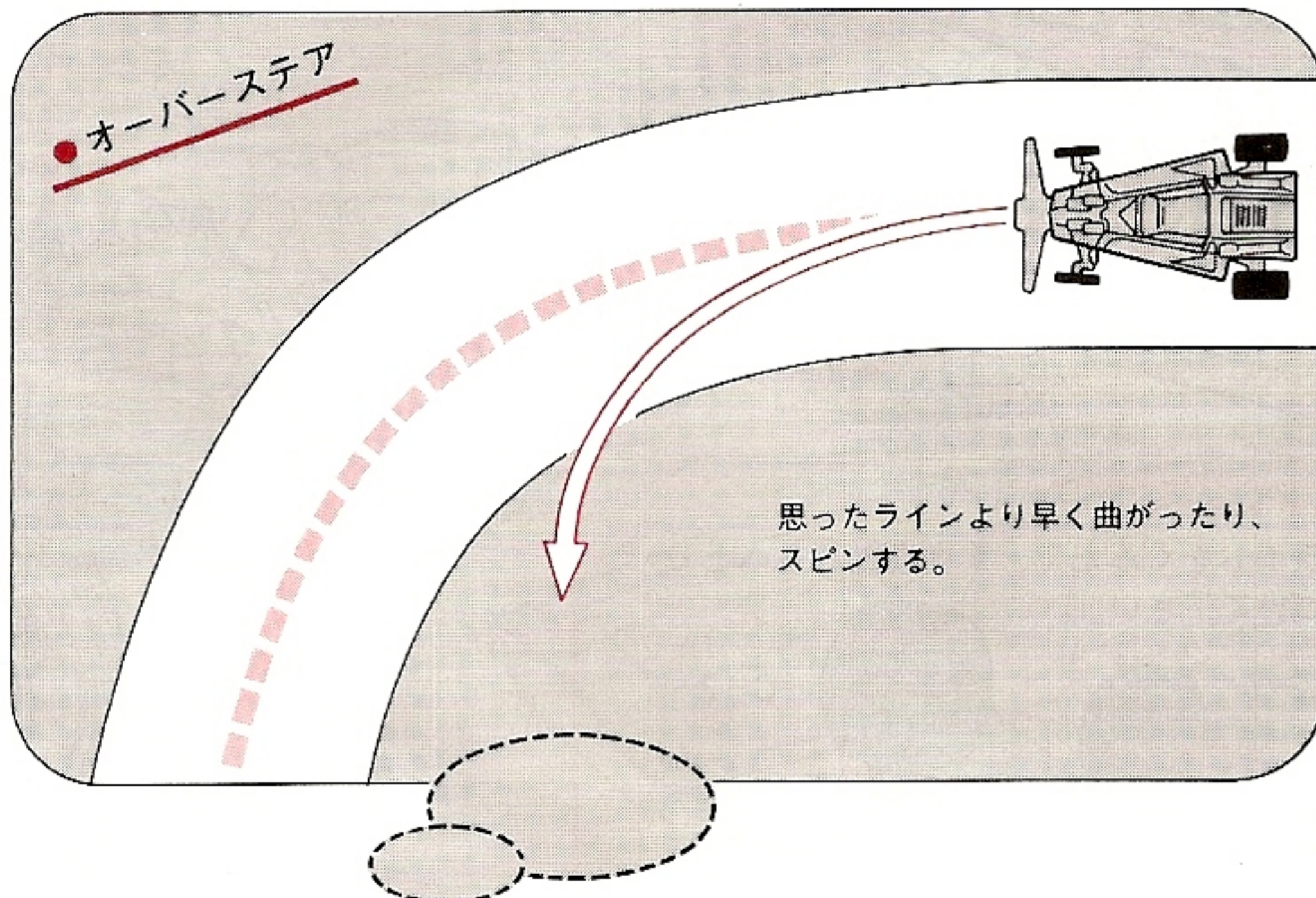
2. アンダーステア、オーバーステアのセッティング

走行させる路面により、アンダーステアやオーバーステアになり、コントロールしづらくなったら下記のセッティングをして下さい。



●アンダーステアの時

- ①ステアリングの舵角をふやす。
- ②フロントサスペンションをやわらかくし、リアをかたくする。



●オーバーステアの時

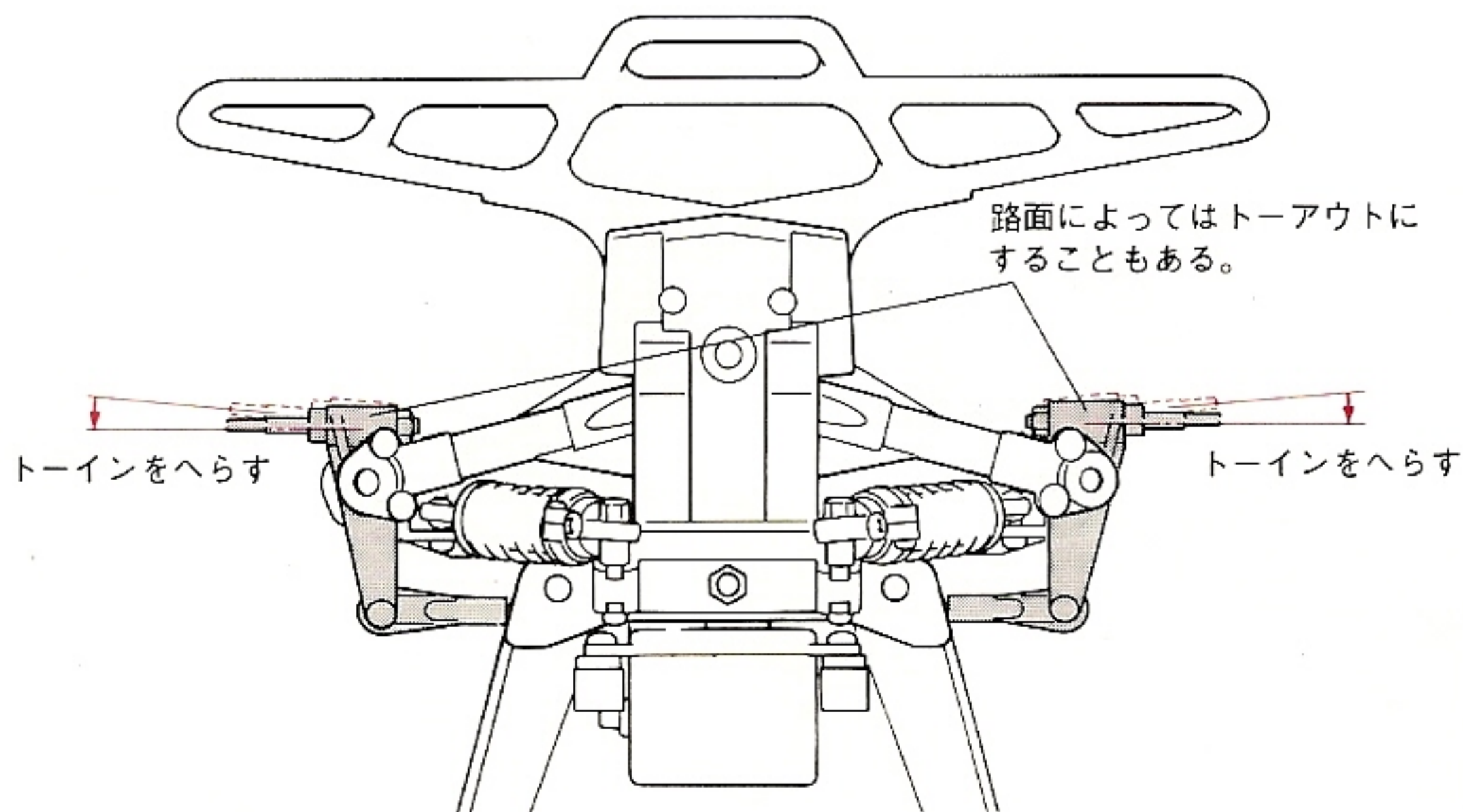
- ①ステアリングの舵角をへらす。
- ②フロントサスペンションをかたくし、リアをやわらかくする。

3. 補装された路面でのセッティング

*補装路で走行中、パワーOFF(スピコンスティック 中立)にした時、今までまっすぐ走っていた車が右か左へカーブしてしまうことがあります。

このような時は右図のようにトーインをへらしていくとまっすぐ走るようになります。

路面によっては少しトーアウトにすることもあります。



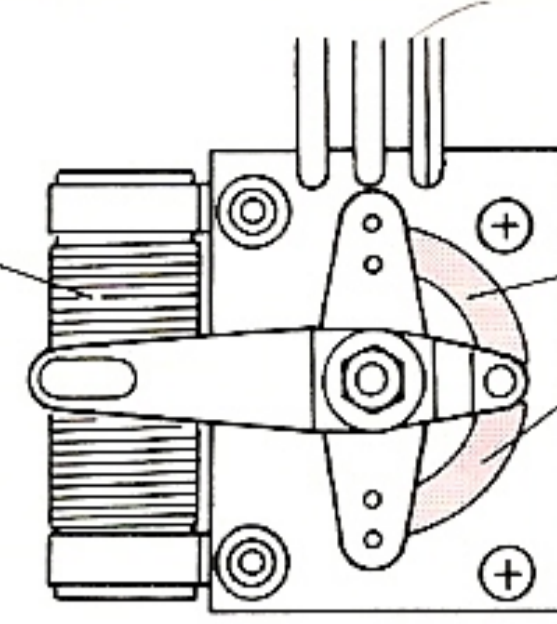
スピコンのメンテナンス

1. コスモを走行させる前に□部分の金属面に組みたてに使ったグリスをうすくぬって下さい。

グリスをぬると…

- ① スピコンの動きがスムーズになる。
- ② 火花の発生による接触不良がふせげる。

巻線抵抗にはグリスをぬらないこと。



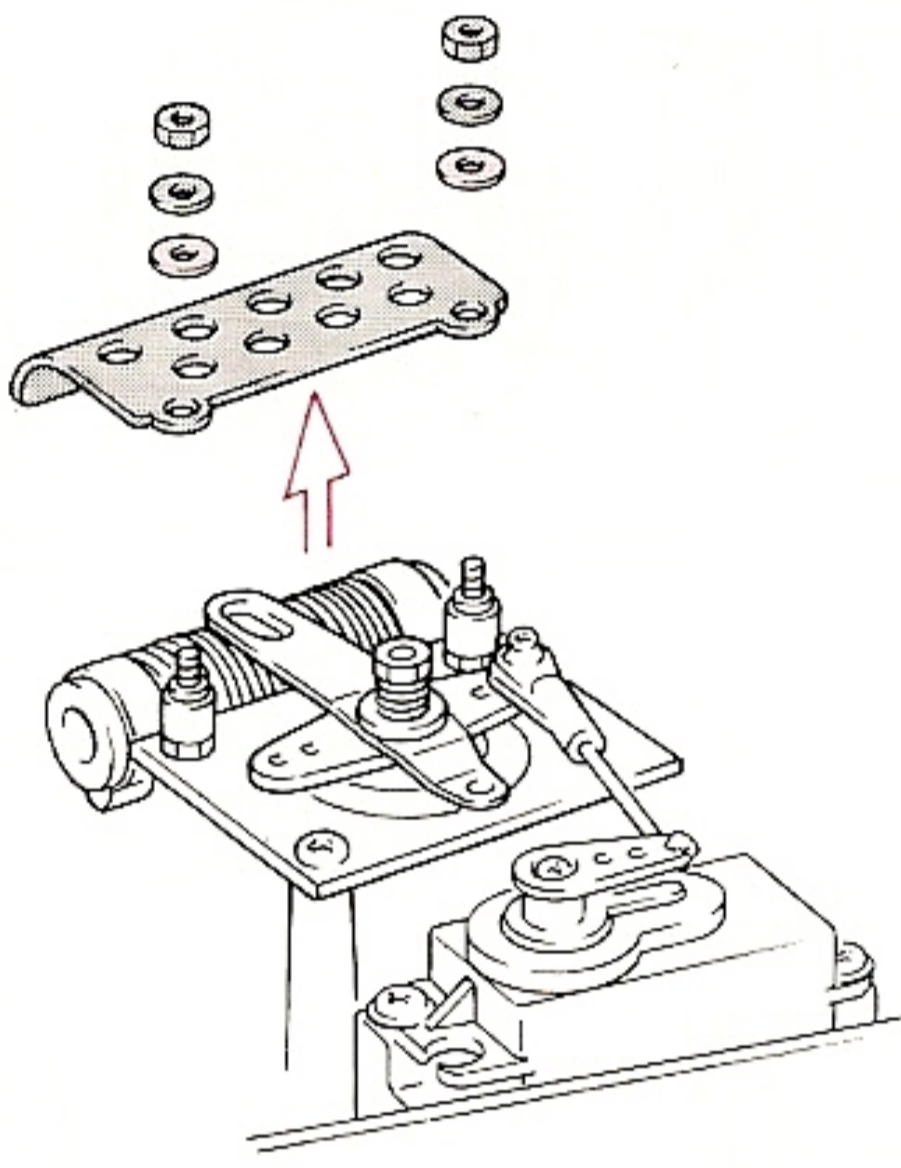
グリスをうすくぬる。



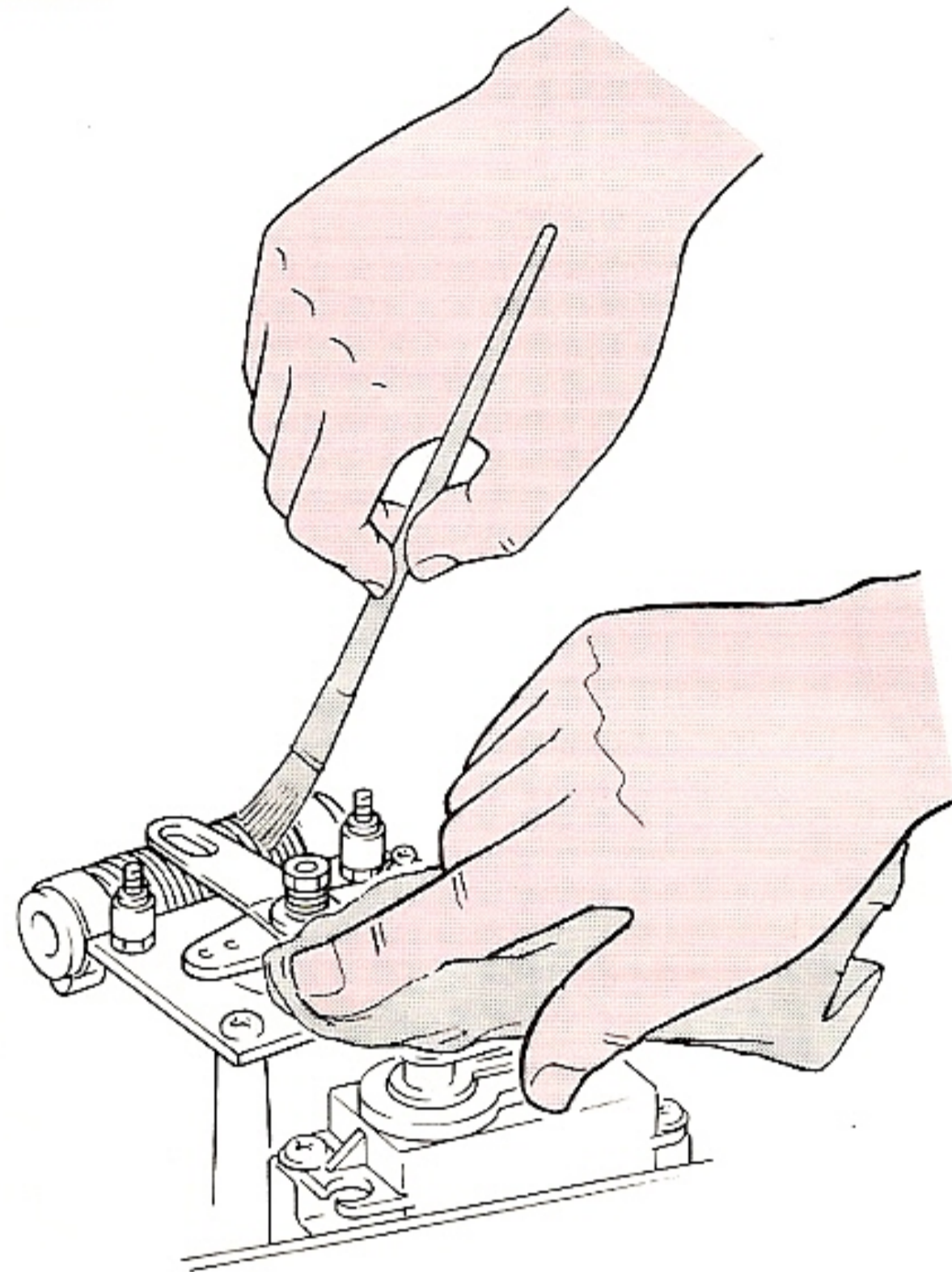
*キリなどの先の細いものにグリスをつけてぬるとよいでしょう。

★その日の走行が終わったらグリスは布でふきとって下さい。

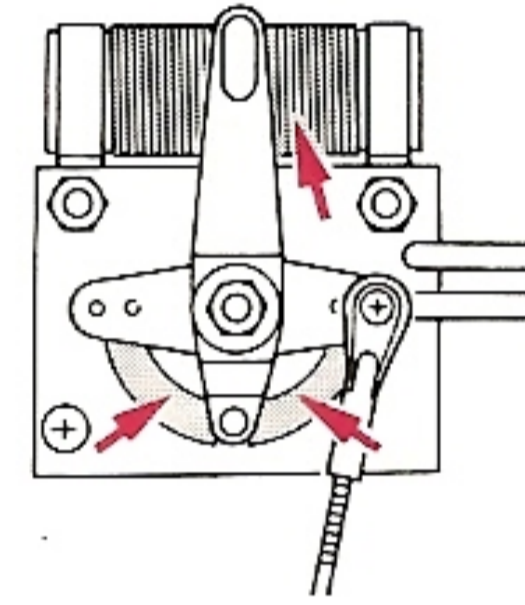
2. 何回か走行させたら1~4のメンテナンスをして下さい。



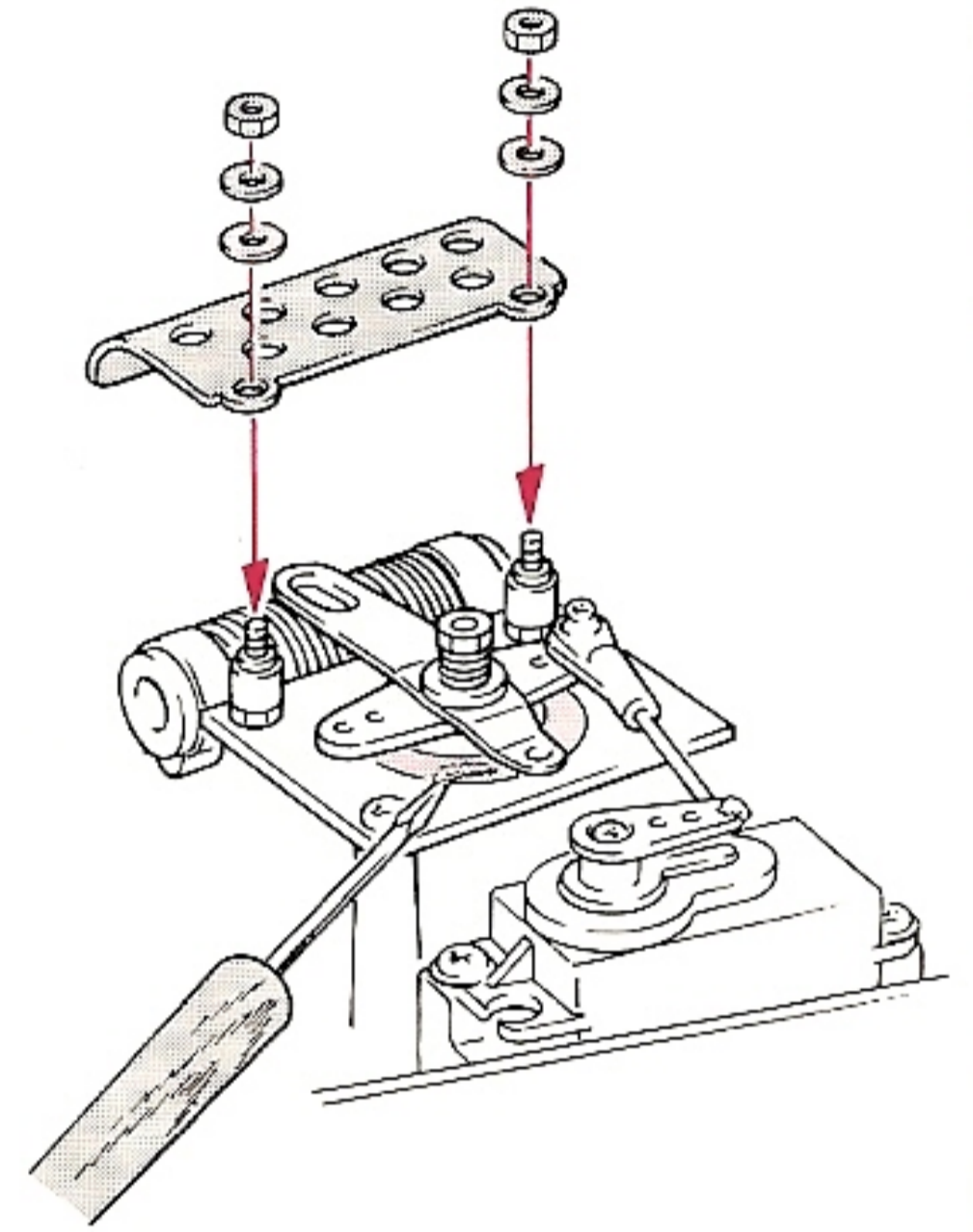
1. セフティカバーをとりはずす。



2. グリスを布でふきとり、ハケでホコリをとる。



3. 矢印の部分が黒くなったらこまかいサンドペーパーでみがく。

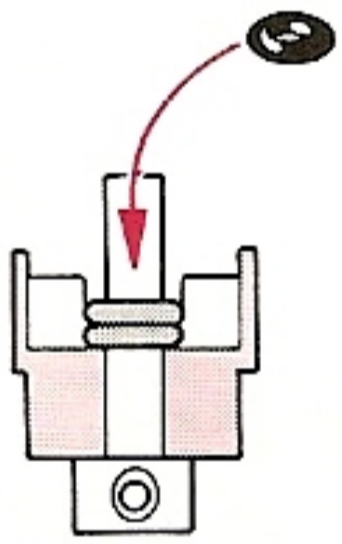


4. セフティカバーを元通りとりつけ、グリスをうすくぬって完了。

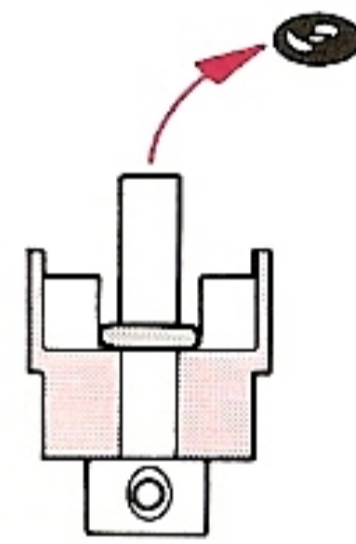
レーシングクラッチの調整

③レーシングクラッチのくみたてで、Oリングを2個使いましたが、もしクラッチがすべりぎみのようでしたらもう一個追加して下さい。(図1)

逆にきつきすぎるようでしたら1個へらして下さい。(図2)



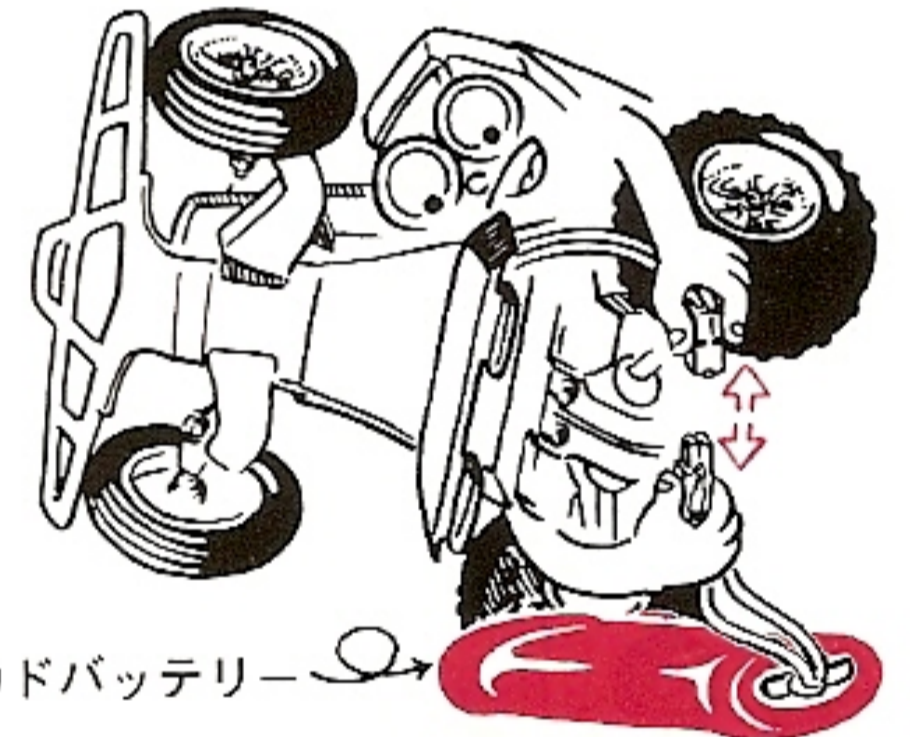
(図1)



(図2)

走行後の整備

- ① ニカドバッテリーをはずす。
- ② モーター、ギヤ、シャーシなどについた汚れをふきとる。
- ③ 各取付けビスのゆるみを点検する。



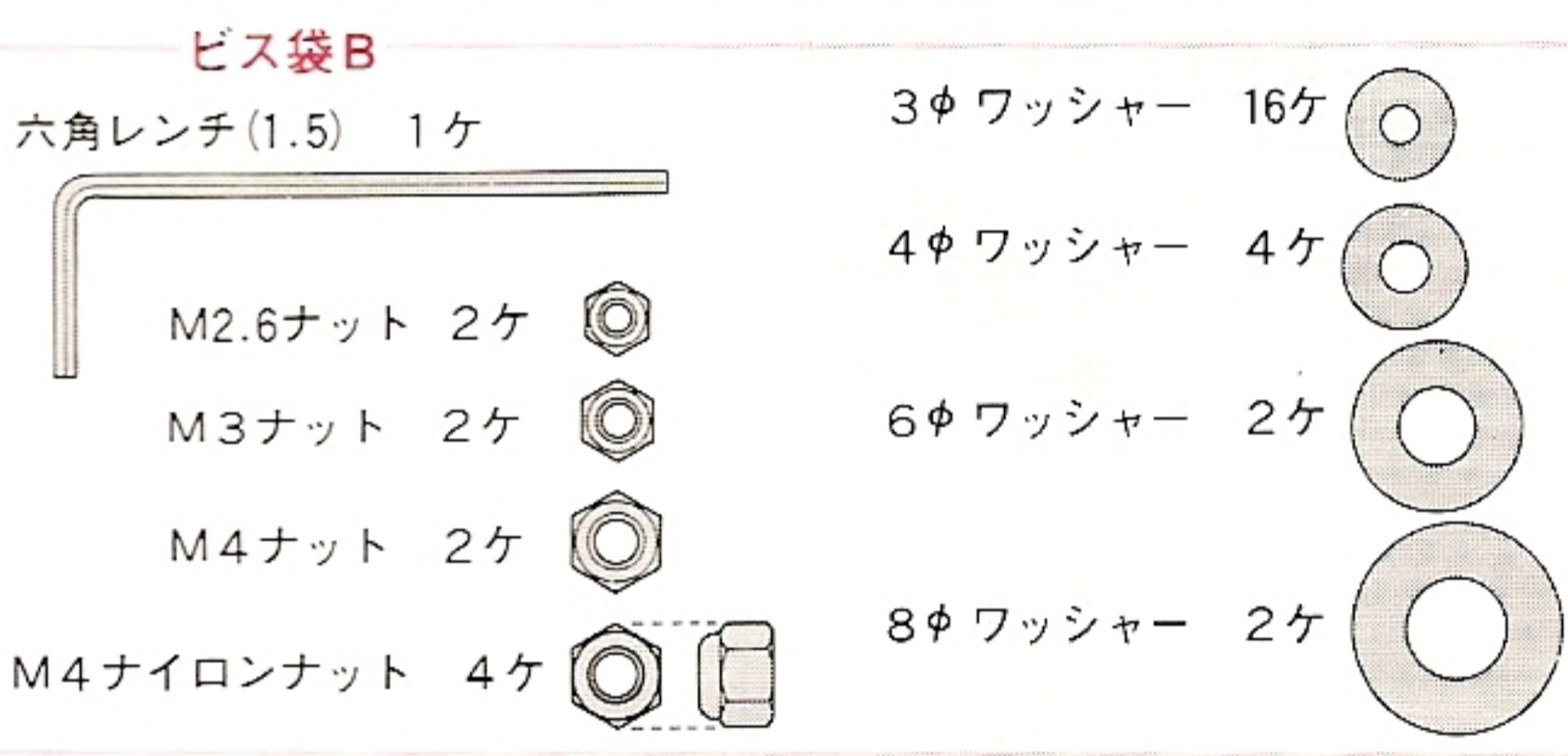
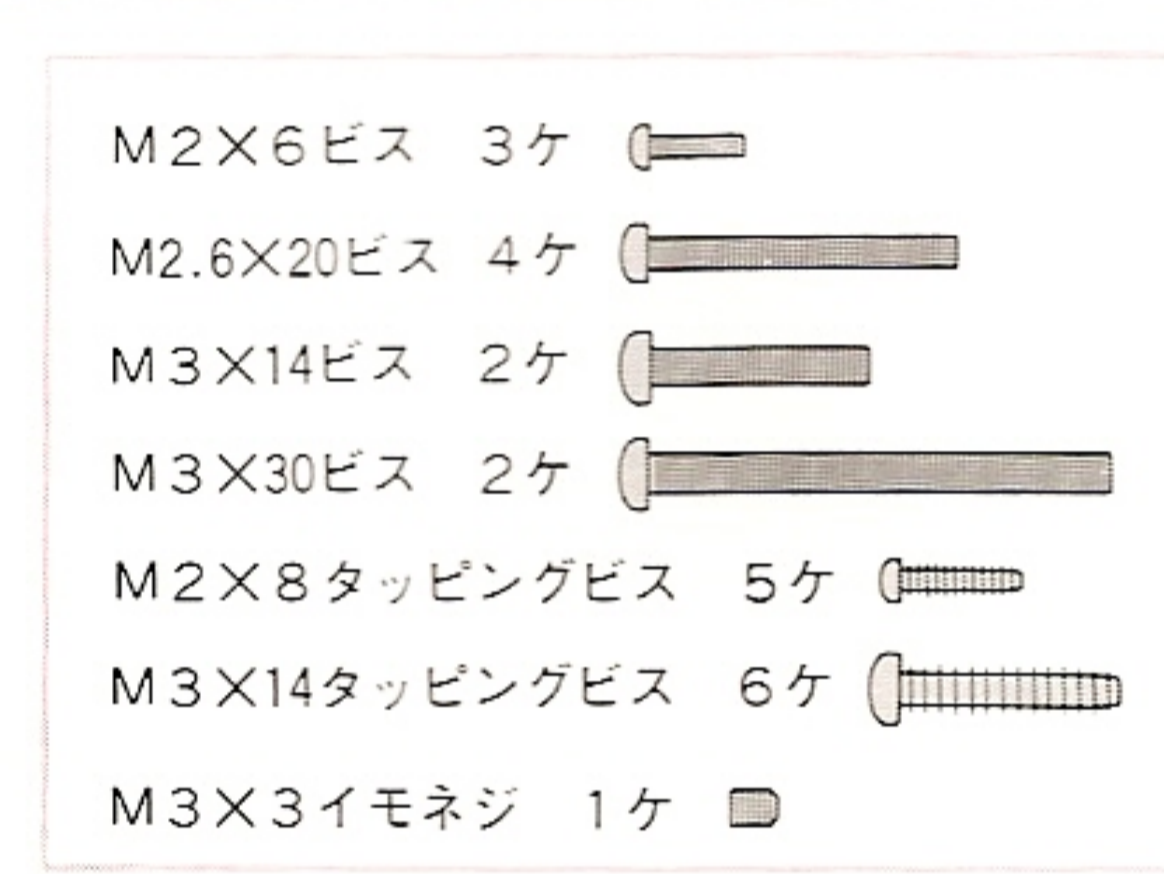
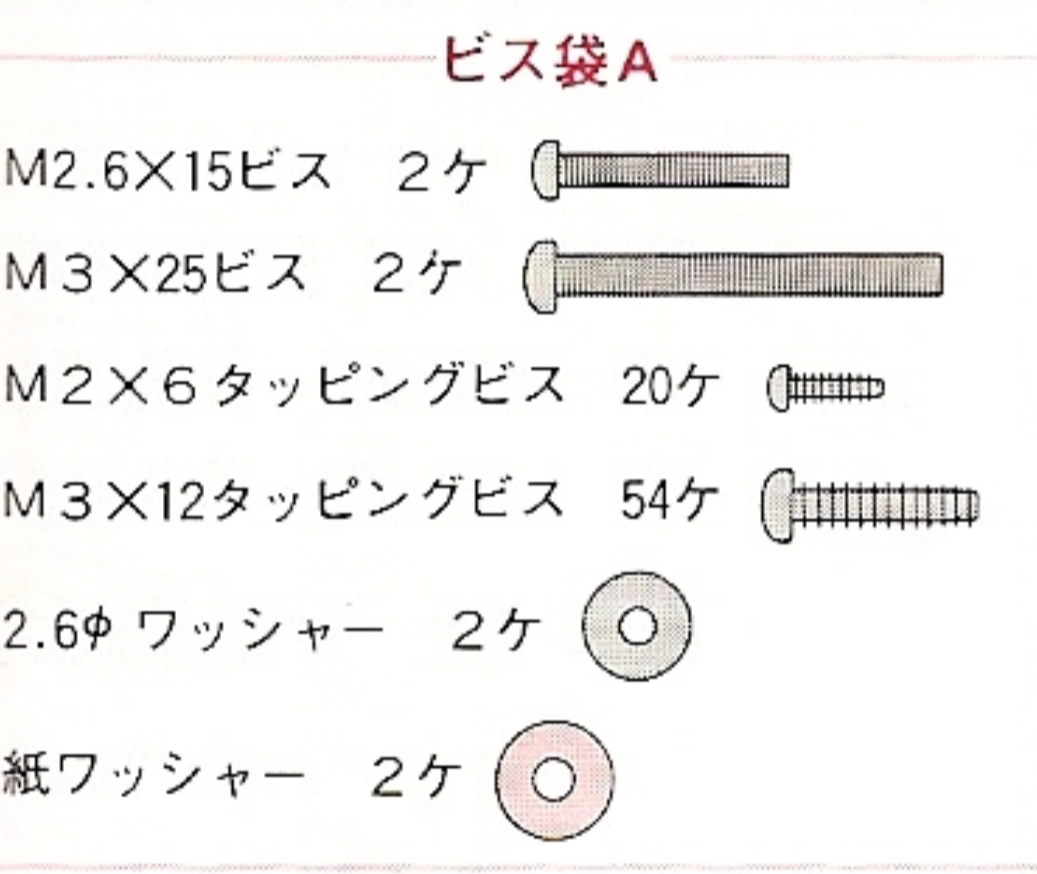
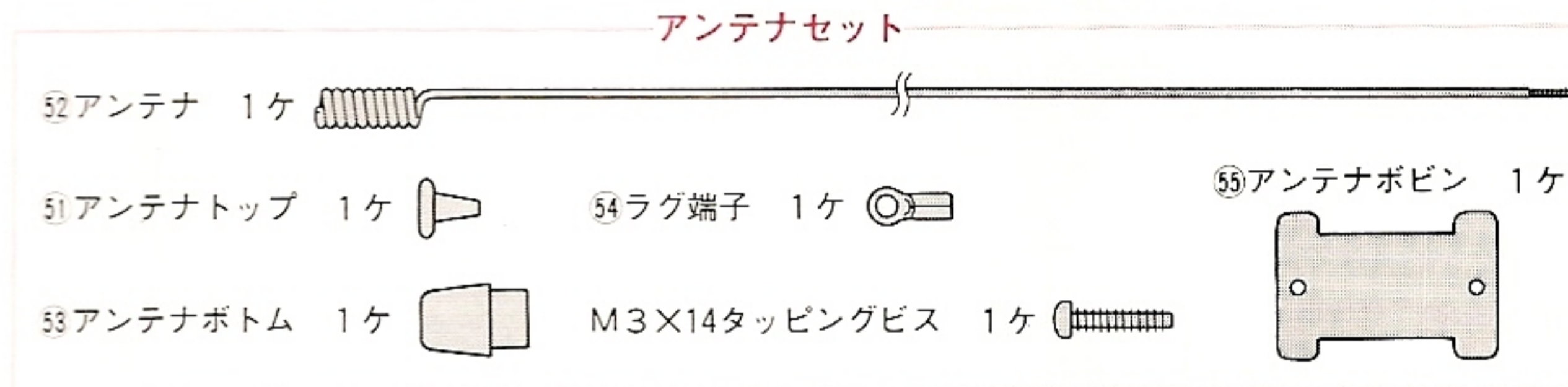
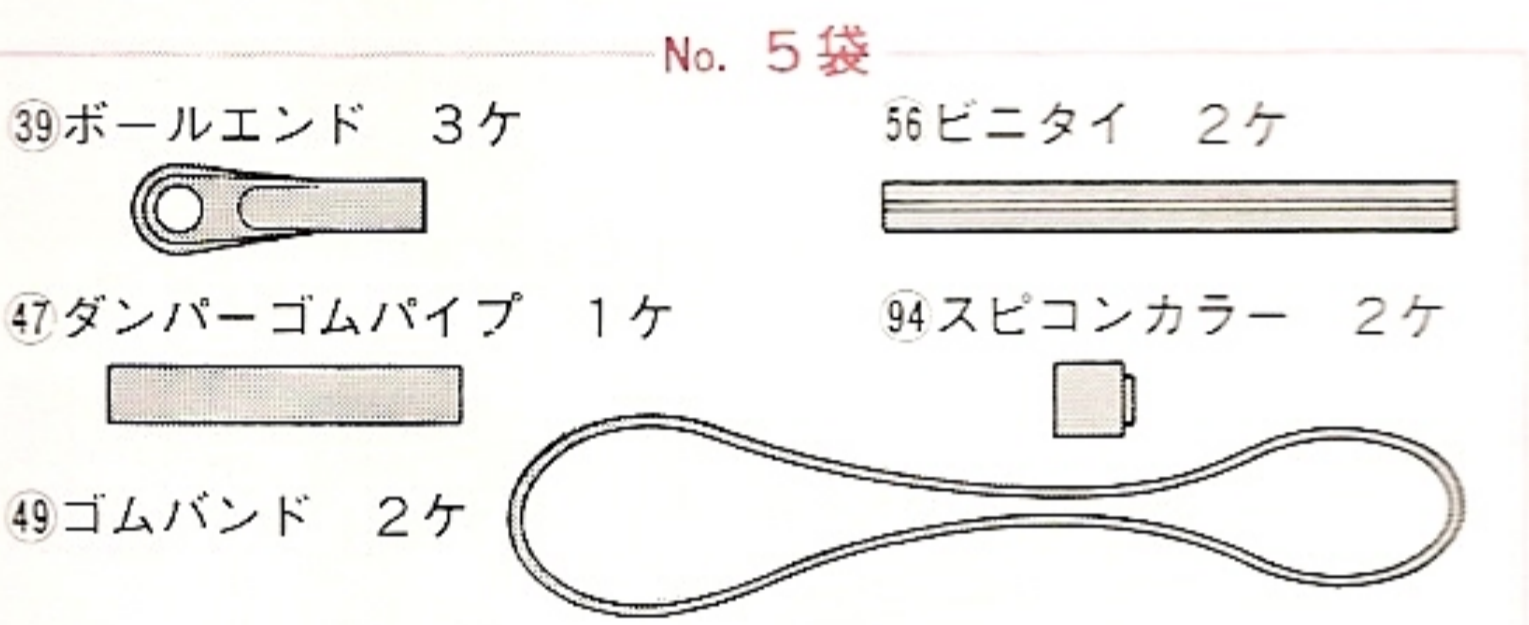
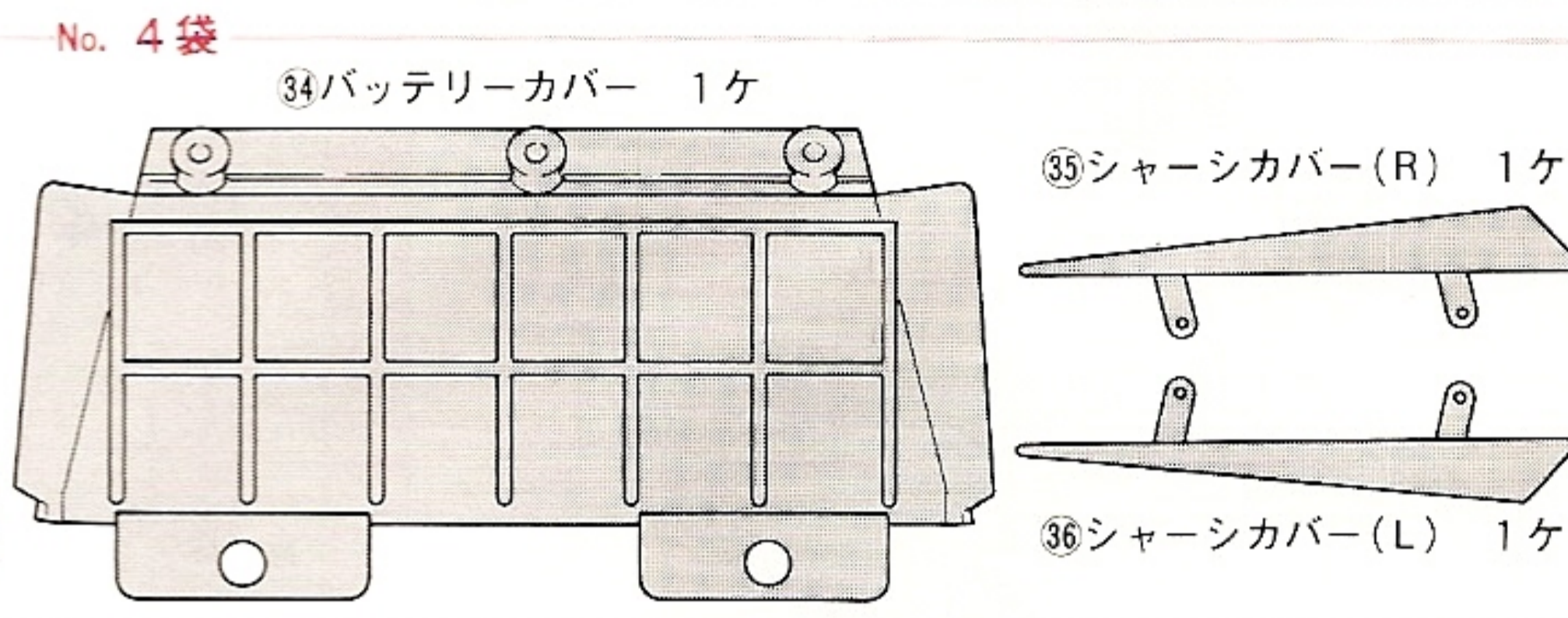
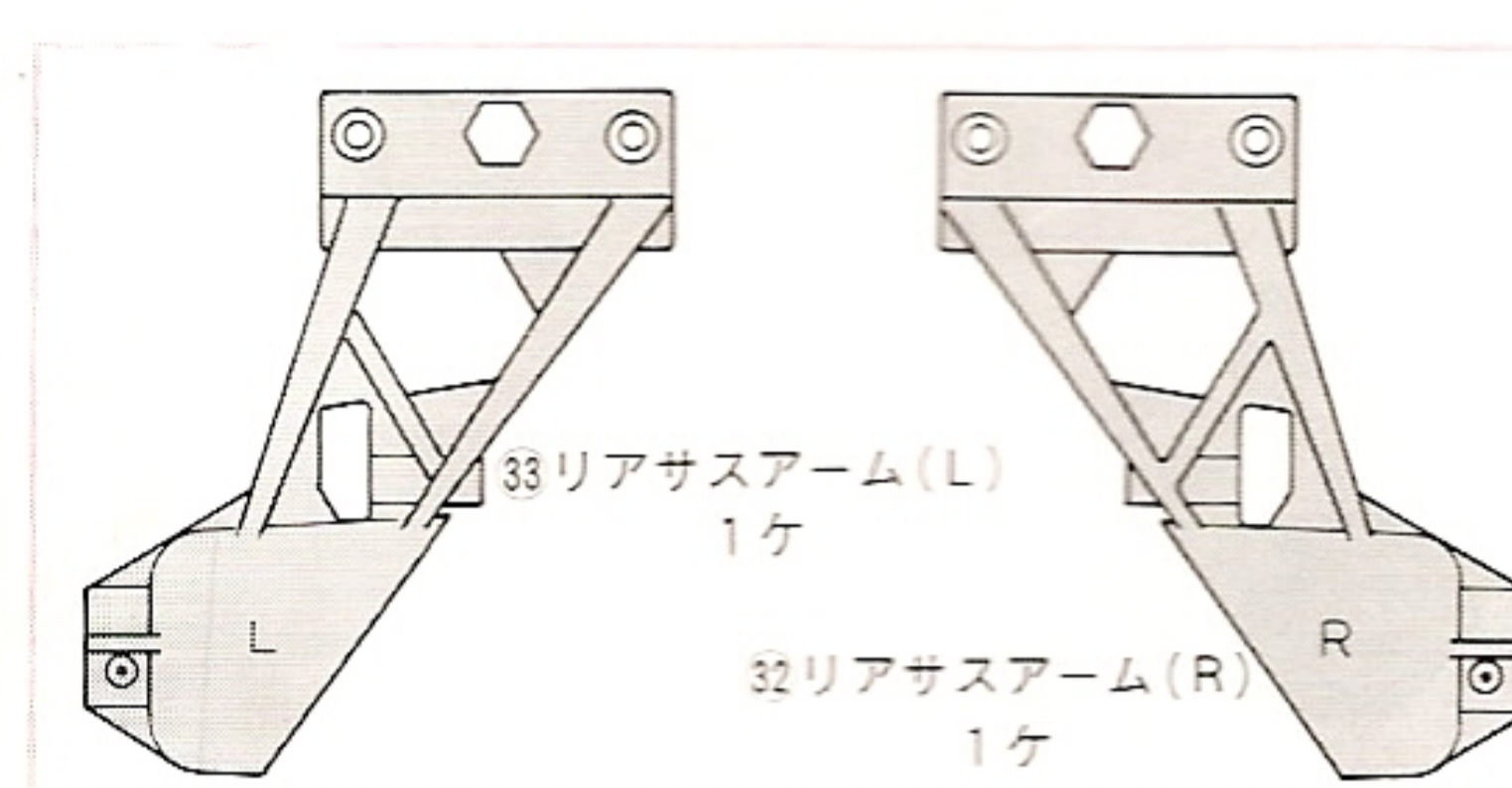
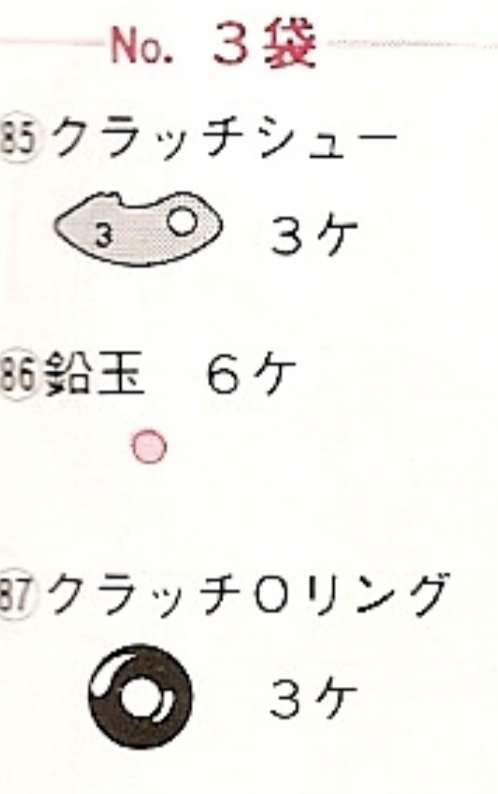
ニカドバッテリー

走行させない時や家に保管しておく時は必ずニカドバッテリーは車からはずしておくこと。

故障発見早見表

トラブル	原因	対策
サーボが動かない	プロポの電池がない。	送信機のメーターを見て下がっているようであれば電池を交換する。受信機の電池を交換する。
	プロポの故障	プロポメーカーに修理を依頼する。
走らない(走行中)	ニカドバッテリーの電圧が下がっている。	ニカドバッテリーを充電する。
	モーターコードの断線	モーターコードのハンダ付け部分やコネクターがはずれていないかを点検する。
	モーターピニオンのゆるみ	ピニオンギヤを止めているビスをしめる。
	コントローラーの異常	コントローラー(接点)のよごれをとる。コントローラー裏側のハンダ、コードがはずれていないかを点検する。
	コネクターの異常	コネクターのピンが広がって接触不良をおこしている事がある。コネクターのピンをちぢめる。
スピードが出ない	ビスのゆるみ	タイヤ、シャフトのビス、ナットのゆるみを点検し、フロント、リアのタイヤを手で回して軽く回るかを調べる。
	シャフトの曲り等	分解してシャフトの曲り、ギヤ等のゴミ、ホコリをとる。
	コントローラー	コントローラーのストロークが合っていない。(説明書14 21参照)よごれをとる。
	モーター、ニカドバッテリーの老化	新品と交換する。
止らない	リンケージのガタ、よごれ	スピードコントロールのスティックから手をはなしても止らないのは、ロッドにガタが生じているため、長さを調整する。コントローラーがよごれていると動きがにぶくなる事がある。
まっすぐ走らない	フロントタイヤの回転が重い	タイヤをはずしてよごれをとる。M4ナイロンナットをかるくしめる。
	リアタイヤの回転が重い	ホイールシャフトやジョイントのよごれをとる。特に左右の回転の重さが違う時やひっかかる時は分解してチェックする。

部品図(2)



パーツを紛失、破損された時

下記の品番、部品名、内容を確認し、キットをお買求めいただいた模型店で品番を言ってお求め下さい。近くに模型店がなく部品が入手できないときは19頁についているパーツ注文書とパーツ代に送料を加え(郵便普通為替または現金書留)品番を明記の上、直接「京商サービス部」へお申し込み下さい。※2品以上お求めの場合の送料は品番の中で一番高い送料のみお送り下さい。他の送料はサービスとなります。なおパーツ注文書には郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号を必ず明記して下さい。又、お申し込みになられたパーツはご送金いただいてからお届けできるまで10日以上かかる場合もありますので御了承下さい。

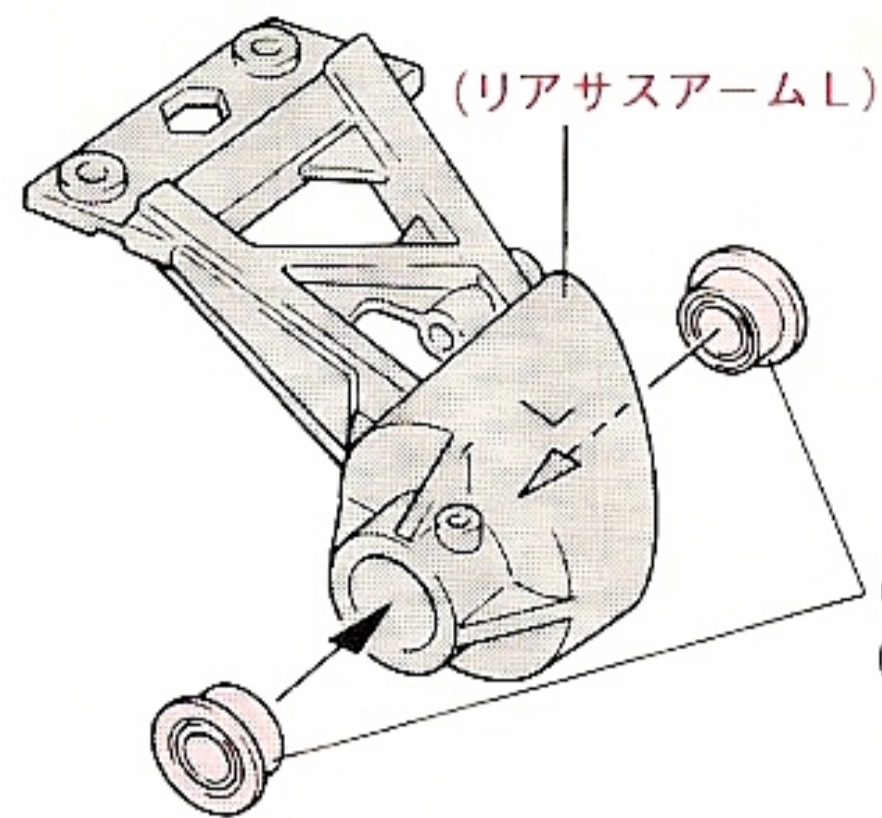
●表示の送料は昭和61年11月15日現在のものので法規改正にともない変更になる場合がありますので御了承下さい。

品番	部品名	内容(キ-No.)	定価	送料
P1-2	㊸ブロックパーツ&ギヤセット	㊸ブロックパーツ×1 ⑨⑬⑭⑮⑰各1 ⑩⑫各2 ⑪×3	1,200	240
P1-3	㊹ブロックパーツ	㊹ブロックパーツ×1	700	120
P1-4	㊺㊻ブロックパーツ	㊺㊻ブロックパーツ各1	500	170
P1-5	シャーシセット	① ㊼ ㊽ ㊾各1	1,200	240
P1-10	ホイールシャフトセット	⑥ ⑯ ⑰各2	500	120
P1-13	ビス・ナットセット	ビス・ナット一式	500	170
P1-16	ダンパースプリングセット	⑳ ㉑各2 ㉒ ㉓ ㉔ ㉕各4 ㉖×1	500	120
P1-18	ボール&タイロッドセット	㉗ ㉘各4 ㉙×3 ㉚ ㉛各2 ㉜ ㉝ ㉞ ㉟各1	600	170
P1-19	㊿ブロックパーツ	㊿ブロックパーツ×1	500	170
P1-20	NEWサスアームセット	㊿ ㊿ブロックパーツ各1 ㊿ ㊿各1	1,000	240
P1-21	フロントホイール	㊿ブロックパーツ×1	400	170
P1-22	フロントタイヤ	㊿×2	500	120
P1-23	NEWスピードコントローラー	㊿ ㊿各1 ㊿ ㊿各2 モーターコード付	1,800	170
P1-24	コスモボディ	㊿ ㊿各1	1,800	240
RK-2	リアホイール	㊿ブロックパーツ×2	400	240
RK-15	リアタイヤ	㊿×2	1,000	170
PG-14	オイルダンパー	㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿各2	1,200	120
1885	アンテナセット	㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿各1	150	120
1889	ボディピン	㊿×5	100	70
W-5048	レーシングクラッチ(18T)	レーシングクラッチ一式	1,980	240
CL-5	クラッチベル(18T)	㊿×1	800	120
CL-6	クラッチシューセット	㊿ ㊿各6 ㊿×12	500	70
CL-7	パイロットシャフトセット	㊿ ㊿各1	900	70

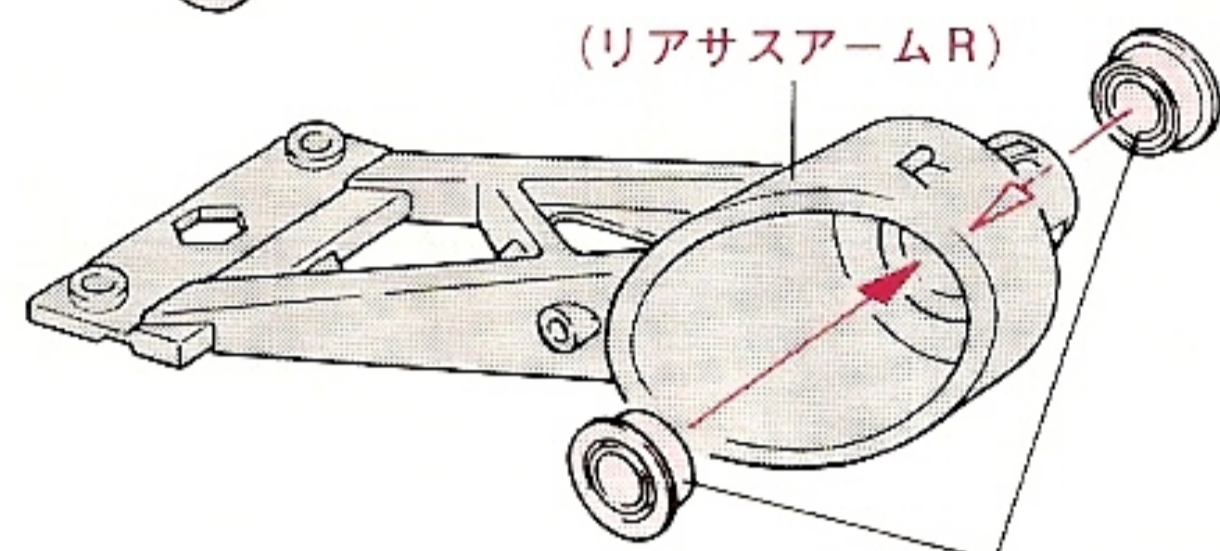
オプションパーツ

＜ベアリングの交換＞

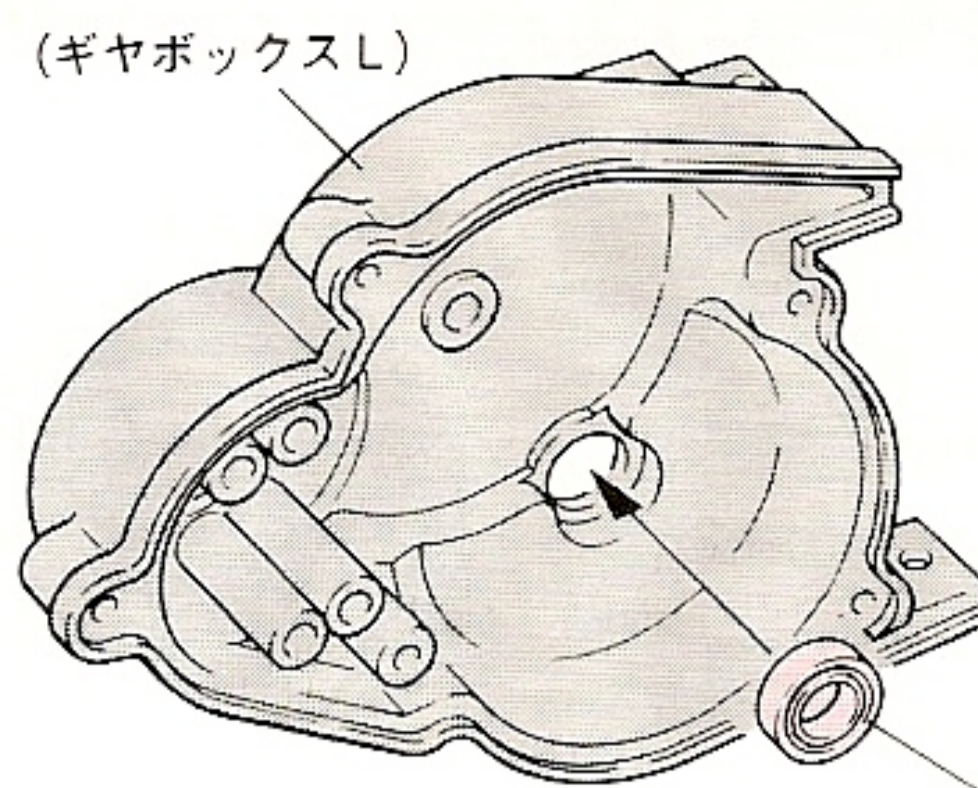
ギヤボックスやホイールシャフトにはプラスチックの軸受を使用しております。
より性能を上げるため、ボールベアリングに交換できます。



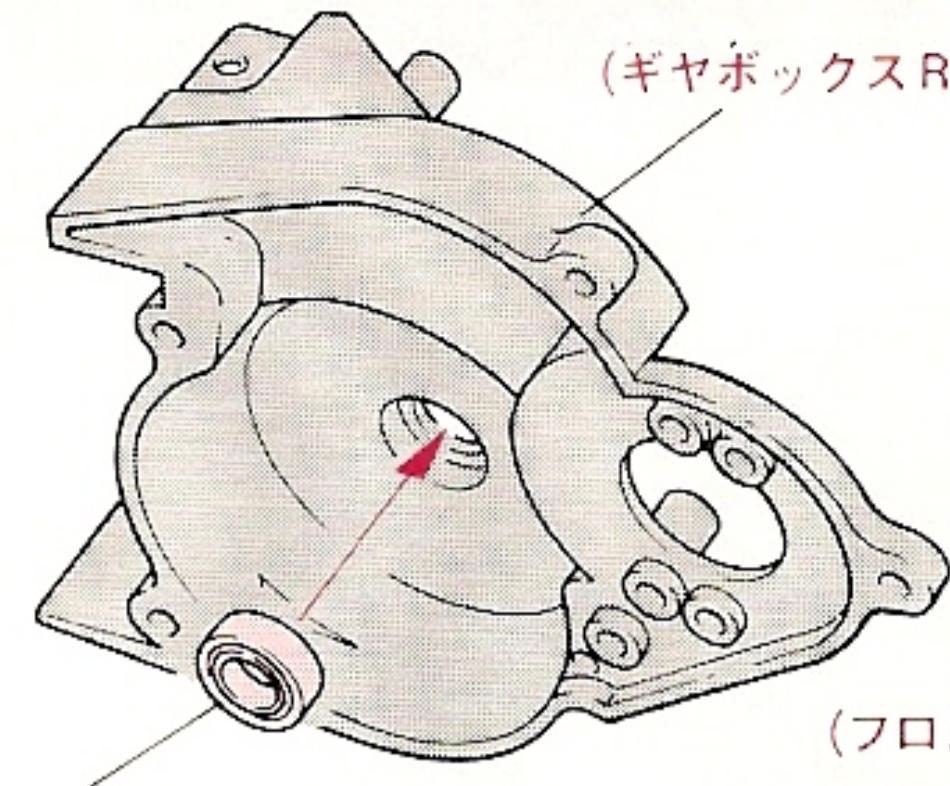
6φ x 10φ ボールベアリング (フランジ付)



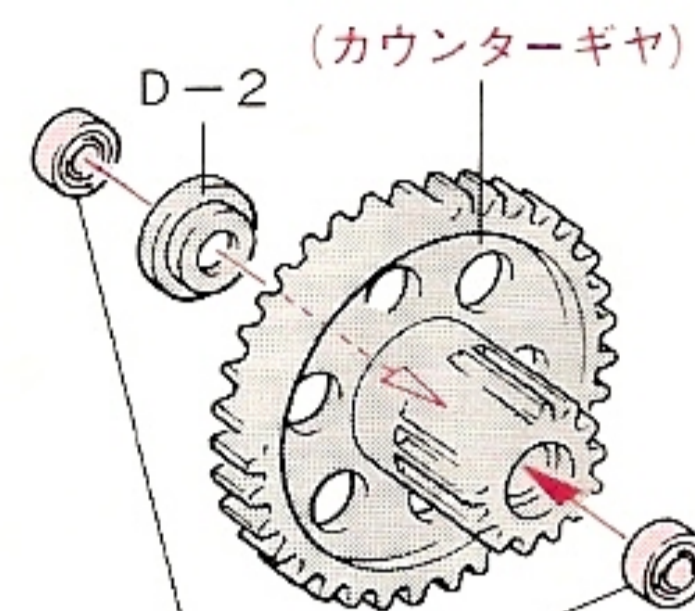
6φ x 10φ ボールベアリング(フランジ付)



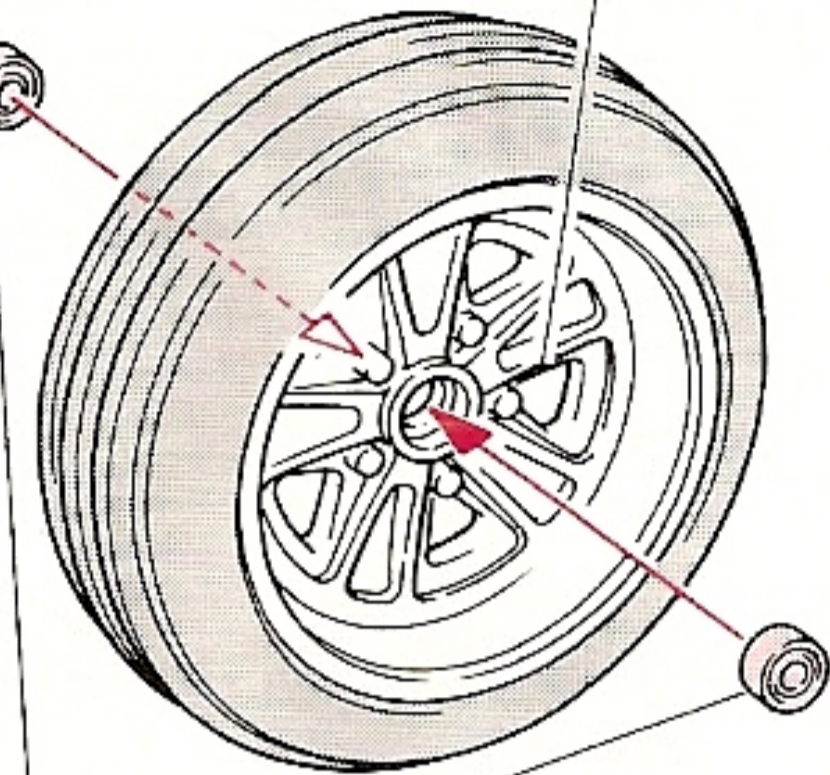
(ギヤボックスL)



(ギヤボックスR)



4φ x 8φ ボールベアリング

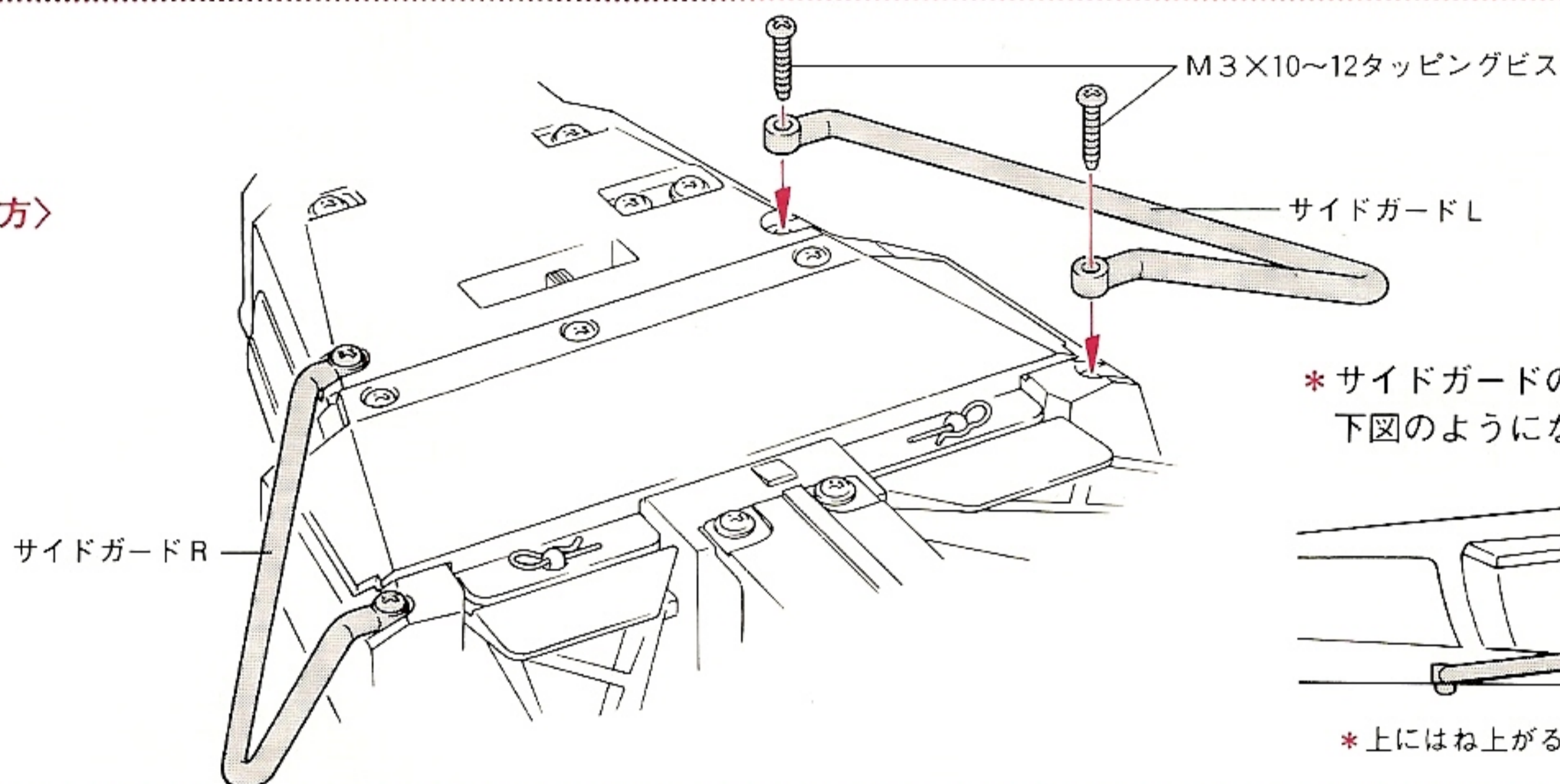


(フロントホイール)

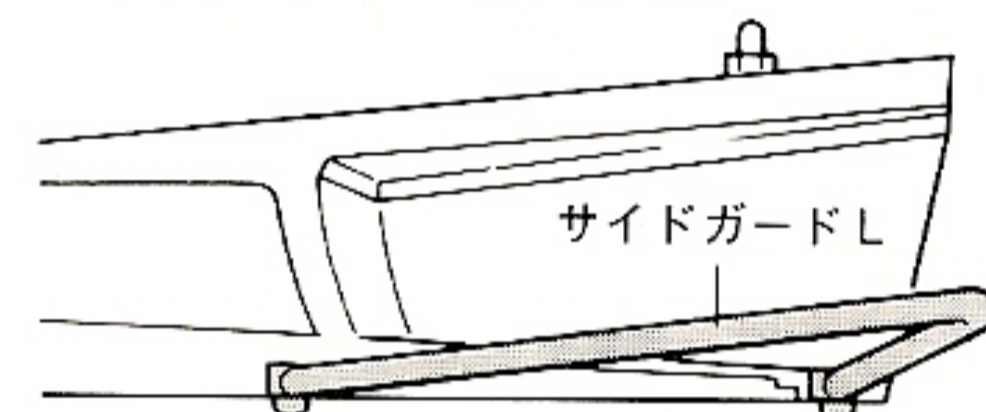
4φ x 8φ ボールベアリング

＜PG-61 サイドガードのとりつけ方＞

コスモにはPG-61サイドガードがとりつけられます。
右図を参考にとりつけて下さい。
なお、セットにはタッピングビスが含まれておりませんので別にお買求め下さい。




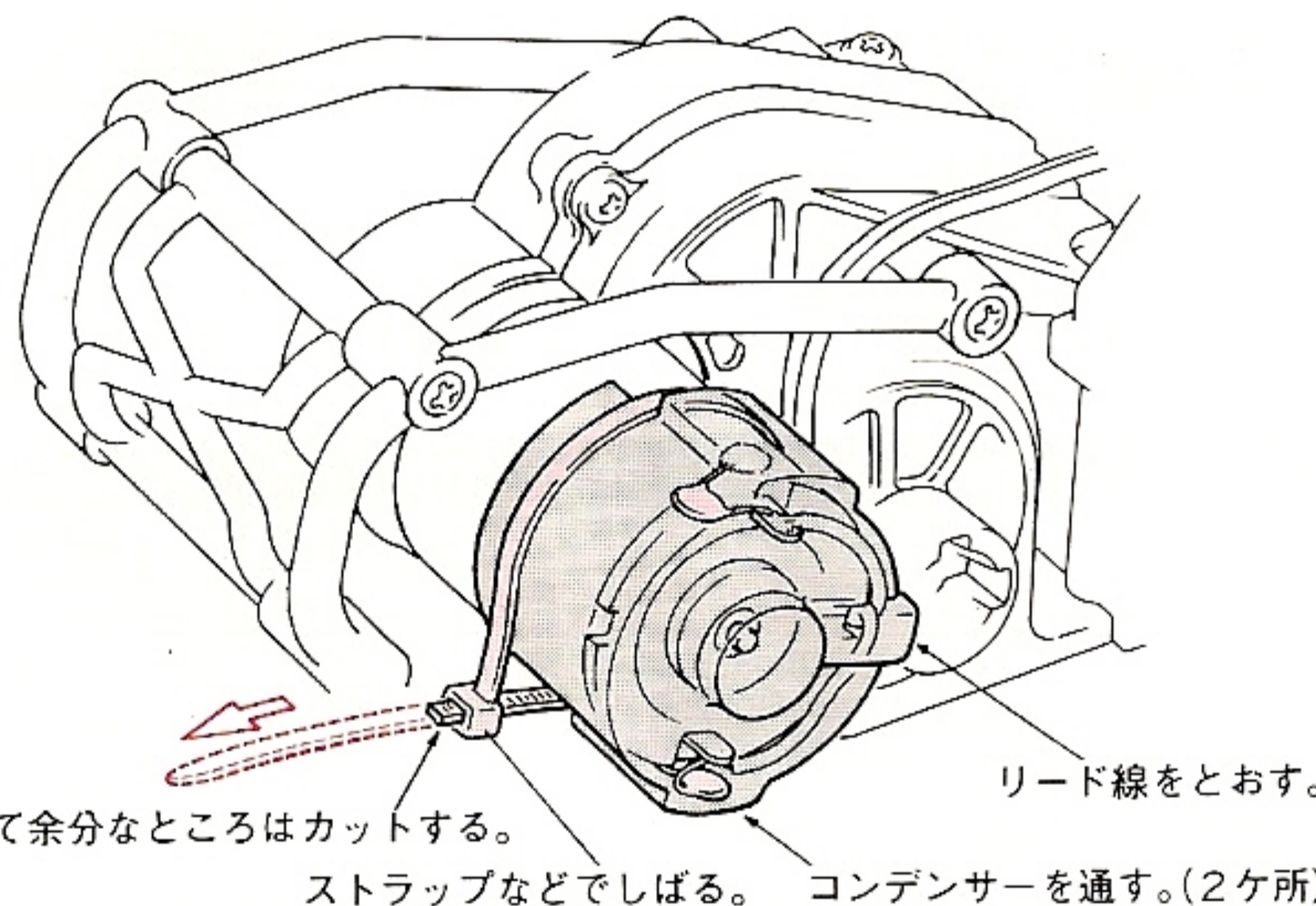
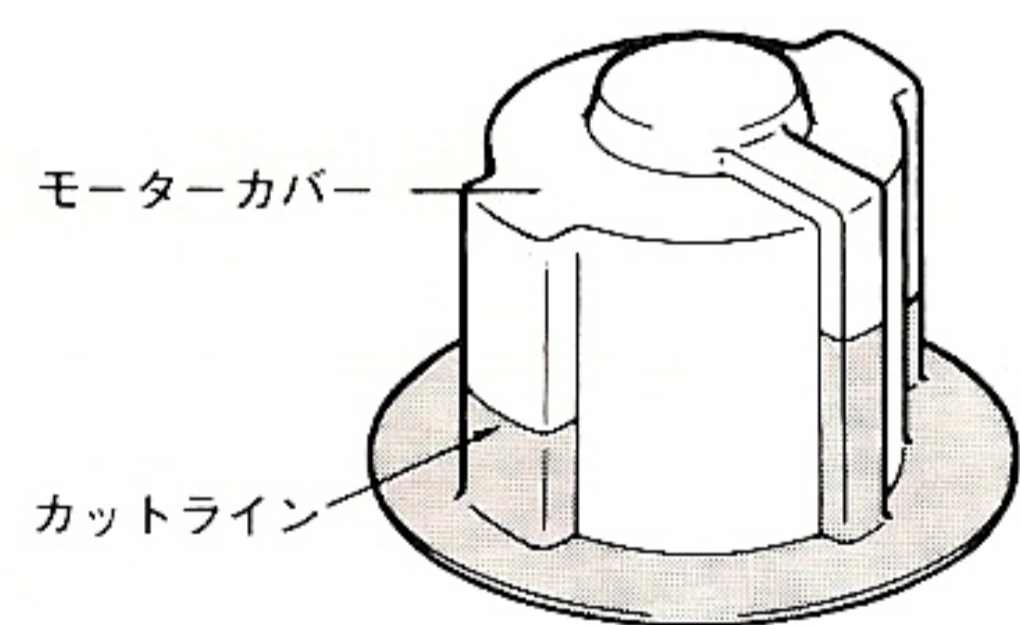
* サイドガードのとりつけ方向は下図のようになります。



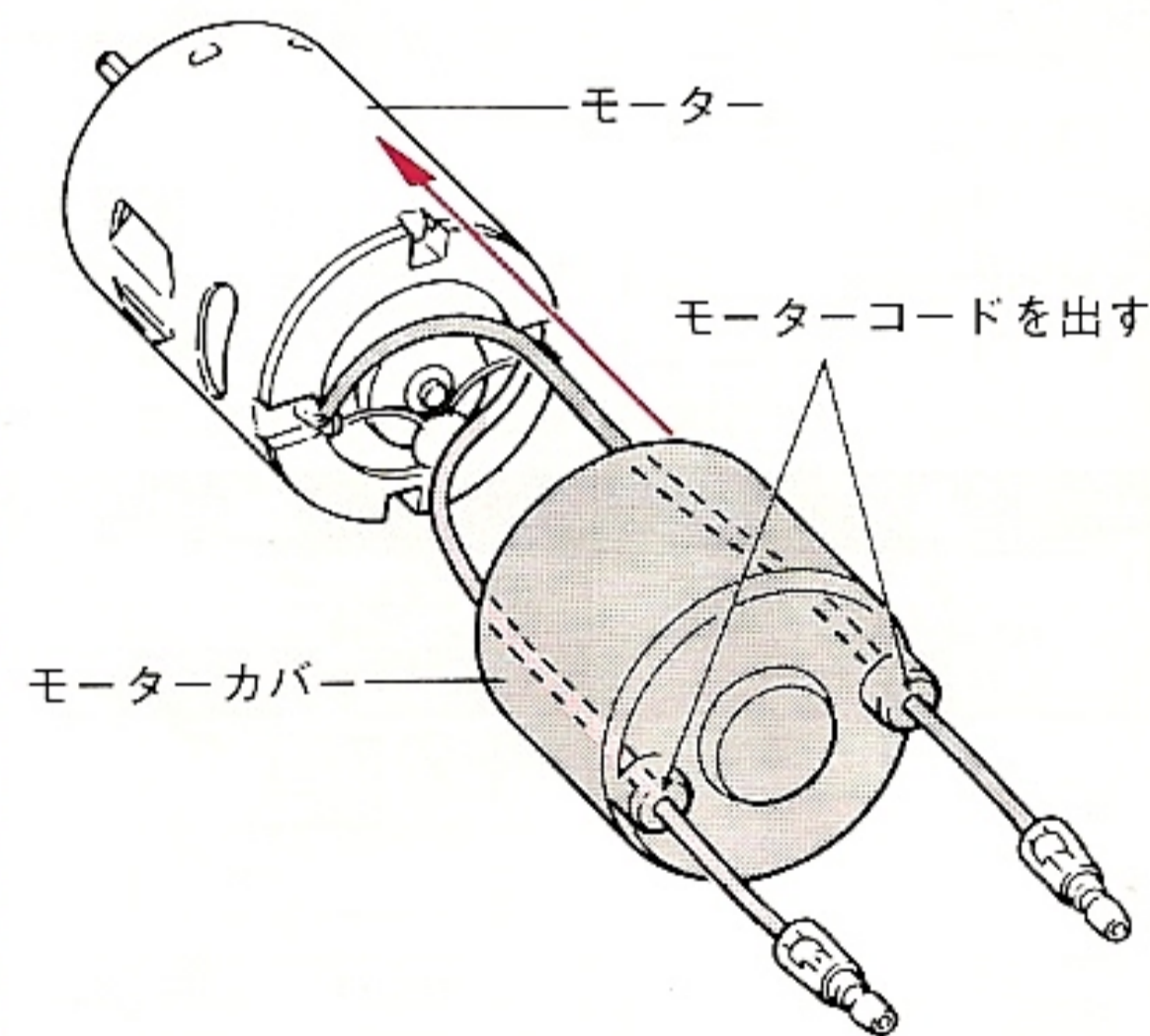
* 上にはね上がるようにとりつける。

＜PG-37 モーターカバーのとりつけ方＞

* カットラインに合わせ、の部分を実線でカット、ハサミなどでカットします。



＜SC-40 モーターカバーのとりつけ方＞



品番	部品名	内容及び用途	定価	送料
1903	ボールベアリング4φ x 8φ	D-3メタルと交換できます。(2ヶ入)	700	70
MS-26	ボールベアリング6φ x 10φ (フランジ付)	D-1メタルと交換できます。(2ヶ入)	2,000	70
PI-15	ボールベアリング8φ x 12φ	D-4メタルと交換できます。	1,000	70
PG-63	ベアリング用シムセット	4φ、6φ シャフトの軸方向のガタを調整するシム(ワッシャー)です。	600	70
SC-106	ダンパーオイル	オイルダンパーに入れます。	200	120
OT-38	シリコングリス	シリコンの入った最高級グリス	300	120
1883	フロンティアホビーオイル	テフロン入摩擦除去オイル、軸受などに使用します。	1,500	240
1951	ダンパーオイルセット(S、M、H)	ソフト、メディアム、ハードの3本セット	800	240
PG-37	モーターカバー	モーターをホコリから守る。(ポリカーボ製)	300	120
SC-40	〃	〃 (ゴム製)	350	120
PG-61	サイドガード	車の横を衝突から保護します。	500	120
1863	スポンサーステッカー	スポンサーマーク入デカール	600	120
W-5031	ロープロタイヤ(ハード)	乾いたかたい路面用。(リヤ用)	1,200	240
W-5032	〃 (ソフト)	乾いたやわらかい路面用。(リヤ用)	1,200	240
OT-66	〃 (ピンタイプ)	ハードとソフトの中間。(リヤ用)	900	170

パーツ注文書 ① オフロードレーサー コスモ

※17,18ページのパーツ定価表の品番と部品名及び内容をよく確かめてご記入下さい。

適合パーツ				オプションパーツ			
品番	定価	注文数	送料	品番	定価	注文数	送料
PI-2	1,200		240	1903	700		70
PI-3	700		120	MS-26	2,000		70
PI-4	500		170	PI-15	1,000		70
PI-5	1,200		240	PG-63	600		70
PI-10	500		120	SC-106	200		120
PI-13	500		170	OT-38	300		120
PI-16	500		120	1883	1,500		240
PI-18	600		170	1951	800		240
PI-19	500		170	PG-37	300		120
PI-20	1,000		240	SC-40	350		120
PI-21	400		170	PG-61	500		120
PI-22	500		120	1863	600		120
PI-23	1,800		170	W-5031	1,200		240
PI-24	1,800		240	W-5032	1,200		240
RK-2	400		240	OT-66	900		170
RK-15	1,000		170				
PG-14	1,200		120				
1885	150		120				
1889	100		70				
計							
W-5048	1,980		240				
CL-5	800		120				
CL-6	500		70				
CL-7	900		70				
計							
				ご送金総額 ¥			

※2品以上お求めの場合の送料は品番の中で一番高い送料のみお送り下さい。他の送料はサービスとなります。

フリガナ
氏名
住所
〒

電話番号

(送り先) 京商株式会社 サービス部 〒102 東京都千代田区平河町1-9-3

パーツ注文書 ② オフロードレーサー コスモ

※17,18ページのパーツ定価表の品番と部品名及び内容をよく確かめてご記入下さい。

適合パーツ				オプションパーツ			
品番	定価	注文数	送料	品番	定価	注文数	送料
PI-2	1,200		240	1903	700		70
PI-3	700		120	MS-26	2,000		70
PI-4	500		170	PI-15	1,000		70
PI-5	1,200		240	PG-63	600		70
PI-10	500		120	SC-106	200		120
PI-13	500		170	OT-38	300		120
PI-16	500		120	1883	1,500		240
PI-18	600		170	1951	800		240
PI-19	500		170	PG-37	300		120
PI-20	1,000		240	SC-40	350		120
PI-21	400		170	PG-61	500		120
PI-22	500		120	1863	600		120
PI-23	1,800		170	W-5031	1,200		240
PI-24	1,800		240	W-5032	1,200		240
RK-2	400		240	OT-66	900		170
RK-15	1,000		170				
PG-14	1,200		120				
1885	150		120				
1889	100		70				
計							
W-5048	1,980		240				
CL-5	800		120				
CL-6	500		70				
CL-7	900		70				
計							
				ご送金総額 ¥			

※2品以上お求めの場合の送料は品番の中で一番高い送料のみお送り下さい。他の送料はサービスとなります。

フリガナ
氏名
住所
〒

電話番号

(送り先) 京商株式会社 サービス部 〒102 東京都千代田区平河町1-9-3

パーツ注文書 ③ オフロードレーサー コスモ

※17,18ページのパーツ定価表の品番と部品名及び内容をよく確かめてご記入下さい。

適合パーツ				オプションパーツ			
品番	定価	注文数	送料	品番	定価	注文数	送料
PI-2	1,200		240	1903	700		70
PI-3	700		120	MS-26	2,000		70
PI-4	500		170	PI-15	1,000		70
PI-5	1,200		240	PG-63	600		70
PI-10	500		120	SC-106	200		120
PI-13	500		170	OT-38	300		120
PI-16	500		120	1883	1,500		240
PI-18	600		170	1951	800		240
PI-19	500		170	PG-37	300		120
PI-20	1,000		240	SC-40	350		120
PI-21	400		170	PG-61	500		120
PI-22	500		120	1863	600		120
PI-23	1,800		170	W-5031	1,200		240
PI-24	1,800		240	W-5032	1,200		240
RK-2	400		240	OT-66	900		170
RK-15	1,000		170				
PG-14	1,200		120				
1885	150		120				
1889	100		70				
計							
W-5048	1,980		240				
CL-5	800		120				
CL-6	500		70				
CL-7	900		70				
計							
				ご送金総額 ¥			

※2品以上お求めの場合の送料は品番の中で一番高い送料のみお送り下さい。他の送料はサービスとなります。

フリガナ
氏名
住所
〒

電話番号

(送り先) 京商株式会社 サービス部 〒102 東京都千代田区平河町1-9-3



京商株式会社

〒102 東京都千代田区平河町1-9-3
